Published and distributed under permit (No. 671) authorized by the Act of October 6, 1917, on file at the post office of New York, New York. By order of the President, A. S. Burleson, Postmaster General.

The Japanese Times

No. [illegible] VOL. [illegible]
WEDNESDAY January 1, 1919

經濟新報

THE JAPANESE TIMES [illegible]

戰後の新年

天佑と地利と、和氣自ら[illegible]じ、[illegible]を[illegible]めて人心天意と共に[illegible]なりとは年々歳々曆日の更新を謳歌する吾人の因襲的思想に外ならず。然れ共此『新』ならむと欲する思想の[illegible]醒は軈て進步を產み、向上を誘み、吾人をして活動の元氣を振作するの好感化を享けしむる所以なりとせば、今自に新年を迎へて千里同風相慶賀するの意義あるを覺ゆ。[illegible]世界を擧げて修羅の巷と變ぜしめたる歐洲大戰は事實上既に終熄を告げ、過去四年有半に亘りて砲火劍戟の間に相對峙せる敵味方も今や互に卓を圍みて講和會議を開くの機運に逢着し、痛烈甚大の破壞的爭鬪に倦める列國々民の思潮が翕然として建設的平和の方面に奔り[illegible]一陽來復の春に臨めるは至幸至福と謂はざる可らず。

蓋し戰後の新年に於て吾人の方案すべき問題は『レコンストラクション』を以て第一とすべし、[illegible]は改造と言ひ或は再建と言ひ[illegible]と言ふも要は双互に破壞の行爲を敢てせる列國々民が眞面目の境地に立戻りて新たに建設的平和の進展に貢獻せんとするに在る可く此定義に基きて『レコンストラクション』の目的を達成せんと欲せば、列國は双互に[illegible]的政策を執り偏狹なる國境維持の思想を斥けて從來得る限り世界化すべき運動を盛ならしめざるべからず。例せば無[illegible]の競爭を局限するが爲めに不公正なる鎖國的關稅を撤廢し亦國際聯盟の理想を實現するが爲めに列國代議員會議を常設して武力の衝突を豫防するが如き最も緊急を要する問題として適切の考量を爲すを至當とすべきにあらずや。吾人は今次の講和會議に信賴し永遠に武裝せる平和時代を葬り去り併せて樂觀する[illegible]の迂見を存せざれども、尠くともウエルサユに於ける講和會議をして恒久的平和時代に到達すべき礎石たらしめざるべからず。所謂富强を以て[illegible]とする[illegible]反目嫉視の稚[illegible]を[illegible]するは平生交濟[illegible]を標榜しながら[illegible]の觀念を尊重せざらん[illegible]なるに[illegible]み吾[illegible]測たる自覺を要求し、以て[illegible]の端緒を得[illegible]を[illegible]せん[illegible]。

戰後の國際金融

紐育駐在財務官 田昌

現戰爭の直接戰費約四千億圓に達し之が爲各交戰國は財政上重大なる負擔を受け此方面に於ても政治方面と同樣亦殆んど革命的の變化を來したるが故に其負擔が今後國內財政若くは國際金融に及ぼすべき影響も亦此負擔並影響を出來得る限り輕減せんが爲めに將來採用せらるべき財政並金融上の改造計畫も共に複雜多端にして世人の豫想外に出づるものなしとせざるべし今日に於て之を豫測するは頗る困難且つ大膽なるも水谷君の懇望に從ひ不完全ながら敢て一言を試みんとす但以下は一應の[illegible]理に過ぎざるが故に實際の發展は各國政治家の苦心努力により變化すべきは勿論なり

【一】負擔及其影響

右に關しては各國に亘り說明するの餘白もなく又必要も少しと認むるを以て單に國際金融上の重要國たる英佛米三國に就き說明せん

(イ)英國の戰費總額

英國の戰費總額は一九一八年八月一日迄滿四年間に八百二十七億圓に達し內七割四分四厘即ち六百十五億圓は公債を以て支辨せられたり其結果英國の國債は開戰當時七十一億圓なりしもの六百八十六億圓に達し殆んど其十倍となれり同時に英蘭銀行券は形式上兌換制度を維持せるも事實上不換紙幣に近く其流通高二億九千七百万圓なりしもの四年後の同期には五億六千八百万圓即二倍に上り外に戰前絕無なりし政府紙幣の發行あり物價も此間に二倍三割九分となれり。更に對外金融關係を見るに開戰當時の英國對外債權は四百億圓に近く之より生ずる利殖金と船舶運賃收入並領土內產金等とは每年十五六億圓の輸入超過を決濟したる上に尙年々二十億圓にも達せんとする海外放資を行ふの餘裕を有し單に外國に對する債權者たりしのみならず實に世界各國に對する債權者たるの地位を占め若し倫敦市場が其對外債權を一時に回收すれば世界各國は悉く仕拂停止を行ふの外なき程の勢力を有し倫敦が世界金融の中心たるの地位は之を疑ふものなかりき。

(ロ)英國の債務總額

然るに英國は現戰爭の爲め三十億[illegible]以上の金貨を米國に送附して八十億圓內外の國債證券を米國へ賣却し又は之を擔保に提供して起債し外に八十億圓以上を米國政府より借入れ[illegible]之と同時に英國政府は

露西亞政府へ	五十五億八千万圓
佛蘭西政府へ	四十[illegible]億二千万圓
伊太利政府へ	三十[illegible]億三千萬圓
諸小聯合國へ	十一億九千萬圓
小計	百四十億一千萬圓
自治領政府へ	二十[illegible]億八千萬圓
合計	百六十一億圓

の貸付を爲したるを以て貸借差引けば新に增加したる債務多からざるが如きも右の內露西亞に對する貸付の如きは長期に亙り空名に止り其他の貸付も金融上之を英國が新に負ひたる對米債務と相殺的に取扱難きものあり換言すれば英國は現戰爭の爲め比較的貧國に對する稍固定的債權を增加したるも對抗國に對しては債務者となれり。故に此の對外債務は船舶の被擊沈、物價騰貴等と相俟ちて將來特に米國に對し正貨流出の原因となり且つ戰時中の金大流出は國內金貨藏量を減少せしめたるが故に今後の正貨流出傾向と相俟ち英蘭銀行は戰前に比し金の所有額を數層多からしむるにあらざれば其割引政策の自由を制限せらるゝに至るべし。

(ハ)英國金融の將來

以上の事情は英國今後の國際金融上に少なからざる影響を及ぼすものと認めざる可からず[illegible]獨逸が[illegible]額の演說の如く戰費全部又は其大部分を獨逸より[illegible]して支拂ふことを得るならば其提供期間の長短方法如何等に依り多少程度を異にすべきも上記の[illegible]を緩和せらるゝことは勿論なり。今假に金は獨逸が現貨に換へたる賠償の[illegible]に限ることに決定せらるゝものと假定して英國金融の將來を推測せんに歐洲大戰の購買力減少は國內に食糧を產出せざる英國の輸出貿易に對する一大打擊にして又戰前に比し利稅の增徵、金利並物價の騰貴、船舶の減少等は英國製品の生產費を不廉ならしむるものにして英國製出貿易阻害の原因たるべし其緩和策として金利を低位に保たんとせば通貨の不收縮延て金の輸流出を促すの結果を生ず依て金の輸出制限を繼續せば米國等にて起債せざる限り爲替相場の逆戾を招致すべし若し又反之物價を低廉ならしめんとせば現に膨脹せる通貨を收縮するの必要を生じ若し速に之を行へば金利不廉となり證券下落し產業に惡影響を來すべし。英國今後の輸出貿易は金融方面より見れば戰前と異り上述の如きヂレンマに遭遇すべき筋合なれば此の困難が他の保護手段によりて救濟せらるゝか又は消費の節約等に依り輸入が制限せられざる限り英國今後の輸入超過は戰前より寧ろ增大すべき趨勢の下にありと認めざるべからず。

(ニ)英國今後の政策

如斯英國今後の正貨受拂關係は之を戰前に比すれば英[illegible]の側に於ては利殖金運賃收入等の減少し又は增加せざるに[illegible]の側に於ては[illegible]輸入超過等の何れも增加するよりて[illegible]る[illegible]。今や戰前の如く每年多額の海外放資を爲すこと容易ならず且つ之を爲し得る場合にも輸出品代金の變形たる貸付を主とするに至るべく賴む所は產業保護等に依る輸出獎勵、消費節約に依る輸入抑制及領土內產出金塊の蓄積等に依り出來る限り迅速に金[illegible]

記者附記 本論文は田昌氏[illegible]筆に成る長篇に亘り且つ新年號紙幅切迫の關係上[illegible]せし次第なれば[illegible]むを得ず本紙に[illegible]一部を記載し殘は次號より連載することとなしたり、茲に筆者たる田昌氏に謝し併せて讀者の諒承を乞ふ。



羊飼の唄　ピユーヴイス ド シヤヴアンヌ作

戰後の日米共同化學事業

工學博士 高峰讓吉

大正八年の劈頭に於て予は在紐育同胞諸君と共に衷心より賀意の溢るゝを禁ずる能はざるものあり。他なし歐洲大戰終熄後の第一年として爭鬪破壞の時代より更に平和、建設の時代に移りたること是なり。而して予は平和建設の方面に在りて最近に至り最も悅ぶべき事業の成立せる一事實を擧ぐべし。卽ち昨年予が歸朝の際米國ジェネラル藥品會社と故國に於ける有力なる實業家との提携を企畫せる結果最近に於て三井、三菱、住友並に三共株式會社の協同的事業となりジェネラル藥品會社の專賣特許權を買收して多年攻究しつゝありし空中より窒素を採取するの事業經營を日本に於て開始するの機運に到達し、既に日米兩國代表者の署名調印によりて契約成立を視るを得たるは獨り化學者としての立場よりのみならず、日米提携問題の大局に顧みて同慶の至りに堪へざるを覺ゆ。

空中より窒素を採取し、アムモニアを製出して更に硝酸をプロデュースする實驗的設備を完成せるは獨逸な[illegible]空中より窒素を採取する事業を組織的に具体化して彈藥の缺乏を補充せる一事は獨逸が四面楚歌の裡に在りながら四年間の大戰を繼續し最後迄健鬪し得たる最大原因の一なりと謂ふを得べし。而も今次協同的性質を帶びたる日米事業の成立はジェネラル藥品會社の手によりて從來の製法に對し一段の改良を加へたる方法によるべく、此新事業は差當り千萬圓の資本を要すべきも漸を追ひて一億乃至一億五千万圓の大資本を要すべき一大國家的事業なるを認めざる可からず。蓋し窒素より採取すべきアムモニアは肥料中最も重要なる成分にして最も高價なるものなるが日本の農家に於て每年費消する窒素肥料の總額は一億圓前後に達す可く彼の米騷動の如きも科學的に研究すれば米價暴騰の主因が肥料の高價に存することを看取し得べきなり。故に如何にして日本の農家に對し安價なる窒素肥料を潤澤に供給すべき歟が大問題なるを肯定する以上窒素肥料會社の成立は幾多の大問題を解決する第一步として慶賀の價値ある可きにあらずや。

此機會に於て予の力說せむと欲する點は『コムビネーション・ウヰル・ウヰン・セパレーション・ウヰル・ルース』の原則なり。從來日本の實業家は光榮ある若くは光榮なき孤立主義を墨守し双互に自家の勢力爭ひに熱中するの通弊を有し、協同一致の精神に缺くる所鮮からざりしも今次の如く三井、三菱、住友等の巨頭が一致的方針によりてコムバインドせることは確かに日米協同事業の實際的端緒を發せるものなりと謂ふべく、現代の國際的競爭場裡に在りては日本及日本人の全力を合はするも猶且つ微力を憂ふるの實狀なるを知悉するものは須らく一致結束の實を擧げて有ゆる各方面に活躍せざる可らず。戰後の日本化學工業を勃興せしめて世界的發展を遂げんとせば先づ協力一致の必要を痛切に自覺せざる可らざるなり。

歐洲大戰に鮮明なる一線を劃せる日本の化學工業が米國の如く規模は雄大ならざるにもせよ、長足の進步を示せるは事實なり。然れ共學問、技術の點に於ても將た資力の點に於ても米國に及ばざること遠き日本は米國の戰後經營に對して最大の注意を拂はざる可からず。米國は戰後獨逸、墺太利等の製品の爲めに市場を壓倒せらるゝ[illegible]苦心慘憺を極め居り、或は稅則の改正により、或は輸入[illegible]

太平洋を續る日米支三國の關係

紐育府大使館參事官 出淵勝次

予は[illegible]任[illegible]國の問題に就[illegible]は多く[illegible]を[illegible]る[illegible]資格な[illegible]と雖も[illegible]必要[illegible]何となれば米國[illegible]來るまで過去二個年[illegible]北京に在つて支那問題に就ては本年二月[illegible]しく其前後[illegible]り其前數年間本省に於ても亦支那問題に[illegible]與した經歷があるので此の問題ならば多少の抱負もないではない。御承知の通り日本は過去十年間に於て國力の發展目覺ましきものがある、殊に歐洲大戰の結果は富力も增し經濟上非常の發展を遂げたりと雖も翻つて眞に日本の國力なるものを惟ふ時吾人は遺憾ながら寒心に堪へざるものあるを[illegible]。成る程武勇[illegible]心等國家を組織する精神上の要件に就ては十二分の誇りを有するも國家存立の必要條件たる天然の富力に至つては殘念ながら甚だ貧弱たるを免れない。

▽經濟上の理由

近い話が海運業の發展に必須缺く可らざる製鐵業は鐵鑛[illegible]乏のため到底發達の途なく近來大冶より原料を仰ぎ辛うじて其缺を補ひつゝありと雖も將來日本が必要とすべき多大の需要に應じ得べき事思ひも寄らず、已むを得ず米國より供給を仰ぎ居りしが事變のため[illegible]に會し我が工業界が具に困難を嘗めたるは昨今の實況である。其綿糸工業は原料を米國印度及び支那に仰ぎ毛織業は濠洲に賴る等比々皆然らざるはなし國小なるに反し人口過剩を加へ來るが爲め常に食糧品の缺乏を憂ふるに拘らず到底農產國として立つ見込みなしとすれば國策の將來はどうしても工業國として經濟力の增進を計らざる可からず。それが爲めには距離に於て近く[illegible]廣く文明に後れ然してあらゆる天產物に富む支那の開發に倚賴するより外に途はあるべくもない。支那問題が日本に重要なりといふは上述の如き經濟上の理由の外に何の意味もないのである。一部の人の間には支那問題を以て領土擴張を意味すと爲すものあるも今日賢明なる識者にして領土的野心に贊意を表する者は一人としてあるまじく領土分割の歷史は千八百九十八年前後の外交を以て最後とし今日に於ては恐らく世界何れの國と雖も支那に對し左樣の野心ある者はあるまい。

▽對外企業獎勵

前述の如く日本は國家として[illegible]の存立上支那の天然を開發する事が絕對に必要なりとしても[illegible]て其資本は何れより得べきかと云ふに戰爭中得たる僅か數億の金を以てして此大事を成し遂げ得べしとは思はれず。從來日本は英佛より資本の供給を受け來[illegible]るでければなり。此[illegible]日本が金[illegible]とする[illegible]多大なる資金を得[illegible]提携[illegible]べきである。此の如き日[illegible]は[illegible]必ず[illegible]るべく又[illegible]可らざるものと確信する。

▽日本との提携

一部の人は支那の[illegible]發は之を日本の[illegible]力を以て爲すべく[illegible]國の力を[illegible]るは同時に日本の[illegible]するなるかの如く考ふる者あるも[illegible]は恰も往年內地雜居を[illegible]するに國內到る[illegible]日[illegible]も[illegible]かの[illegible]見[illegible]取るに足らず、日本[illegible]對する地理的關係を考ふる[illegible]と[illegible]日本を[illegible]にして[illegible]業を爲す可らざるは自明の理[illegible]に事業を企つるに銀行[illegible]船[illegible]にせよ日本に支店を設かずし[illegible]を爲し得るものぞ[illegible]が相錯綜する如く米國の經濟[illegible]日本を通じ之と[illegible]支那に向ふ[illegible]相違ない。

▽商業道德[illegible]

太平洋を[illegible]む日米支三國は以上の如き密接なる關係を[illegible]展すべく今[illegible]既に[illegible]ある事は日本たる者よ[illegible]れ日本の國家存立の要件たる[illegible]營上日米國交は益々圓滿[illegible]好なる關係に置かざる可らざる事を[illegible]きである。此天[illegible]を[illegible]の如く支那[illegible]占を[illegible]する如きは實に[illegible]家百年の計を[illegible]と言ふべし。[illegible]序を以て一言し[illegible]は日本の實業[illegible]上[illegible]せざる可らざるの一事なり[illegible]も邦人の實業家に商業上の[illegible]とは言はず[illegible]自己一時的利益を想ふの念[illegible]動もすれば他人より[illegible]なり。例へば今回の如き[illegible]爲め大[illegible]文の見込が外れたりとて[illegible]氣に契約破棄をなすもの[illegible]絕無にはあらず[illegible]人特有の武士道の[illegible]の利を[illegible]るが爲め一旦約束せ[illegible]る事情に於ても[illegible]す。[illegible]



矢田長之助氏令孃　文子（十八歳）

二互讓互惠の精神發揮二
今年我等は何をなす可きか

（職業問題――歸化問題――人口調査及病院問題）

紐育日本人會々長　一宮鈴太郎

在紐邦人の職業改善問題は決して事新らしく論議すべき性質のものではなく、既に多年の宿題であつて、曾て一部有識者階級のみに限らず一般在留同胞中新運命開拓に志ある者は竊かに焦慮しつゝあつた問題である。此問題は二個の角度より觀測し得るであらう。即ち一は在留同胞を約二千乃至四千と假定して其内三分の二乃至四分の三は米人の家内的勞働者であると云ふ事實と他の在留同胞が或は獨立營業者であり、若くは米國に根據を有する會社、商店及び銀行等の代表者、又は從業員であると云ふ事實とを對照して、是れ決して在留同胞を打つて一丸とした立場より視て決して滿足すべきではないから家内的勞働に從事しつゝある人々をリフトして漸次獨立營業者たらしめ又は同じく勞働者としても

これを一轉して

米國式にレジチメートなる側に推移せしめ様とする努力――現に紐育日本人會に於て勞働調査部を設け無報酬にて職業周旋の事業を經營し始めたるが如き――と一は最大多數の在留同胞が家内的勞働より米國式の勞働に推移せんとするに對しては、邦人の通有缺點たる眼高手低の流弊に加ふるに、訓練の不足、同化力の不徹底等一朝一夕にして芟除し得べからざるラブステークルを處理して了るにあらざれば在紐邦人の職業改善は望むべくして行ふべからず、故に此問題は邦人自身の思想其者を改善する運動に成功したる上にて實行に着手すべきものなりとの所論とに歸するものゝ如し。右兩者の意見の孰れが實際的に紐育同胞を利すべき歟と言はゞ勿論予は第一の努力を推奨し一より二、二より三と順次實際的に改善するの方針を執り着實且つ熱心に其運動を繼續せんと欲する者である。要するに在紐邦人の職業改善問題は『登高自卑』の原則に從ふて不屈不撓の努力に俟たざる可らずと思ふ

歸化權研究時代

職業改善問題に關聯して他の難案たる歸化權問題を如何にすべきやは誰人も想到する點であらうが予は小澤孝雄氏の歸化訴訟事件に關する各方面よりの報告に對し、冷靜に判斷して容易に贊否を表する能はず。小澤事件を大審院に爭ふは假令其判決の利、不利如何に拘はらず在米邦人のステータスを決すべきに依り、萬一不利なりし場合に於ては正面より外交問題として當然の權利を主張すべしと説き、該事件を純然たるジユデシアル、クエツションとして取扱ふべしとの説には實際家の立場より首肯し得ざる者である。歸化權問題は決して單純なる法理上の解決に依りて最後迄推し通し得る筋のものにあらざるが故に運動の時機、方法等に關しては最も慎重に考量すべく馬車馬的に驀進するは予の左袒せざる所である。事實問題としても歸化を許された曉に果して在米同胞の幾割が歸化を欲するか如何かを考へて見ると、此問題は尚研究時代に在ると謂はざるを得ぬ。

人口調査と病院

在紐同胞の人口調査は故小村外務大臣時代に在外臣民登錄規則に準じて登錄を行つた以來規則正しく實行して居らぬ爲めに各地に於ける人口の實際數は頗る曖昧である。是れは總領事館、日本人會等が双互に提携して何年に一回と云ふ樣に遣つて見る價値があると考ゆる。徒らに小問題として高閣に束ねて置いてはならぬ。同病院設立問題は性急に實現せしめ様として無理なる運動を試むるよりも先づ米人のサニタリアム市立乃至私立病院等の實情を研究調査し然る後に一定の成案を立て五年或は十年計畫として設立の機運を作り適當の運動をなす方が至當であらうと考へる。紐育日會に於ても既に委員會を組織して調査しつゝあるから近き將來には何等かの成案が出來るであらうと期待して居るのである。

互讓互惠の精神

飜て紐育に於ける有力なる指導者として從來何等歟の問題を決定せんとしたる場合は人數を限られて居り且つ平素公私の社交を通じて双互に充分の理解を有して居た爲めに比較的問題の纏り方が速かであつたけれ共最近に至りては人數も殖へ種々なる分子が加はつて來た爲めに兎角双互の理解に缺くる所多く無益の辯難を經るに非ざれば小問題の纏りさへ覺束ないと云ふ有樣であるのは遺憾である。予の冀望は事業上の先輩後進を問はず、互讓互惠の精神に基いて双互に接近する樣に努力し各自に同情を寄せ合つて在紐邦人の利害問題を念とし『吾輩は旅の者である。從て在紐同胞の小利害などは顧るの遑を有せない』など云ふ冷淡な考を棄て甲乙丙丁を問はず出來得る限りの同情を注ぎ合ふ樣に努力して貰ひ度い。又是が在紐同胞發展に對する主要なる條件であると確信する。（文責在記者）



一宮鈴太郎氏令孃　鈴子（二歳）



矢田長之助氏令孃　清子（十六歳）

二將來の發展と改革二
米國戰後の政治經濟的發展

（貸附增加――輸出超過――金融業者企業家協力）

三菱合資會社紐育支店長　山室宗文

今次世界大戰突發以來四個年間に亘り米國の輸出入合計は戰前に比して二倍即ち四年前の四十二億弗に對して八十八億弗に達し、斯る關係よりして戰前英國のみに對する負債四十五億弗の殆んど全部を返濟して一躍債權國となり聯合軍に對する貸附金は八十二億弗を超過し其他公私の債權を合算しなば優に百億弗を超過すべくこれに對する利子のみにても年々五億弗に達する譯なり。

貸付增加輸出超過

更らにこれを將來に就て觀なば歐洲に對する食料輸出は戰時同樣今後も繼續すべく、是等諸國のリコンストラクションに要する原料品の輸出と謂ひ、本年度農作物が比較的良作にして評價百廿億弗と稱せられつゝある際なれば今後の輸出超過が依然繼續すべきは想像するに難からず。然して是等の出超に對する支拂代金及公債利息等の決濟方法として外國政府は第一現在執りつゝあるが如き形式に於て米國より外債を借入れるか第二直接紐育市場に於て外債を募集するか第三外國の事業會社が紐育市場に於て借金乃至證券を發行するか、何れよりするも今後紐育市場に資金を有せずんば容易に行ひ難しとの結論に到達すべし、然して米國政府は啻にこの現狀を以て滿足せずこの優越なる位置を助長すべき種々の方法を講じ居れり。

戰後政治經濟發展

本年四月制定せられし貿易上のトラストを承認するウエッブ法の如き現に休戰條約調印後銅及鐵材等の輸出合同計畫を實現せしめ、或は戰時中南米貿易の爲め紐育各銀行をして支店設置を許可したるが如き貿易の伸長に對し非常なる努力を注ぎ居れるが、船舶の方に就てこれをみなば戰前僅かに百萬噸内外の噸數は十一月中旬までに三百萬噸を建造してこれに和獨よりの押收噸數を加算せば四百万噸を算すべく然かも米船の擊沈其他に依る戰時中の損失は卅五万噸に過ぎず今後の造船計畫もシュワッブ氏の言ふ處に依れば月々五十万噸のキャハシチーを有し千二百万噸の造船計畫も休戰條約の奈何に關せず建造を遂行することとなり米國がいかに戰後の政治及經濟上の發展に資すべく海運の必要を感じつゝあるかは最近國際商船會社に對する政府の態度或ひは海軍擴張の遂行に對しても明白なり。

世界金融上の優越

斯の如く米國が既に金融上には優越權を有し貿易に於て益々發達し船舶擴張に向つて努力を注ぎつゝある點より推して、戰後米國の經濟界が非常なる發展と繁榮を來すに至るは當然の結論にして米國識者の最近發表せし意見に就て觀るもワーブルヒ氏がアトランテツク市の全國商業會議所大會に際して紐育市場が將來世界金融上優越の位置を占め外國貿易より生ずる手形引受高が十億弗に上るべきを豫言せし如き、或ひはバンダリツプ、ゲーリー、シュワツブ氏等の意見は皆これ戰後の繁榮を豫言し殊に鋼鐵王ゲーリー氏の如きは戰後五個年に亘り嘗て見ざる繁榮を來すべしと揚言したり、是等識者の言たるや勿論有力なる理由として我等はこれを信ずるに吝ならざれど然かも米國が將來世界金融の覇者たり、世界貿易の中心として或ひは世界海上權を掌握せんには元より戰時中に實現されし種々なる法律施政を基礎として遂行すべきこと多々あるならんが、尠くとも現在の位置を維持し且つ發展せしめんと欲せば尚ほ努力すべき點多々これあるべきを信じて疑はざる者なり。

將來の發展と改革

即ちウエッブ法の如き從來制定されし方法以外港灣の設備の如き現に紐育港は今後非常なる設備の改良を要すとのことにて自由港說も熱心に研究され居るもの〻如く、關稅問題も尚研究の余地ある可く[illegible]の貨物に對抗すべく生產費の輕減も必要なり、生產費問題に關聯しては勞働者の不足を補ふべく人種の奈何に關せず移民の自由入國を發布する必要あり更に重要なるは外國に關する智識の修養にして由來米人は他の外人に比較し外國の事情及び外國語等に通じ居らざる點多し、然して如何に外國貿易に發展せんと欲するもこれに對する金融の道にして完全ならざる限り困難なれば米國の有する資力活用の方法として外國貿易より生ずる手形の流通を圓滑にしその結果他方には金利を低下せしむべく或ひは從來のフエデラル・レザーブ制度に多少の改革を要し銀行の合同も必要とすべく手形引受商會乃至割引會社の如きものゝ發達を促がし且つ株式取引所の決濟方法にも多少改良を要するの點あり斯の如く種々識者の一考を要すべき點尠しとせず斯くして金融業者と企業家にして協力以て努力しなば米國戰後の發展は蓋し旭日昇天の勢を生ずるに至る可きは余の堅く信じて疑はざる處也（文責在記者）

海上の自由と安全と 戰後海軍はどうなるか

華府大使館附武官 海軍中佐 上田良武

【一】小艦政策是非

歐洲大戰の實敎は海軍の將來に對し幾多の教訓を與へ同時に幾多の問題を提供したのであるがその內最も俗論として世人を惑はしたものは小艦大艦の得失問題であつたと思ふ。戰爭[illegible]にし[illegible]潛水艇の猛威が[illegible]振ひ獨逸[illegible]の海上を封鎖せんとする[illegible]にあらし際英國の大艦隊が[illegible]海上に[illegible]しを見、世人は[illegible]すれば之を[illegible]潛水艇の成功と[illegible]し[illegible]海上の死命を制するが爲めには大艦隊の時代は去りて潛水艇若くは[illegible]小艦隊に依らざるべからざるが[illegible]速斷したものである然し翻つて[illegible]見れば[illegible]の潛水艇なるものは速力に[illegible]到底[illegible]の襲撃には[illegible]る能はず巳むを得ず[illegible]船をのみ狙つたものであつて見れば潛水艇を以て[illegible]の大艦隊を撃滅するが如きは今日の[illegible]思ひも寄らぬ所である。其上[illegible]は獨逸かあれ丈けの大艦隊を[illegible]ながら終に海上一歩も踏み出す能はず最後にオメ〳〵之を聯合國に引渡すやうになつたのは英國の大艦隊が儼然として海上を壓制するに寸分の隙を與へなかつた結果である。故を以て見れば予は將來と雖も一國の存立を確保する主力艦隊は依然として大戰艦でなければならぬ。潛水艇驅逐艦は僅かに大艦隊を掩護するに始めて偉大な效果を現はし得るもので小艦隊夫れ自身丈では到底完全に一國の防備を保全するものではない。

【二】高速戰艦問題

一國の防備を保證する主力艦隊は大戰艦に限るは言ふ迄もないが其の他先には最大の速力を要するが爲めに[illegible]巡洋戰艦[illegible]に高速力を與へ必要に應じて巡洋戰艦の代用と爲さしめては如何との問題が起り英國の如きは此種の戰艦二三は出來し居るやうであるか本來が戰闘艦であるから純粹に巡洋戰艦の速力を出す事は出來ず又他の半面から言へば半ば巡洋戰艦であるから戰闘力及防禦力に於ては遙かに純粹の戰闘艦に劣るが爲めに主力艦隊としては甚だ缺點の多いものと言はねばならぬ英國が卒先して此種の試みをやつたのは戰爭中北海又は英佛海峽等の比較的近距離の海上に於ける時局の急に應ずる必要があつたからで此試みは直ちに米國の如き或は日本の如き大洋に取り卷かるゝ國家の永久的防備の範とは爲すには足らない。合衆國の如き戰闘艦隊に加ふるに別に三万五千噸級二十五節の純粹な巡洋戰艦隊を建制せんとするのは頗る我が意を得た政策であると思ふ。

【三】將來の驅逐艦

驅逐艦は急速力を以て海上を翔け巡り大は戰艦より小は潛水艇を襲撃するを以て任務とするも前述の如く巡洋戰艦が次第に巨大となり米國が本年中を以て完成する豫定なりしレキシントン以下六隻の如き通例驅逐艦の標準速力とする三十五節の快速力を出す事となるので從來の驅逐艦は最早之に對して襲撃の能力を缺く事となる譯である、從つて將來の驅逐艦は對象物たる巡洋戰艦の發達につれ其型に於て大を加ふるのみならず速力に於ても四十節內外を出すものとならざるを得ない。之を要するに主力艦隊は[illegible]の戰艦と及び之と同數の巡洋戰艦を以てしそれを補ふに[illegible]の巡洋艦驅逐艦潛水艇其他の補助艦艇を以てするのであるが要は[illegible]攻撃を自由ならしめ攻撃の能力を確實ならしむるが爲めに巡洋艦驅逐艦潛水艇共に大型小型色々の種類のものを備ふる事が必要である。其他飛行機母艦とか『サブマリンチエーサー』等大戰によつて刺戟された種々の新らしい艦艇も發達する事は言ふ迄もない。

【四】海上安全自由

歐洲大戰によつて吾々が痛切に學んだ事は陸軍は英米其他各國ともに非常動員によつて必ずしも急場の用意が整ひ得ないとは言へない。然し海軍に至つては平素より万一の覺悟を以て如何なる事變にも應じ得る丈の艦艇の用意が無ければいざ事ある場合非常な危險を冒さなければならぬ短日月の間に戰艦巡洋戰艦の建造を爲すが如きは全然不可能事である。合衆國が戰後大規模の海軍擴張を企てつゝあるが如きは或は今回の戰爭によつて得た教訓によつて學んだ結果ではなからうか。我が國の如きも國力の許す限り平時に於て充分の海軍を準備するは獨り國家の存立を保證するのみならず延いて東洋海上の安全と自由を保證し以て戰後新らしい世界の進運に寄與する所以であると信ずる。

(文責在記者)

◇紐育夜のスケッチ◇
◆タキシーの煙◆
【中央公園より】

[illegible]ブラリと家を出る。例に依らなくても、ブラリとするより外にラリやうがないのである。小人閑居爲不善を氣にするのではないが、氣になるのは、此頃支那料理の箸の文句だ、曰く『戶外無小人』。今夜は是れが判るまで歩いて見る決心だから馬鹿だね。[illegible]寒い戶外小人無し、大人も餘り居ない風い[illegible]街を五十八丁目邊まで來ると、花屋の窓にポインセチアの赤い花が凍つて白くなつてる硝子に隔れる、無慘。今宵は倒迄聖賢の道をテイックラへの私は、忽ち惻隱の情を起し、入つて廿五仙を投じてその花を手にとつた、見れば餘り好くもないから他のと取り替へて出る。小人たまに花を抱いて[illegible]あり、是を風に當てるに忍びない私は、モウ歩いては居られぬ、タキシー!、何に、俺の行く所か何處でもいゝよ、公園を一週して寒むさうな花を見せて[illegible]らせるんだ!、運轉手は老功者、走り乍らに花を車中に投げ込む手練さ、商賣道に依つてあちこちと廻る—ない處を落花紛々、伽羅紛々、公園をめぐり廻つた冬宵の一刻、値十弗は相場かな。(村夫子)







右—堤彦一氏令孃 富美子(三歳)
中央—高木舜三氏令孃酉子(一歳)
左—高田雄稻氏令孃千穗子(七歳) 須美子(十一歳) 美穗子(十三歳)

◇本社寄贈落し玉

- 婿君一人　益田富士子夫人へ
- 田地百エーカー (雜草の生はぬやうすべし)　境野默兵衛君へ
- 四肢敏活感冒氣　加藤牧師へ
- いろは辭典　高見豐彥君へ
- 文章軌範　森次郎君へ
- ゴンパース氏著 勞働問題　片山彌六君へ
- 世界文士辭典　共存社同人へ
- 達成チャプリン將　[illegible]田財務官へ

恭賀新年

年頭名刺交換 (申込順)

橫濱正金銀行　一宮鈴太郎　乙竹茂郎　井上常太郎
臺灣銀行　有働一男　名倉喜作　宮内章治　伊地知重義　石毛竹治郎　細羽金太郎　工藤敎平　武藤貞雄
大倉組　今井文平　鈴木百一　南與作　大日和千代司
久原鑛業株式會社　石川哲　福澤谷藏　西橋外雄　藤田辰耆

荻野憲一　寺田立雄　富重利夫　藤村壽　川村貞治　神谷千別　福島金馬
古河商事株式會社　篠崎清次郎　高橋協　新海英一　木村康一郎
東洋商事會社　島津泰　三浦昇三
安部幸兵衛商店　丸山梅次郎　津上靜夫
紐育芝川株式會社　安田辰次郎　錦織尙　森田三郎　蜂須賀圭三郎

高峯株式興業會社　田口一太　吉岡美清　竹田義藏　西尾登良藏
三共株式會社　松浦和平　橫山昊　鳥井孝一郎　岡田千里
紐育總領事館　村井倉松　森岡正平　石井武郎　玉木鶴彌
鐵道院駐在官　山口金太郎　飯山敏雄　幸川茂助
岩井商會　丸谷勤三　久保辰吉　藤村松雄　深澤義弘

山瀨俊賢
大正貿易商會　倉田金五　土田玄　眞保義一　齋藤喜太郎
齋藤商會　齋藤熊治　辰野靜雄
伊藤忠合名會社　荒田銀之助　笹生米次郎　足立仁郎　小石俊三郎　功力寅次
グローブ茶商會　登山愼之助　渡邊孝治郎
日本綿花株式會社　鎌田五三郎　奥村正太郎
内田商事株式會社　伊澤幾次郎
合資會社二葉屋　木村設二
橫濱商會　岸爲次郎

合名會社小野商店　田中敏　山内群一
三菱合資會社　山室宗文　長沼四郎　春藤和　遠藤隼見　小松繁　林田敏義　佐藤純一　熊谷一彌　本田松治　高島醇　伊藤晉一　風間武三郎　稻垣長悟郎　三木維四郎　花房斐夫　堀朋近

茂木桃井組　大島供佐　九富俊吾
在日本　柳瀨眞之助　萩原達也　須藤保之亮　菊地市兵衛
三井物產羽二重部　松浦長次郎　松島文衛　伊藤金二　笹川達所
在三井物產株式會社　フ井ツシャー
關根商會　關根五男兒　關根亀次　古谷謙次　上村義一
在大阪　内藤一郎　森村慶重
在東京　多賀與吉
在青嶋　大町一二

高田商會　和田勝郎　宇高義達　嶺岸久治　鈴木泰次郎　堤彥一　山田宏一
太陽旅館　兒玉友一
橫濱商店　名坂佐市
酒井商會　中嶋仲藏　八木善一
在ニウポート　日名子壽祿
仝　小西吾吉
牧師　加藤秋眞
日本倶樂部　敷島　武田淸二郎　三田早苗
中川旅館　松浦作麿
在千歲　豐川重吉
村瀨商會　佐々木道範

山中商會紐育支店　白江信三　山本清太郎　山中吉太郎　石見宇三郎　民部榮太郎　下間豐治　田中吉次郎　赤司龍一
亞米利加アニリン工場　渡邊春男
青年會　伊藤調雄
紐育日本人會　小畑久五郎　岡猛雄　片山彌六
ライ市　永田鐐藏　小笹鹿太郎　平嶋優　香西龍雄　村山順

紐育新報（其二）

＝戰後世界海運界の趨勢＝

海外思想普及は刻下の急務

英獨の航海獨占――米國の造船發達と將來

日本郵船會社紐育支店長　亀井一彦

過去に於て世界の制海權を握つて居つたものは云ふ迄もなく英獨である。獨逸は英國の有する船舶に比較して其の數に於ては約四分の一に過ぎなかつたが、然かも獨逸政府の熱心なる後援は戰前獨逸ロイド會社の如き世界海運界の第一第二位を占むるに反し、英國の船舶會社は却つてその第二位にあるといふ風であつた。

英獨航海獨占競爭

斯の如き事情の下に兩者の競爭は年々歳々激烈となり太平洋に濠洲に獨逸は常に優秀なる船舶を利用して英國を威嚇し特に世界海運の盛衰を集むる太西洋上の競爭は最も激烈の度を增しロイドが速力優秀なる船舶を建造せば英國はこれ以上の快速船を建造し獨逸は更らにこれに對抗すべくドイツランド號の如き巨船主義を以てし。米國は千九百四年ホワイト・スター會社の如き萬國滊船會社に合併し、英國もキユナード滊船會社に財政上の助力を與へて米獨の滊船を凌ぐに足る巨船建造主義を實行した。即ちルシタニヤ號の如き夫れであるが獨逸は更らにこれに對抗すべくイムペラトー級の巨船を浮べて常に英國を驚嘆せしめたのである。今次の大戰の如き種々の理由原因はあるであらうが英獨の海上の競爭の如きその最大原因である。

米國造船術の發達

然るに今回の戰亂は獨逸海運界の勢力を根本より打破し多大なる噸數を損失した爲めにこれが回復には尚幾多の歲月を要するに反し、英國は約一千餘万噸の減少を來しその打擊も激烈ではあるが、戰後建造に努力するならば回復は案外容易であると信ずる、翻つて米國を見るに從來米國はその噸數に於て世界第三位なりしもかゝる船舶の多數は沿岸乃至レーキ用の航海船が多く、太西洋に於て約十五萬、太平洋に約十万噸の船舶が米國旗を揭げて航海し英獨に比してその勢力極めて微弱であつたが一度參戰するや鋭意造船に努力せし結果、遠洋用の船舶建造の勢力は漸次擴大し今日の計畫にして成効せば米國の總噸數は約千七百萬噸に達すべく、戰後世界の各方面に使用さるゝは疑なき處であつて、是等船舶をして米政府管理の下にこれを繼續せしむるか、私立會社にこれを拂下げして貿易に從はしむるか、今後注目を要する處であるが、結局米國々旗の下に航海するは勿論のことである。

英米の航海權爭奪

米國にして若し歐洲出征軍の歸還其他戰時的事業を果したる曉、先づ太西洋上に優良なる客船を浮ばしめ更らに太平洋上もこれと同樣に至るであらう、その他南洋方面に於ても米政府は貿易發展上注目を怠らないからこの方面にも多數の船舶を廻附すべく、其他速力遲緩の貨物船は世界各方面の運送に從事するであらう斯る日には英米の航海權爭奪戰は至る處に於て實現され從來約六割の勢力を占めし太平洋上の日本船に對しても勢ひ平和的の競爭を生ずるに至るであらう、これを要するに世界海運界は獨逸の滅亡、米國の新興に依つて一新紀元を劃した譯である。

海外思想普及急務

幸ひにして日本は參戰以來潜航艇其他の遭難に依り打擊を蒙りしものの、その造船能力は著しき發達を遂げし爲め却つて全体の數に於て增加し、獨り東洋に覇を唱ふるのみならず世界の各方面に向つて我が日本船の航海從事を見るに至りしは先づ慶賀すべき現象であるが、然し船舶の增加するに從つて今後は單に日本を出發地として日本に歸着するの航海を常に繰返さず、自ら海外と海外との間に航海して日本に永く歸着しないといふ場合が屢々生じて來る一事を忘れてはならぬ、從つて日本船員も今後は純然たる世界海上生活に入る譯であるがこれは日本の發展上止むを得ないと同時に喜ぶ可き現象であつて、今後は充分海員諸氏に對する海外思想を啓發し、海員を優遇し慰藉を與ふるの道を講ずる必要が生じて來るのである。（文責在記者）

戰後と鐵材

某實業家の觀察

戰後鐵材輸出に關する觀察は甚だ至難にして米國の戰時貿易局にして其の必要なくこれを廢止されし曉に於て輸出は今日よりも容易なるは勿論なるが米國の立場より觀れば尚ほ海軍擴張問題を始めとして今後造船に就てもその將來の擴張に對するサイズに附隨して多少の手加減あるべく從つて休戰條約調印後鐵材の輸出なるものが比較的に緩和されたりとてこれが日本の相場に大影響を及ぼせしは吾輩の聊か意外とする處なり戰前鐵の輸出を受けつゝありし英國或は其他の歐洲諸國の現狀に鑑し彼等のリコンストラクシヨンなるものは吾人の想像する程に其輸出を容易ならしむるとは思考する能はず從つて日本としては是等の外國より、より以上接近せる支那の鐵材を統御し得るの策を講ずるが急務にして日本は戰亂終結して自給獨立の念薄らぎつゝあるやの感あるなき能はず、識者の一考を要する處なりと信ず。

◇本社寄贈落し玉

浪人處世術　石井書記生へ
ハーゲマンドクター發明
新式毛生劑　瓶　野牛道弘君へ
樽柿　盆　中條百合子孃へ
靜坐法正解一册　岡古義一君へ
タカヂアスターゼ十瓶　杉海軍監督長へ
チヤプリン氏著
舞踏速成術一部　玉木書記生へ
自働車一臺　矢田夫人へ
新式蓄音器（聽くと、喋舌ることが同時に自在）　武藤貞雄君へ
和譯佛語會話速成一册　矢野収藏君へ
電氣按摩器　山内重馬君へ
ベルグソン氏作
自問自答哲學　中村精七郎君へ



右―杉本夫人令孃　花野子（廿歳）　中央―同千代野子（十五歳）
左―手塚國一氏令孃　清子

＝戰後は飛行船時代到來＝

航空思想普及は刻下の急務

工業發達に並行――工業動員に對する準備

帝國飛行協會主事　澤柳少佐

吾輩は常に戰後航空界の發達をして最も促すに足るものは飛行船であつて、將來飛行船到來の時代を信ずる者である。

飛行船萬能の時代

併し吾輩は敢て飛行機を輕視する者ではない、商業上に於ける飛行機の發展も至急郵便乃至數十萬弗の利益を問題とする商人の太平洋横斷等に用ゐらるゝ時代が來るであらう、けれ共飛行船は電力に依つて動くプロペラーが前進力を生むか飛行船に至つては電力以外ハイトロゼン瓦斯を使用し從つて搭載力に至つては今日に於ても飛行機に比して數倍の實力を示し、遠隔地の飛行に必要なる通信機關も完備し普通船舶が火急の場合に際して生命端艇を使用し得る如く飛行船には飛行生命艇を設備することが出來る、左れば飛行船は水上船と何等異る處なく安全第一であると共に一萬立方米突の飛行船は一噸の搭載力を有し飛行船に早くも着眼せし獨逸の飛行船は五万立方米突であるから搭載力五噸即ち武裝の軍人廿人を一噸として百人を一船に搭載し得るのである。飛行機の大洋横斷なるものは戰前から問題ではなかつた、從つて來るべき時代は航空界の文明的貢獻であらなければならぬ。

飛行機と廣告術と

飛行機に就ては既に述べたるが如く今後は輕量物の運搬に於てのみ利益を齎らすであらう、即ち少數の人間の運搬であるとか至急郵便輸送であるが吾輩はそれよりも飛行機は寧ろ廣告術の上に大革命を起すものであると信ずる者である、卽ち飛行機の翼上に煙草或は飲料等の廣告を利用し或は夜間飛行機にイルミネーシヨンを施して万人に廣告をすると云ふ樣な風で日本では既に久留米足袋其他化裝品等の廣告を飛行に應用したこともあるが今後この点よりして機を観るに敏なる米國人はこれに着眼するであらう、併し遠距離の地に對する飛行即ち大陸の横斷或は太西洋横斷等の實際的貢獻が飛行船の發達を來すは必然である、これに附帶して曹達工業の發達に伴ひ酸素が減つて水素瓦斯が余り、この水素瓦斯を飛行船に利用し得るの時代が來る、獨逸では水素瓦斯は安いが日本では水素瓦斯を得んが爲めに特にそれに從ふので價格が非常に高い。次ぎにアルミニユーム合金工業の發達は將來飛行船及飛行機の組織に益々變化を加へるに相違ない。

工業動員準備必要

これを要するに航空界の革命と國防上の見地よりするも一般工業の發達なるものは特に戰後の日本に於て必要であり同時に航空思想の普及なるものは刻下の急務である、工業動員に對する準備等は飛行機製作に貧弱なる日本に於ては特に必要であつて民間實業家も政府と常に協力以てこの点に着眼して頂き度いものである、戰争は常に工業心の革命を齎らし米國の如き其好適例で戰前米國の陸軍は列强に比して非常に劣り陸軍飛行機もなかつたが平時民間の飛行機製造とそれに對する人民の智識が發達して居つたから政府は費用さへ支出せば立處にその政策を遂行し得た、然るに現在の日本を以てせば數億の支出を敢てすると雖民間工業界にその準備はないのである、この点に於ても軍備制限、軍器生産力の制限等といふ問題は世界工業の振興に影響する處尠くない。（在文責記者）

趣味を透して觀たる紐育の人々

❖夏讀書と娛樂と❖

十人十色の人がら、讀んで驚くのは趣味を通して見たる「人[illegible]」である。武骨稜々たる豪傑が[illegible]や[illegible]式の小說を好み、丹次郎の樣な優男が冒險小說を愛讀するなどは其の一例、その半面には紐育人士の社會生活も窺はれる。以下は讀書と娛樂に對する各氏の回答である。(先着順)

ゴルフか、ゲイシャガールか、頗る不明)

右二項特に無之候　神谷千別

拜復折角の御尋ね乍ら右二項共特にコレと申すもの無之候

制限のない愛讀書　中條百合子

私にとつて讀みたいといふ本の數は殆んど限りがありません。其れを發端から一生懸命に讀んで行くもので普通の意味での愛讀書は未だ定つて居りません、娛樂は芝居でも、食べるものでも何時でも時に依つて定つて居りません、が、父と一緒にア

自然と山と[illegible]　[illegible]支店長　今村幸男

私は自然殊に山岳美を賞することでは[illegible]以上の[illegible]、從つてこれに關するものを愛讀する[illegible]山岳美を書いてある書[illegible]のオトリ[illegible]すのイスキ[illegible]でおることは申すまでもないが[illegible]ば私の娛樂も自ら制[illegible]ことです。

自然と家庭の樂み　永井柳太郎

宇宙の造物主の森羅萬象を通じて吾等の讀者に展開したる無文の大經典であります。娛樂は種々ありますが家庭の者を[illegible]しませるより大なる樂しみはありません。

一般的事務行[illegible]　關根商會主　關根五男兒

一般的事に關する新聞雜誌の外特に研究するもの無之候。娛樂は旅行、[illegible]

[illegible]　山中商會　白江信三

[illegible]に關する書籍、音樂。

[illegible]と米人生活　朝鮮銀行支店長　安田[illegible]

[illegible]に[illegible]た頃は紅葉、[illegible]花、[illegible]等、[illegible]の著書を手當次第に面白く讀んで居ましたが、紐育に來て以來は又[illegible]は英譯せし大戰前の[illegible]外[illegible]、施[illegible]に關する書物が比較的面白く讀んで居ります。娛樂は以前[illegible]を好みましたが紐育に來つて以來種々な人の種々な談話、特に[illegible]米人の日常生活を批評的に觀察した話を聞くことを最も面白く[illegible]じて居ります。



山内重馬氏令孃
右―よしよ子(七歲)左―ひで子(四歲)

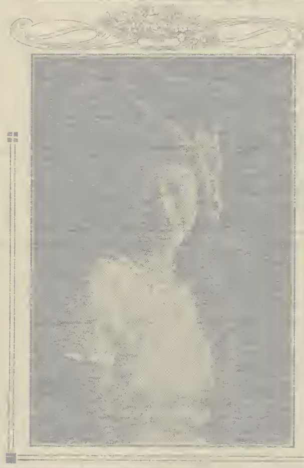
[illegible]　[illegible]

[illegible]を知らす　髙木舜三

私の愛讀書は[illegible]、娛樂は[illegible]ンブルか、ガールか、グラフトか。

新聞紙と戶外運動

[illegible]。娛樂は[illegible]。愛讀するものは新聞紙。娛樂としては戶外運動一切。



山内重馬氏令孃　輝子(十四歲)

◇

不明

私の愛讀書は格別申上候程の物無之ンティックを見て[illegible]る事と、本を讀むことは變らない樂しみで御座いませう。

無藝大食を樂しむ　三菱支店長　山本宗文

私は[illegible]を愛しますが特に愛讀する書籍として取り立てゝ申上ぐる程のものはありません。無藝大食。



高見[illegible]彥氏令孃　右―繁子(四歲)　左―[illegible]子(七歲)

[illegible]の書の亂讀に　郵船支店長　[illegible]井[illegible]

趣味嗜好は時と共に移り行くも古今集、近松の作物、論語、白氏文集、

[illegible]が唯一の[illegible]　大朝通信員　畑田保久

近來[illegible]を讀みます、時折寢臥しながら[illegible]詩選、[illegible]門論、[illegible]然草を眺むるのカーライル文集など何時見ても面白いみ。馬鹿話が唯一の娛樂と云ふべき乎。失敬。

[illegible]心の書を亂讀する位が關の山なり

財政經濟とゴルフ　[illegible]井支店長　[illegible]古孝之[illegible]

財政、經濟並に社會問題に關する書物、併し讀書の時少なきは遺憾に[illegible]す。ゴルフ、[illegible]、散步。

編輯者附記。本稿の質[illegible]狀は各方面に亙り約六十名の紳士淑女諸氏に發送したのでありますが、時節[illegible]多忙の爲[illegible]回答者の比較的尠少なるを遺憾と致します。

◇本社寄贈落し玉

[illegible]君著「官海游泳術」一冊　村井官補へ

英文ドンツ(作法教練)　久原鑛業會社員御一同、

伊賀流忍術一卷　[illegible]雄君へ

松井[illegible]　むしばごめ　千草夫人へ

大劇場一棟(淺草式は斷る)　木村駒子夫人へ

キャンデー十函　家永[illegible]吉君へ

やせ[illegible]百服　喜田主計少監へ

ゴルフ道の卷一部　一宮鈴太郎君へ

◇紐育夜のスケッチ◇
◆青い酒を飲む女◆
【りよ一レヾャキ】

キャバーレーが繁[illegible]するのは夜の十一時頃[illegible]ぎからである。所謂ホワイト、ウエーの芝[illegible]がはねるのを合圖に眞紅や紫のガウンを着けて顏をペイントした女達がシルクハットの男に連れられて這入つて來る。ドンヨリしたブルーやピンクの電球が、蔓の青葉の中に光つて天井や壁に見へ、其の光線が白いテーブル掛けに落ちて遊人の心を唆るやうな氣分を作つて居るのに、オーケストラが始まるとその旋律につれて薄い絹の衣を纏ふた幾人かのキャバレー女が歌ひ且つ舞ふのである。頭が段々ぼんやりして來る。女は客の間を歌ひながら廻り步く。一人の男が視線を送ると女は其の卓子に行き男の側に腰を下ろし青い[illegible]に其の朱唇を潤しながら何か話し出す、橫を向く每に兩の耳に箝めたリングが搖れて見ゆる。他の男が一寸首を振つて見せると女は又其方へ行つて了ふ。芳烈な酒の香と脂粉の匂ひがどよめいて居る中をいろんな形をしたグラスに五色も六色もの酒を注いだウエターが忙し相に通る。斯うして夜は更けるけれ共歡[illegible]は其色彩を[illegible]厚ならしむる許である(仇骨)

◇紐育夜のスケツチ◇

◆底光する眼◆

【[illegible]】

紫[illegible]を纏ふた[illegible]家さんが居る。紺綾を着た女優が居る。[illegible]居る。青、赤[illegible]を纏つた[illegible]しチー[illegible]を[illegible]だ男女九人が、煙草を喫ひ酒を飲みながら、[illegible]には互に[illegible]を呼び合ふ。[illegible]た女青の前には廿弗札の未だ切つてない十枚綴いになるのを[illegible]上に、白、青、赤、黃のチップが積上げてある。ディラーがサラ／＼と札を配ぼる間、十六本の手が札を握つた時、[illegible]として[illegible]を生じない。[illegible]丁を[illegible]たエルの響が手に取る樣に[illegible]る。[illegible]寂を破る最初の相圖は、チップとチップが衝突して發する微音である、二人三人とチップして札を投げる。殘つた男女は睨合つて、中には怒り出すのもある。女のチャームも男の[illegible]も、卓の中央に堆高い五六百弗に支配せられて目茶苦茶である。勝負が定つて一人が喜ぶと、後の七人は憤つたり笑つたりしてガヤ／＼騷ぐ。又次のディールで靜まる。[illegible]うして屋內の人々は必死となつて[illegible]を爭い[illegible]に成つてるのに街は更けて巡査が青白い燈火の柱に[illegible]れて欠伸をして居る。（エス）

＝社會改造の三大問題を解決すべく＝

在米青年諸氏の奮起を促す

水井柳太郎

ルードヰッヒ、スタイン教授はその著書「社會學上より見たる社會問題」に於て歷史上の時代精神を分類して、十八世紀は宗教改革時代であり、十九世紀は學藝發達時代であり、十八世紀は自由革命時代、二十世紀は社會改造時代たるべしと云ふてゐるが此の分類の是非は別問題とするも、吾人は二十世紀が社會改造の時代さ[illegible]つゝある。殊に今日の社會が最も痛切に改造を要求しつゝある問題は、第一に勞働問題である。即ち今日の經濟組織の下に於ける[illegible]的勞働者である資本家がその[illegible]出來[illegible]資本[illegible]なる分配をなさ[illegible]めて[illegible]者たる勞働者[illegible]分配を自覺し、[illegible]に於て資本家と對等の[illegible]的[illegible]である。此[illegible]に起う來るストライキとかロックアウトとかサボタージュとかボイコット、レ[illegible]との[illegible]やうな[illegible]に[illegible]するものである。

第二は婦人問題である。曾つてイルイ十[illegible]ガ[illegible]侯爵夫人に[illegible]「古來女子の治世に於いて屢々國家が[illegible]し、男子の時代に於て[illegible]亂するは何故ぞ」と問ひて[illegible]ルポンター[illegible]夫人は[illegible]位に在る時は[illegible]を[illegible]する者は男なり、男子位に在る時は國政を[illegible][illegible]つた。然るに時代の進歩と共に婦人も亦男子と對等の人格を有し同樣の生存權を有することを自覺するに至つて、單に社會上に於てのみならず政治上に於ても男子の專制より自己を開放せんとする運動を起すに至つた。今日吾々は歐米先進國に於て既に婦人が男子と同樣の選擧權を要求するのみならず被選擧權をも獲得して居る者あるを見るのであるが更に進んで將來男子と同じく國務大臣たるを要求するに至るであらうし、彼の社會學者ノーウコーが說明して居る如く經濟界に於て同一時間の勞働に對し男子と同樣なる賃銀を要求するに至るであらう。曾つて男裝せる[illegible]國婦人かある工場で激しい勞働をして男子と同樣なる賃銀を得た時その工場主に告げて『私は婦人でありますが貴下は婦人はそのエフィシエンシーに於て男子に劣つてゐるから同等の賃銀は拂へないと言はれましたが只今貴下は男裝せる私の働き振りを賞めて下さつたのみならず男子と同樣の賃銀を下さいました。貴下は婦人のエフィシエンシーを男子のそれよりも劣つて居ると言はれますか』と遣り込めた相であるが婦人の實力に於ても從來の考へよりは異つて居るのである。



大塚篠氏令嬢　富美惠子（四歳）

第三は人種問題である。從來白色人種は世界の人種を劣等なるものと蔑視し、これを『白人の[illegible]』と言つて[illegible]、有色人種自身も亦白人種を以て自己より優等なる者と信じ是に服從してゐたのである。然るに日露戰爭が起り日本が強大なる露國を打破すると共に、有色人種もその修養と訓練に依つては決して白色人種に劣るものに非ずと言ふ思想が起り、白人種と對等であり得ると云ふ自信を有するに至つた。これ前獨逸皇帝の『黃禍』を描きて白人種に警告し又クロパトキン將軍が戰後著書を以て『日本の勝利は全有色人種の反亂を喚起するに至るべし』と叫んだ所以であるが兎に角日本の勝利は有色人種の間に多大の自信と希望とを與へて、今や印度に於ても、エジプトに於ても自治政治の要求は動かし能はざるものとなつた。

此の三大問題は實に今日の世界に於ける殆んど凡ての政治的及社會的問題の根底を爲して居るのであつてこの三大問題の解決せられざる限り世界の改造は不可能である。來るべき講和會議は歷史あつて以來の大會議にして殆んど世界の主要なる國民を網羅するのみならず歐米諸國の勞働者が要求しつゝある如く、特に勞働階級の代表者をも參列せしむることになるかも知れない。米國に於ては婦人も亦その代表者を參列せしめんことを要求して居る位であるから來るべき講和會議は此の三大問題の解決に對して一歩を進むることは明白なる事實であるが然しその根本的の解決をなすことは一朝一夕の事業ではない。惟ふにこの三大問題は何れも個性の價値及權威に關する自覺の發達より發生したるものにしてデモクラシーの大精神が今日より更に徹底し且つ普及しなければ眞に解決することは出來ない。所謂デモクラシーの大精神はリンコルンの『萬人は平等に造られたり』と言ふが如き前提から出發して居るものであるけれ共、斯の如き思想と社會生活の實際との間には尙ほ幾多の矛盾が存在するのみならず、哲學者や思想家の間に於ても、この思想を否認するが如き議論は多く存在してゐる。肉体的に言つても亦精神的に言つても各人に強弱賢愚の別があり決して平等に造られてゐないのみでなく少數の天才をしてその欲するが如く世界を支配せしめることが眞に世界文明の發達を促がし、延いては全人類の幸福となるといふが如き思想も未だ決して全然葬り去られた譯ではない。今日既に我々はデモクラシーに對する反動思想の發生を認め得るのであるが今後の思想界はデモクラシーそのものゝ本質及應用に對する研究及議論の爲めに一大波瀾を生ずるではないかと思ふ。翻つて我國を見るにこの三大問題は共に發生しては居るけれ共猶未だ頗る幼稚なる狀態にあるのみならず歐米先進國が既に十九世紀に於て解決した處の貴族對平民の政治的鬪爭でさへも未だその初期に在りと云ふ狀態である。今日の日本が政治上に於ても又經濟上に於ても殆んど貴族、富豪の專制時代であるといふことは否定することが出來ない。例へば現內閣の原首相の如きも一平民の身を以て內閣組織の大命を拜受したりと言ふけれ共原內閣自身既に從來貴族の中堅たる山縣公等一派の斡旋に依つて生れたるのみならず、原氏自身內閣を組織するに當つても、政黨を操縱するに當つてもその周圍より高橋男とか、中橋氏とか、山本氏といふが如き資本家を除き、古河家とか三井家といふが如き富豪を失へば果して何を爲し得るものぞ。

斯くの如く日本は未だ貴族及び富豪の專制の時代であるのみならず婦人の自覺の如きも猶未だ殆んど皆無と言ふべく、私は常に旅をする時鐵道の沿線に於ける種々の廣告を見て一種の感慨にうたれる。我國に於ける鐵道の沿線の廣告は大體に於てこれを三種に分つことが出來る。第一は御園白粉とか美顏水とか花つばき香油とか言ふが如き化粧品。第二はアルカホール性諸飲料。第三に毒滅とか仁丹とかいふ賣藥類の廣告である。これ即ち日本の男子が婦人に化粧をさせてそれを眺めつゝ酒を飲んで病氣になつて藥を仰いでゐる證據ではないか。婦人が猶玩弄物の狀態を脫し得ないことは、夫ある女子が他の男子と不正なる關係を生ずる時は有夫姦としてこれを罰すれども、妻ある夫が他の女子と不正なる關係を生じたる場合之を有妻姦として罰せんとするが如き議案が曾つて議會を通過せず、國民も亦之れを敢て怪まざる如きに依つても明白である。これ日本人の間に於て個性の價値及權威に關する自覺も猶未だ幼稚なるを示すのみならず、日本の學者や思想家が日本國民を率ゐて世界の思潮に追從せんとする努力を忘れて居ることを示すものである。古來世界の大哲學者は何れも單に空疎なる哲理を研究するのみでなく、現實なる人生問題及社會問題に對してその哲理を適用し人類を導く事に努めたのである。例へばソクラテスの如き、プラトー、ベイコンの如き、スピーノーザ、ニーチエの如き是である。我輩は此点に於て米國に在つて世界文明の思潮に密接し先進諸國の世界改造に對する事業を目擊しつゝある青年諸君が奮つて日本國民を率ゐて、戰後に於ける世界思想界の大進步に後るゝことなからしむるのみならず、彼の人種問題の如きに對しては日本自らその中心となつてこれが解決の任に當る事に努力せられんことを望む者である。（文責在記者）



恭賀新年

年頭名刺交換 ＝申込順＝

三井物産株式會社 瀨古孝之助
高木舜三
田島繁二
久根下潔
在鎭海 山崎雄二
阪井誠治
勝守陸太郎
足立鐵之助
黑田雄平
平井六郎
山田三郎
服部愛之助
吉岡一
堤汀
加藤泰一
武川酉三
渡邊喜一郎
加名生良信
守岡岩男

寒河清一
今井精三
脇本倬一
宇佐美俊治
高木隆吉
長谷川昇太郎
柳澤健太郎
朝蔭秋次郎
原田立之祐
小栗明
河崎虎太郎
神吉英三
辻周一
青木玉五郎
間崎千之
古賀邦夫
山城伊太郎
古市勉

深川喜一
木下照太郎
川人芳男
星隈繁一
伊藤彌三吉
田代茂樹
村井恒
阪本越男
小林憲一
森村ブラザース 村井保固
手塚國一
地主延之助
飯野逸平
福島三五
本多錠太郎
本間岩次郎
古田土雅堂
在日本 佐藤清
小林雅一

山口次郎
山口萬次郎
手塚米一
千種兵太郎
高野彌一郎
塚本錬一
森澤磊五郎
久我好平
松木喜八郎
竹橋伊作
大矢寛次郎
吉本梅三
志賀孝太郎
田中良作
鞭馬健之助
別所直臣
山田全次
木島長一郎
土谷勝一

上村和三郎
森村新井商會 新井領一郎
新井米男
廣瀨猛雄
大木信次郎
山口龍吉
岡山友助
福島延憲
山脇正治
江川鋪助
松井愛信
小林秋男
鈴木商店 紐育支店 柏萬次郎
北濱留松
後藤半七郎
貞弘堯三郎
白石萬騎司
小林益一

土井内藏
健石次左衞門
石谷金治郎
明治貿易株式會社 笠松千代治
草信竹治
關本賢治
山口秀太郎
仲梅藏
佐々井常次
日本郵船株式會社 亀井一彦
金鞍一榮
田村保三
住友銀行 紐育支店 大島堅造
松本實三
武智滿茂
關山幾三郎
梅村益太郎
野澤兄弟商會 加藤通文

茂木合名會社 紐育支店 野中幸次郎
岩崎武治
石崎惣次
井上豐次
橋本禎助
萩原貞尚
大秦司敏信
小野信吉
大塚彌太郎
小野田友吉
川上倉次
川野吉三郎
高岡鎭彦
高草木修一
瀧本武士
竹内象藏
田中盛枝
高木長京

田邊俊介
辻正一郎
長尾敬義
中野省三
中澤常盛
中島松太郎
野村豐次郎
松川武一
松本春一
小泉種秋
小柳泰三
小林豐致
青山一郎
佐原秀文
三枝清保
宮田[illegible]郎
日比野六之助
望月重治
鈴木孝五郎

紐育新報（其三）

=戰後の勞働者と婦人=

舊式の社會は漸次敗頽する

=勞働階級の向上=勞働者の勢力=婦人の勢力=

『萬朝報』主筆　石川半山

歐洲の大戰以後、世界の大勢は必らず勞働者の天下となるに違ひない。貴族や富豪の如き遊んで樂しんで居る者の生存を許さない天地が生れるに違ひない、何人でも勞働の義務を盡し、若くも働かざる者は、必らず落伍せざるを得ざる社會となるであらう。

舊式の社會は漸次敗頽

舊式の社會は、勞働せざる階級の人を尊重した、遊んで贅澤に生活し得る貴族富豪を、勞働階級の人よりも尊敬すべき者の如くに考へて居た。今日でもその樣な舊式の思想の人物が東洋人の間に在るが、それは世界の大勢が許さない、印度や支那の貴族富豪は、手の爪を長く延ばして居るのは自分が勞働せずして生活し得る證據として之を誇つて居り、一般社會も之を尊重して居るが、此の風習は決して永くは續くまい、勞働階級の覺醒は最早や勞働せざる者を尊敬しないことになるに違ひない。

勞働階級の向上と發達

米國には一個月千弗以上の收入ある勞働者が珍らしくない、毎日自分の自働車で工場へ通勤する勞働者も多い。日本でも勞働者の地位は大いに向上した。先般造船職工を英國へ留學させる時、其の途中の船舶には一等船客として乘組ましめた、職工の洋行さへも五六年前迄は極めて珍らしいことであつた。況んやそれを一等船客とするに於てをや、時勢の進歩は日本でさへも既に此迄進んで居るのだ。

勞働者の生活は、其の收入の増加と共に向上して居る、これは何れの國に於ても同じ傾向であつて商工業の發展に伴ふて勞働者の收入は増加し世界は段々實力の競爭となつた

勞働者の勢力と其將來

英國に於てロイド・ジョージ氏が大宰相の地位に居る、彼れは貴族でもなければ富豪でもなかつた、其の腕一本で其の運命を開いた勞働者の出身ではないか、露國は既に勞働者の天下となつた、獨逸も墺國も、社會の中心は最早や勞働階級に移つて居る。

米國に於て個人よりも大勢力を有するものはゴンパース氏で有る、若しゴンパース氏にして大統領たらんとするの決心を起したなら、必らず之に成功するに違ひない、此の次の選擧に若し成功しないにしても、其の次には大統領は必ず勞働階級から現はれ

婦人の勢力と婦人大使

婦人の勢力も亦今後は大に進歩するに違ひない、今日ではキャット夫人を冷笑する人も在るが、今後遠からざる內に、世界のあらゆる國の婦人が、彼女と同説になるに違ひない

我輩は常に婦人の向上を望む一人で婦人の參政論者である。

明治卅八年七月、太平洋の船中で我輩が英語演説を試みた中に『今回の日露講和談判には小村君を特派するが、次ぎの講和大使には必らず婦人から大使を選出する樣になる』と云つた時、聽衆中の歐米婦人は大喝采をなし、小村大使までが面白がつて拍手したが、日本の婦人も傑れた者が少からざる內に、大臣となり、大使となり、代議士ともなる事と信ずる。

◇本社寄贈落し玉

燒芋百匹、南瓜一グロス　赤十字日本婦人部へ

胃腸藥拾錠　菊池東陽君へ

紐育業平番附一葉　月舟女史へ

鼻眼鏡脱落防止器　吉井官補へ

美文の資料、山百文　小畑一幹へ

清貧自在術　小栗ドクトルへ

輪轉機一臺　渡邊日本人社長へ

軟かい鐵拳一個　矯風會幹事へ

山岳飛行機（但し天狗團扇附屬一臺）　今村幸男君へ

紺のれん一枚（但し精々舊式に染上ること）　堀越商會へ

額の皺取り藥百瓶　矢田總領事へ

新約聖書一冊　岩井東洋館主へ

氣附藥（但し即効を重んず）　紐育日會事務所へ

花嫁二人　禿山新報社長へ



右―アトランティック市近藤佐重郎氏令孃　直枝子

左―紐育市　菊池東陽氏令孃　春子（五歳）

=民主的博愛主義主張=

戰後宗教の變遷は奈何なる

=世界的精神努力=知的説明の必要=民主的博愛主義=

紐育日本人教會牧師　清水宗次郎

今回の歐洲戰爭は振古未曾有の大戰である、從つて戰後は物質的精神的の二方面に著しき變化があるであらう、殊に精神問題に於ては其變化の甚しきものあると誰しも豫期する處である然し戰後の宗教は如何なる方面に如何なる形狀と使命を以て顯はるゝであらうか此れが研究は興味ある問題である

▽世界的精神勢力

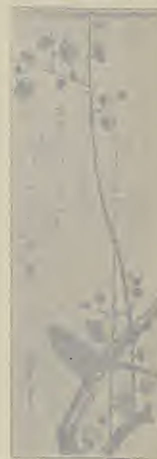
第一、戰後の宗教は世界的の精神勢力を有せねばならぬ、世界的人道主義を標榜して戰ひし聯合軍の勝利は主義より見れば其結果有形物の世界が擴大せられたのである、從つて無形の精神の世界も是に伴ふて擴大せられた事は當然である、然し…は一國民一人種に限らるゝ國民及び民族的宗教の如き國民性を有し或は人種的色彩を帶ぶるものは戰後の宗教たる價値を認むる事は出來ぬ、戰後人心の機微を穿ち現實の生活に接觸し世界人類の要求を充し其生命と成つて活動奉仕する世界的精神勢力を有するものでなくては駄目である此如き宗教を吾人は何處に求むるか

▽知的説明の必要

第二、宗教は元來人の神に對する經驗である、然し個人の靈的實驗は他の經驗の如く知的説明を要求するのである、是れ古來宗教の教義と成り儀式となり信仰關係となつて現はれし所以である、戰時潑溂たる宗教的經驗と此に對する現代思想上よりの知的説明とは戰後の宗教に新形狀を與ふる二大原因にはあらざるか、彈丸飛び毒瓦斯の覆ふ塹壕の生活には黃白黑赤の人種的區別も資本家と勞働者の隔てもユダヤ人と異邦人の差別も貴族と平民の階級もない、其處には同情と協力と一致の精神が滿ち、全群を支配して居る其處には無言の宗教あり、心と心相語り靈と靈相親しむ、靈泉湧いて泉の如きものある宗教的實驗と價値とは此に現はるゝのである、是れ奉仕的無言の宗教である、此の如き經驗は如何なる形狀を以て現はるゝのであらう、宗教は須らく超國家的超種族的のものでなくてはならぬ、如何に國家の組織が民主々義に基くものにせよ宗教が其國家及び國民性と結合し地方的色彩を有する如きものは未だ以て理想的宗教として戰後の精神界を指導することは出來ぬ

▽民主的博愛主義

第三、聯合軍戰捷の今日形式的には現はれざるも其主義主張より見れば既に民主々義の新時代となつた、而して戰後の宗教は此新時代を指導する確實なる使命を自覺せねばならぬ、世界は二分せられ世界的人道主義と自由とを標榜して戰つたのである、然し今後政治、經濟、國際、人種問題等に對し果して主張せし自由と平等主義を實行し得るのであらうか、世界人道と云ひ自由と云ひ主義として重んぜられ、主張として擴く行はるゝよりも寧ろ政治の組織として一時的に終り人種問題、國際問題等に於ては依然として變形の獨裁主義の現はるゝ如き事なきやを余はひそかに憂ふるのである、玆に於て宗教は能く內に其主義を實行せしめ自由を尊重せしめ、外には正義人道を重んぜしめ以て眞の民主々義なる博愛兄弟を鼓吹せねばならぬ、根本義に於ては個人と個人、民族と民族、人種と人種とを平等ならしむる統一感化力と國家の上に道德上の指導力とを有し國家民族を超越せる共同博愛の社會即ち神の國の實現に努力し又此れが手段としては單に奉仕の精神による事を自覺せねばならぬ、此れ戰後宗教の使命ではあるまいか。



私の此頃

—紫洋—

灯の街に[illegible]く心の冷たさを燃さん強き力は無きか

若み住む[illegible]を夢に生く[illegible]出の其うら若き春は悲しも

もど／＼夜雨に更け讀む物語吊ぶる情の幻に泣く

東國をのろふ心も[illegible]の友に逢ひなば安からましぞ

庭落つる小石の畫く水の輪に[illegible]

日本好ます米國にも[illegible]き果てぬ[illegible]の月見て[illegible]

[illegible]む床虫よ逃げ惑はずも命は[illegible]

赤き燈に[illegible]れて[illegible]の戀を懼ぬる[illegible]しき心

生[illegible]まで生きねばならぬ命かと思へば[illegible]流れて[illegible]ます

群集の[illegible]の中に山よりも靜けさ覺ゆ其時られし

因はれの指

—ばな—

鳩を飼ふ家根なる男鳩追ふと棒を打ちふり冬空に振る

[illegible]き家根の男は冬日浴びあからさまにもものくるはしき

飛び[illegible]る鳩の翼に冬日射し光り集め町夕暮るゝ

二人の吾が窓[illegible]れて雜音の町より町を流れ來る哉

雜音に[illegible]もる町の夕明かりひと[illegible]ぬ水色の布

[illegible]布のうすら見ねつゝ夜となり[illegible]を吹くブロンクスの風

エルの響き[illegible]りの盛りのきはまりて灯黄なりブロンクスの夜

此の町のユーダが黄金を積む夜半を鳴り盛りたる風の狂よ

うす[illegible]のまなこり會て人を見ぬものゝやうにも夜るに驕これる

白き[illegible]で[illegible]たる蔓る草の青きがからむ因はれの指

巷にうたふ

—躑躅歩—

わが街をわが心もの[illegible]を求め我れにまつはる姿おもほゆ

ふと[illegible]しかの[illegible]は[illegible]紋して闇とよぶ裡を涯しなうゆく

[illegible]みないを昔あとにして一心にわれ自らを戀ひてあるらし

一[illegible]をよぎりてふと消ゑしもの、姿のみまくほりすれ

はかるればなるものかよろこびも悲しみもなし白けたる我

[illegible]るべき[illegible]ものもなし[illegible]一人我

[illegible]我さへも今は消ゐつゝ

[illegible]

錢

[illegible]しひたすら[illegible]れにすがれど[illegible]を捨て[illegible]

永[illegible]吾を求むれど[illegible]なるものゝかげさへもなし

大[illegible]の巷に捨てし我が[illegible]を歸り來む日のありやあらずや

市の暮[illegible]來るさ[illegible]うちにしていさゝとわかすせし錢の音

錢におもふ錢のにほひのあやしさにおみなも忘れ酒もわすれそ

手にとりて我い[illegible]そたびかざしかな錢のにほひのあやしまるれば

つくづくと錢をおもふは音ならず形にあらずこのにほひゆへ

朝晴雪

—月舟—

新年をほきてふりける白雪に朝日にほひてのどかさぞふ

[illegible]ものを見ねつもりてし雪は朝日にとけそめにけり

さちうすき[illegible]にしあれども報[illegible]の年をむかふるはうれしかりける

ふたつ海道はなれて來しかたをかへりつゝ年むかへけり

逢はぬどねかひいねてし初の夜の夢もむすぶにかけなかりけり

嘆きの戀

—ヴァガボンド—

ひしひしと戀の傷手に秋風の泌む夜となりし街のともしび

[illegible]れど掘れどいつかな戀の水もとめ得られず鍬を捨つはも

月さ[illegible]も心なじまずなじまれず嘆きの雲に[illegible]ずや

かふアざも月になくなれ月明りその夜の君が横顏に泣

果[illegible]なさは水にながるゝ月のかげ水面にうつる戀のなきがら

うのとりく

—田巻五峯—

かみなかく色うつくしきをとめらのさてもかしまし赤き夕ばね

おぼろ夜に白き羽ごろもみ[illegible]より物おもふ子となりにけらしな

少女らは甕のうつろをみたさむと脛もあらはに井戸のべにたつ

夕されば椰子の葉ずれのおとたゐて素足の民らギターをかなづる

◇紐育夜のスケッチ◇

◆ドラの名を慕ふて◆

【バレスクより】

夜更けて支那人町の薄暗から歸つて來る男に、背のすらりとした親切なドラの噂を聞かされて加州の田舍の日本人の教會で英語を教へて呉れた若い女の名を私は思ひ出してゐた。私が十七番にドラの名を慕つて女に逢ひに往つたのはそれから間もなくであつた。女は英語の先生とは全然違つてはゐたけれど私は或る種の親しみをもつて一週に一度は缺かさず、紅い唇と青い瞳との持主を訪ねていつた。二弗の紙幣をポケットの中で握り締めながら[illegible]。去年の九月十三日いつものやうに訪ねて見ると、ドラはもうそこにはゐなかつた。今夜私は何ケ月目で美しい足を揃へて十何人もの若い女達と一緒に華やかな管絃樂につれて唄ひながら踊つてゐるドラを見た。安白粉を塗つて頬紅を染めてビューティスポットをつけて。こゝには肉慾以外に何の慰藉をも持たない男共の最も露骨な獸慾と醜猥は表情とがその厚い唇に慄へてゐた。豐滿な曲線のムーブメントがこれ等の男の感覺を捕へ、敏捷に働く流眄はよく男の心に燃燒する。私はもうドラの紅い唇を[illegible]ふまい。（るつぼ）



上 ―北の[illegible]の詩―

佐々木指月

[illegible]
鉢に
揺るれば
[illegible]
[illegible]
初秋を
[illegible]ず。

圓

空を
行[illegible]
かげる
越[illegible]
流れ。
雲の
[illegible]
晴れは
ひや
寂るなし。

日のにし

昔[illegible]の
林さ[illegible]や、
トンネサ[illegible]。

我れ

新、
泉、
月の欠け、
詩は、
それも、
我れも
[illegible]
[illegible]

I Tristi Frutti

花　花

うすき[illegible]かして
ホヤ〳〵とゆげが出てる、
焼きたての
ホンケイキの上から。
シ[illegible]を[illegible]や[illegible]
不[illegible]ヤ[illegible]たら
[illegible]が[illegible]
大[illegible]
中り、[illegible]る。
おまじや[illegible]タグの[illegible]から
[illegible]の
[illegible]上[illegible]
[illegible]は[illegible]上らうとすれど
[illegible]
[illegible]の[illegible]して、[illegible]
[illegible]う、[illegible]がない。
[illegible]
大きな[illegible]
トップの海の[illegible]に
[illegible]

思ひはたどる

潮　外

いと[illegible]へど彼の君は
たゞ微笑みてありぬるに
もどかしさもかぎりなく
君にもなき眞の愛ならば
われより捨てむ、とは思へど
朝々會へば優しき其[illegible]
君が[illegible]も心ある
愛の流れよと思はれて
宿[illegible]に歸れば又しても
熱き思ひは辿りてやまぬ
To the [illegible]



新井領一郎氏令孫（米男氏長女）
惠美子

誇大妄想狂

久家[illegible]象

欲すれど、
こばむ羞恥のたしなみぞ
邑がらみに逐ひまとふ
一瞬時、
[illegible]もわかた[illegible]、[illegible]ては
[illegible]裂[illegible]、きほひ……、
[illegible]はいま、もろし[illegible]まし。
あはれば [illegible]の ZIG-ZAG
[illegible]刺す、立體式も
さりながら。
五[illegible]六腑のひだ〳〵は、
[illegible]なき[illegible]る
未來派の、[illegible]樂のまに〳〵。

湛[illegible]む
[illegible]かや FLASK[illegible]
むせび[illegible]わたる
金屬の線の[illegible]々。

[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]かひいら[illegible]てる
[illegible]群の
[illegible]など。
[illegible]の月は若く、
みなぎ[illegible]て、か[illegible]
そ[illegible]

Mood

個　人

□
[illegible]
[illegible]めむとぞ思ふ
[illegible]
な[illegible]尾ばれの
金[illegible]群青の　あやの珠ばし。

□
色彩の[illegible]か、あらず
その[illegible]ひと夜、シテアが侘ぶる
情緒のあやしさに
こゝろ蝕にて
かゝりぬ。

□
とろみたる
クリームドメント
濃やかに、二人啜れど
その色のうす綠、
黄なるがゆゑに
待つ宵のうらみもきこゆ。

詩五篇

ばがぼんど

たどふれば、
ぬかるみに足を踏[illegible]みし心持。
眞赤な、[illegible]薇の花片を、
ぎゆつと踏みにじるこゝろもち。
けふもけふとて、夜もすがら、
年増女の[illegible]わりなさに、
心溺れし[illegible]の男。

◆銀貨の音

ちりーん、ちりーん。
さても不思議なそのひゞき、
街さ歩けば、家行けば、
その物音の怪しさに、
食ひたさ飲みたさ、遊びたさ、
いまさらに、
くるくる廻る、その物音、
さても不思議なそのひゞき。

◆南京蟲の自殺

あかいあかい血汐を吐ひて、
この眞白い、シーツの上に、
ころりところんだ眞黒い曲者。
行倒れか、そも自殺か、
[illegible]を震はし、身をもがき、
引導受けし南京蟲。
青い瓦斯灯に照らされし、
さても毒々しい、その血痕、
誰れの血ぢやら、涙ぢやら。

◆戀の調子

すい〳〵と舟が動けば、
水の面、
微かに生みし旋律に、
しんしんと、
月の吐息と蟲が鳴く。
戀の調子と夜の調子。

缺陷

梧　風

眉は流れて、口は歪む
眞赭な顔、
サブの電氣につる〳〵光る。
軍服が物言はねば、
只の人、捨てらるゝ人。
ノーマンスランドの勇士は、

裸體美

藤岡不明

淸き艶姿を捧げ
飽ま[illegible]神聖を保つ
自然兒よ……
豊滿にして
[illegible]美――
若かい華やかな血潮が漲る
純にして



山口秀太郎氏令嬢――重子（十四歳）[illegible]子（十歳）
忍子（六歳）齋子（四歳）忠子（一歳半）

濃[illegible]な色[illegible]は
[illegible]の[illegible]
そは[illegible]のため。

追　憶

二つ三つ[illegible]き女の[illegible]みゆる
[illegible]し方を[illegible]ふれば

睫の無い眼て、
前の派手な廣告を正視して居る。
映るはハンカ、
聞ゆるは警鐘か、
[illegible]瓦斯の手負、世の犧牲。
一[illegible]剝いた社會の姿が、
[illegible]まし[illegible]もまざ〳〵見ゆる。

紐育新報

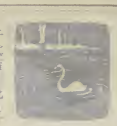
第四百七十七號

◇紐育夜のスケッチ◇

◆失はれたる鍵◆

【支那町から】

確か去年の十二月の七日だつた。丁度角土曜日の寒い晩だつたと丈は記憶してゐる。其日貰ふた一週間の給金で懐が暖い、チト遊んで歸つたのは夜の十二時頃だ、さて歸つては見たものゝどのポケツを探しても私の持てるベイスメントルームの鍵が無い、どうしてもない、這入る事が出來ない。全体何處で紛失したのだらう、十六番のチヤプスイでもなし、近所の活動寫眞でもなし、とすれば殘る所はたつた一ケ所、ハーア成程と感付いて疲れた足を復たサードアヱニユーのエルに引ずりチヤザムスコヤで下車した。彼女の所に行つて例の鍵の一件を訊いたが知らぬらしい、ベツドの邊やルーム中を探したが無い歸る譯には行かず其夜は女と共に暮した。其翌日の午後からだ痛み出したのは。醫者に見せたら確かにそうーだと云ふ、其後三週間辛い目に遇ふた、お蔭で二百弗も費つてやつと二三日前に癒つた。今朝久し振りでパンツをプレスしたら右側のカフの所でナイーンに觸る何か固いものがある、指を入れて出して見れば、何だ！例の鍵じやないか。（浪花）



血のやうな髪

佐々木指月

千代吉が死んだと云ふ電報が、英文の手紙が來た。

昨晩、千代吉のゐた西六十九街のアパートメントへ尋ねて行つたら、千代吉の同棲してゐた、ヘンリエタが獨りで、ぼんやりと夕食をたべてゐるところであつた。

千代吉の畫いた油繪はまだ壁にかかつてゐた、白いベツドにはまだ枕が並んでゐた。いつでも千代吉はこゝに眠つてゐた、ヘンリエタと話をしてゐた、とを思ふと、今にもドアが開いて彼れが歸つて來さうな氣もちがした。

ヘンリエタの血のやうな髪の毛の下に、底に沈んでゐた青い目は、静に白い皿の上に落されてゐたが、斯う云つた。

『千代吉の死んだあとで、私は、彼れは日本人のフアイトハアトは無かつたのだと云ふことをたしかめました、そして彼れに日本人の友人はあなただけ、それも、あなたがどこに住んでゐるかは、私には、知らせなかつた』と。

死因は心臓麻痺。一昨日ヘンリエタとヘンリエタの伯父さんと、日本人の新聞記者とが立ち合つて葬式は濟ましたと云ふ。

何か書き遺きはないかと捜したが死が突然だつたせいでもあらう、そんなものは、彼れの愛讀してゐた白秋の詩集のなかにも、はさんではなかつた。

スウツケースのなかには、ダンフにはく靴と、彼れの姉が編んだと云ふ赤い毛絲の靴下、それもぼろぼろになつてゐるのがあつただけ、あとはランプの光りがスウツケイスのからつぽを照らしたのみ。

その壁に、西部にゐた時、私と一緒に住んだ家の寫眞が、その靴下の間から出て來た。私は、一と目見ると急に泣いた。

わきにゐた、ヘンリエタが、いきなり鋭く『それは、あなたと一緒に住んでた家だと云ふが、そうですか』と聞いた。

私は、ヘンリエタの顔を見上げたか、返事は、急には、私の咽から、出なかつた。

ヘンリエタの血のやうな髪は、疑ひを含んだ目と、慄はしてゐる唇とを包んで、死んだ千代吉と生きてゐる私との間に挿まれてゐた。

千代吉のトランクを開けて見た。東になつて巻いてあるキアンバスを開いて見た。これは何と云ふ事だ、彼れが西部にゐた時から、幻想をモデルとして畫いた、日本の女の繪、木の下に立たし、窓にもたれさせた幾枚の繪がずたずたに裂かれたりずたずたになつてゐるではないか、鋭どい刃ものでその裸體を切りこまざいてあるではないか。

それはばかりではない。ヘンリエタをモデルとして千代吉が畫いた繪にぬたくつた黒い繪の具、青い繪の具出來上りかけて、ぬりつぶされた、幾枚の繪。ヘンリエタの白い肌ゐにこれも貫いたナイフの跡。

ヘンリエタが、室の外へ出て行つた樣子が、少し變だつたから、私はホールへ出て見た、ヘンリエタは階段の卸り口に立つてゐたが、私が近づくと、着てゐた薄いキモノのまゝ下へ馳せ下りやうとする、わきへ行けば叫びかねまじき有樣に、私は恐れて、しばらくはホールの薄暗い灯を透して、睨み合の姿となつた。

私は、ひよいと見付け出した、ホールの壁に叩きつけたやうな、赤い繪の具のしみ。

そのしみは、ヘンリエタの髪から下の、ファベンダアのキモノにも、殘つてゐた。ホールのカアペツトにも、血の痕で、しみつけた、血のやうなその跡。

生きてゐるヘンリエタの青い目を死んだ千代吉を心臓に、私の心臓はたまらない悶へ高い動悸を、うちはじめた。

媚びてゐるやうにも見えてくるヘンリエタの青い目、死んだ、千代吉。



馬鹿票を買ふ男

石垣坩堝

彼は吊革にぶら下つて窓の外を眺めゐると暗いうちに瞬いてゐる青や赤やのシグナルが風を切つて反對の方面に走つてゐた。ピイー、ピイー、汽笛が響き渡る。

それから半時間程經つて、彼はある田舎の町の薄暗い小路をトボ／＼歩いてゐた。ステーブルがあると見えて馬糞の臭ひが、プンと鼻をつくその邊には荒廢した空地があつて、黒猫の屍や、女の古帽や、さびたブリキの鑵が捨てられてあつた。廣告の紙が其處にも此處にも散らばつてゐた。戰争は戰場でない處にも。而しの建設的なを片端から破壊してゐた。文化的な、生産的な事業を中止させた。自然は自然に對する征服力を失つた人間の事業を破壊してゐた。やせた野良犬がクン／＼鼻を鳴らしながら、何かの骨を漁つてゐた。冷い月が淡い光を、その荒廢した空地に投げてゐた。紐育では見られない大きな電信柱が、枯木が淋しく立つてゐた。

電車の通つてゐる明るい通りに出ると、マーケツトが始まつてゐる、多くの男が付け合ひに呼んでゐる。そのうちには女も可愛らしい聲もまじつてゐた。それが音樂的な調子を彼に與へる。そこを通り過ぎて町はずれに出ると、赤い紙に色々な字が書いて貼りつけてある。支那人町だ。隆盛泰、福來敞、南京敞、日夜開皮てふ小さな煤けた看板が薄明い光に照らされてゐる。彼はすこし躊躇つてはゐたが、思ひ切つて、コツコツ薄暗い穴藏の樓段を下る。紐育ドーアを開けて次のドーアの外に立つと、賭博窟の樣子が手に取るやうにわかる。シーコーが始まつてゐるらしい。四五臺のテーブルの周圍には、例のを好きな、あひがウジウジ群つてゐる。彼は狡ひ入まれるやうな氣分で穴藏に入る。煙草の烟と惡い空氣が充滿してゐて何とも云へやうのない臭氣が鼻をつく。吐氣がする。肺病やみが蒼白い顔をして幽靈のやうな細い手でシーコーをはつてゐる。薄穢い百弗の札がコーナ張りだ。集團の眼が光る。蜂の巣のやうな痘痕で眼も鼻もわからないチヤン公の爺が白い石を四ツつゝ數へ始める。誰やらが『ニツだ』と叫ぶ爺が曲つた棒の先で數へ了ると三ツ石が殘る。收入掛りが嫌な顔をする肺病やみが二百弗ポケツトに捻ぢ込んで『マカハイラー……』でゴホン、ゴホンと咳きながら歸る。他の奴等は敗けて蒼くなつてゐる。痘痕の爺の眼が暗い微笑と共にキラリと光るカラーも掛けない若い男が札の束を投げ出して、黒い票を積み重ねた。赤い紙札が一に向つて乘つけられた一の一点張りだ。見る見るうちに取られる。『フウン』苦笑ひして歸る。エキサイトしないだけ支那人はエライと彼は感心する。馬鹿票のオフイスが開いた。わざ／＼紐育から買ひに來たヤツヤントイが十人ばかりゐる。シガーをくわへた氣障な男が、新米な彼の事をジロ／＼見下してゐる。『嫌な奴だ』と思つて人の見ない處で、天地玄黃の青い紙を消す。その青い紙を見ると直ぐに遊蕩的な氣分になる。背の低いシンサが彼の顔を覗き込む。『カツ！』縁起が惡い拝む暇を[illegible]して好いか解らなくなる。彼の心は[illegible]迷ふ。昨夜の夢が頭に浮んで來た。一律の乳を眠つてゐる夢だつたと思つて、[illegible]ヤ、ドンを捨てるやうに彼[illegible]情婦の名の頭字さ、外[illegible]八ツの字を消して、六十三仙のダブルを貰つて見た。やがて十時が來て『アーンヂャア、カハアー』歌ふやうな調子でシンサンが當り字を讀みあげる。一ツしか當つてゐないぢやないか。自暴糞を起してシーコーを張る、持つてゐた錢はみんな取られてしまう。自棄になる……と、彼の肩をたゝくものがある。書生あがりらしいヤツポンナイの乞食だ。『君、勝つたかい？』博奕は面白いだらう。道樂のうちでも女や酒より違つて誘惑の根底も深いし、刺戟も強いから始めたら止められないさなあ。眞逆達人や濡手に粟で二三千弗を一夜でやつつけるのだからさ。敗けたら最後、俺のやうに乞食だ、シヤツコモン呉れないかい』と皮肉な笑ひ方をする。『馬鹿言やがれ』と彼は口の中でつぶやきながら外に出た

その夜、更けて彼は眠られないまゝ、何を考へるともなしに考へて居た。天井の隅を見詰めながら……。「俺の嘲つて居た低能兒が、社會では何なりと威張つて居るのに、俺は今頃亞米利加の隈で徘徊いて居るとはどうした運命の皮肉だ。敗け惜しみの強い俺は、自分の成長を努めるかはりに他の人間の生長を咀つてゐる後から來る若者の天才肌のものがあると俺は極力憎み虐げんとしてゐるそして世間的に威張りたい爲めに一攫千金の僥倖を夢みて、貪婪な支那人の腹の肥料になつてゐる、何んと云ふ卑劣だ………。然し成るやうにしか成らないんだ、どうにでもなれッ』と彼は自分で淺薄な慰めを造つてから、ピローの下からウキスキーの瓶を取り上げて、その色と量を飽かずに眺めてゐた。が、やがて栓をとつて瓶の口からぢかに飲み干した。間もなくグラスの積れてゐる自鳴時計や古雜誌やパイプやが床板の上に轉がつてゐるのも知らずにグツスリ酔つて寢てしまつた。

紐育新報（其四）

米國大統領英京倫敦に到着

▽市民二百萬は熱狂して榮ある國賓歡迎
▽國際聯盟問題に對する英米の了解成る

米國大統領ウヰルソン氏は既報の如く舊臘廿六日米軍總司令部を出でこ英國海軍の護衛を受けつゝ英京倫敦に入り停車塲よりハッキンガム宮殿へ、ウヰルソン氏は▼英國皇帝と同乘 ウヰルソン夫人は皇后陛下と同乘二百万の群集より熱狂的歡聲を浴びつゝ入城したるが倫敦市民が外賓を迎ふるに際し斯る白熱的歡迎を試みしは歷史未曾有の事實として特筆されつゝあり翌廿七日午前大統領は首相ロイド・ジョージ卿、外相バルフォア及セシル卿と長時間に亙り重要事項の討議をなしたるが討議の目的が國際聯盟の組織海上の自由及軍備縮少等に亘りしは勿論にして各氏共に滿足なる結論に到着したりと謂へば同問題に對する英米の了解は既に成立せしものと稱するも敢て過言に非るべく、其夜英國皇帝は大統領を主賓として▼盛大なる晩餐會を催したるが當夜の列席者は皇帝御夫妻大統領夫妻メリー皇妃、ヘンリー、ジョージ兩親王、グレーソン提督、ビッドル陸軍少將、佛伊西班牙大使、珍田大使、ロイドジョージ、ノースクリフ卿、セシル及外相バルフォア、ゼリコー提督、前首相アスクヰス卿其他政界の諸星にして皇帝は起ちて滔々約卅分に亘り大統領渡歐の意義よりして現戰爭に對する米國の努力を稱揚し英米の永久親善を高調したるに對し▼大統領は起ちて 英米兩國の親善を讃美したる後米國人の自由を愛する心には何等利己的野心なきを斷じ更らに渡佛後英佛伊の各大政治家と會合し吾人の目的と抱負が期せずして合致せしは衷心より愉快とする處にして吾人今日まで常に口に唱へし正義を全うしこの戰爭の意義を全うせしむるは我等の義務也と說き一同に深き印象を與へたるが大統領一行は一月一日を以て巴里に歸着し直ちに伊太利に赴く筈なれ共都合によりては滯英期を暫時延期するやも知れずと傳へらる

過激派の勢力

▽獨逸政界を風靡せんか

獨逸政界に於ける過激派の勢力は漸次擴大しつゝあるものゝ如く同派領袖リエブクネヒトをして閣員に列し妥協せしめんとの說すらありが同氏の後援たるモルケンサウ氏は遂に伯林の軍隊指揮官に任命されし事はこれを證して余りあり

講和談判五年

▽中立國參加は當分中止

倫敦に於て專ら噂さるゝ處に依れば近く開催すべき平和談判の初期には各中中立國の參加見合さる可く一應の會議には約六ケ月を費し然る後詳細なる各國の問題を討議し最後に中立國も參加して國際聯盟問題を討議す可く旁々談判終了までには五年の長日月を要すべしと云ふ

殖民地博覽會

▽千九百廿年巴里に於て

巴里市會は決議の結果千九百廿年乃至廿一年を期し巴里市に協商國殖民地博覽會を催すべく佛國政府の盡力を乞ふこととなりたり

米國記者招待

▽ノースクリッフ卿演說

米國新聞記者四十余名は英國政府の國賓として大統領と共に招待され廿七日英國新聞協會の晚餐會に列席したるが紐育タイムスのオハラン、夕刊ポストのローレンス氏、ウォールド紙のスウォープ氏等卓上演說を試みし後ノースクリフ卿は英國が米國に對し何等敵意を有せずとの意味にて演說したり

赤旗掲揚擊沈

▽英國海軍省の新命令

英國海軍省は所屬艦隊に命令して今後赤旗を揭げし過激派の船艦は直ちにこれを擊沈し乘組員を捕虜とすべき旨命令を發したるが廿七日英國戰艦カリプソ號は東バルチックに於て過激派驅逐艇二を捕獲するに至れり

海電管理問題

▽ヒューズ氏法廷に立つ

前共和黨大黨領候補者たりしヒューズ氏は當地商業海電會社の利害を代表し米國の海電管理訴訟に對する原告の辯護士として法廷に立ちたるが氏は大統領に賦與されし戰時權能は戰時中に限り大統領自身が戰爭終結を宣言し乍らその後に於て海電を管理するは憲法違反なりと力說し公判は尙ほ續行の見込なり

聯合內閣勝利

▽婦人參政首領は敗北す

昨年十二月十四日を以て擧行されし英國の總撰擧に關する結果は十二月廿八日を以て漸く發表されたるが大體に於て聯合黨の勝利は確實なるものゝ如く婦人參政黨の領袖にて勞働候補者たるデスパート夫人は遂に聯合黨の爲めに敗北せり



[illegible]古孝之助氏令孃 右――[illegible]子（十[illegible]） 中――[illegible]年子（[illegible]歳） 左――吉[illegible]子（九歳）



香西龍雄氏令孃 文代子



右――桑山仙藏氏令孃 アヤ子（三歳）
左――草信竹治氏令孃 米子（七歳）

內外時事問題

◇シンフェン黨と代表
今回の英國總撰擧に於て勝利を占めたる愛蘭士シンフェン黨は近く平和會議に代表者を送るの意嚮を有して目下計畫中なり

◇前露帝の生存を力說す
最近ワルソーに來りし 露國名士は前露帝が尙ほ生存し居るは曩に露都の獨逸領事より伯林に送りし公文書に於て明白なりと力說せり

◇波蘭對獨最後通牒發送
波蘭政府は獨逸政府に對し波蘭軍隊が過激派討伐の爲め獨領鐵道にヴィルナを通過するの權利を主張せし最後通牒を發送するに至れり

◇米軍除隊總數は五十万
米軍歸還兵は十二月廿一日迄に六万八千を算し米國內地に於て既に除隊されしものは五十万に達せし旨陸軍省は發表したり

◇佛軍五千過激派と戰ふ
オデッサに於ける佛軍五千は海軍砲を陸揚げして過激派軍と交戰中なるが頗る激戰にして勝敗及び死傷者は未だ判然するに至らず

◇フーバー管理官の豪語
獨逸食糧委員の一名は電報を以てフーバー氏に面會を求め來りしも氏はこれを言下に拒絶し汝等は寧ろ地獄に行くべしと激語したり

◇大統領六十二回の辰誕
目下滯英中なる米國大統領ウヰルソン氏は十二月廿七日を以て六十二回目の誕辰を迎へたり氏は千八百五十六年に生れたる人なり

◇獨墺共和國と新大統領
獨墺新共和國は第一次大統領を物色中なるが名譽大統領としてウヰルソン氏を推すべしとの說多數を占めつゝある旨報せらる

◇佛國勞働黨と米大統領
佛國勞働黨員は米大統領の平和條件に後援し賠償金の受領に反對の意を表明すると共に過激派撲滅の露國出兵に贊成の決議をなしたり

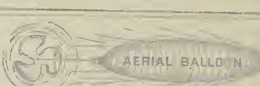
◇佛軍死傷千百卅八万余
參戰以來本年十一月一日迄の佛軍死傷者及行衞不明の總數は千百卅八萬五千三百名に上り捕虜は四十四万六千三百名に達したり

◇ルデンドロフ將軍執筆
前獨逸參謀次長ルデンドロフ將軍は獨逸の戰爭に對する責任に關して執筆中の處殆んどこれを完了し近く公表するに至るべしといふ

◇紐育に流行感冒再發す
紐育市の流行感冒は作今に至りて再發し廿八日より廿九日に亘る間に於ける感冒患者二百七十名肺炎卅八名死亡者卅六名を生ずるに至れり

◇米國情報局長は辭任か
米國情報局長として目下巴里にあるクリール氏の辭職は最早時日の問題なるものゝ如く氏自らも辭意ある旨を廿八日發表したり

小兒の嗜好に



此の最新式航空品を提供す 好評嘖々にして利益ある
大さ 氣球—— 十六吋 / 機 進 —— 三吋半
Nippon Dry Goods Company
100 W. 32nd St., N. Y. City
Telephone Farragut 4187

投する新玩具

CALDWELL & CO.
FORWARDING AGENTS
50 Broad St. New York
458 Bourse Bldg. Phila. Pa.
1231 Peoples Gas Building
CHICAGO, ILL.
Sailing weekly from Seattle to ports in China Japan and Phillipine Islands

日米間貨物輸送

日本雜貨たろし賣

TAKITO OGAWA & Co.
101 5th Ave. N. Y.
Near 18th Street
Tel. Stuyvesant 5722-5
BRANCH STORE
327-31 W. Madison St.,
Chicago Ill.

瀧藤小川商會

日本陶器　雜貨卸賣

THE TAJIMI Co.
IMPORTERS OF JAPANESE GOODS
597 Broadway New York

多治見商會

Tel. 6611 Spring
ボストン支店
41 Pearl St. Boston

NIPPON YUSEN KAISHA
JAPAN MAIL S. S. CO. TOKYO, JAPAN

本社所屬米國航路配船々名左の如し
諏訪丸 二一、〇二〇噸
伏見丸 二一、〇二〇
香取丸 一九、五〇〇
鹿島丸 一九、二〇〇
加茂丸 一六、〇〇〇
熱田丸 一六、〇〇〇
運賃其の他に關しては左記の處へ御問合せ被下度候

日本郵船會社紐育出張所
Equitable Bldg. 120 Broadway
Tel. Rector 6178

シヤトル出張所
Colman Bldg. 1st Ave. Seattle Wash.

自働車操縦修繕教授
American Auto School
726 Lexington Ave. Near 58th Street
本校は自働車の修繕及操縦法を短期間に於て教授し就職口を保證す。婦人部あり晝間及夜間開校す。日本人に向つては日本人の教師を用ゆ



●お手輕御料理
そば うどん すし
旗亭 梅のや
ジエームス街八番
▲球場の設備あり
下町へお出掛の節は何卒お立寄被下度候

御客様専用の自働車も有之候
汽船乘客の切符取次も可仕候

相生旅館
華盛頓 岩元

#1 Low Circle, Washington, D. C.
Phone Franklin 2630

御菓子 御しるこ 御雜煮
御祝儀其の他の菓子は御好に應じ種々調進可仕候 敬白
本 弘房 水月堂
電話コロンバス七〇九九
紐育市七十二丁目西一六一

---

177 West 97th Street
Phone Riverside 5717

眼鏡師 診察無料
視力檢査專門醫學士



F. I. FREDERICS Co.
Tel. Plaza 343　135 East 59th St.

Dr. T. C. TAKAMI
176 Wash. Park, B'klyn
Tel. Prospect 6710
診察時間
自午前九時至同十二時
自午后六時至同八時
但日曜日ハ前約ノ患者ニ限
ドクトル 高見豊彦

JOKICHI OGURI, M.D.
171 W. 95th St. N. Y. City
Tel. Riverside 5573
診察
自午前九時 至午後一時
自午后六時 至同十時
日曜日自午前九時至後四時
醫學士 小栗桑吉

Dr. R. Shishido, D. D. S.
787 Lexington Ave.
New York City
Tel. Plaza 5643
紐育州公認 齒科醫
自午前九時至十二時
自午後一時至五時
ドクトル 宍戸良一

E. E. Yoshii, M. D.
327 W. 71st Street,
New York City
Tel. Columbus 6729
コーネル醫科大學勤務
ドクトル 吉居悦彌
診察時間
自午前九時至正午十二時
自午後七時至同九時
日曜日は前約の患者に限る

Dr. C. H. Martin
748 Lexington Avenue,
New York City
Telephone: Plaza 4693
齒科醫 親切丁寧
五十九丁目とレキシントン街角
ドクトル マーチン

G. M. WAREHOUSE, Inc.
Storage & Trucking
42 South St., New York
Telephone, Hanover 7986

今般上記の場所にジーエム倉庫會社を新設し特に邦人會社商店の便宜を圖り、迅速叮嚀を旨として、一般商品の保管、運搬等の事務を確實に相取扱ひ可申候間多少に拘らず御用命被下度候
社長 ルイス ゴンザールス
副社長兼會計 山本富三郎

ドクトル 村瀬九郎
Lexington Ave.
Tel. Plaza 1518

村井保固事務所
F. M. Hill 7th Floor, 11 Broadway
Subway Sta. Bowling Green
Tel. 9597-9598 Bowling Green

BANE & WARD
11 Broadway, Room 1200 City
Phone: Bowling Green 9136-9137

煎餅卸小賣
今回左記の場所に於て風味良好なる煎餅卸小賣相始め廉價に販賣致候間何卒多少に不拘御用命仰付けられ度此段謹告に及び候也
城嶋佐市
電話架設中
52 Bowery, New York City

御下宿 吉田宗章
624 Lexington Ave N. Y. City
near 54 Street
Telephone Plaza 6285
●球場あり●

T. Kikuchi Studio
菊地寫眞館
437 Fifth Ave N. Y City
Telephone Murry Hill 3671

飾箱製造元
布張 革及　精製 廉價



陶磁器、銀器、グラス入、セツト物、其他
カロー商會
ワルレン街八五番三階

J. CAROW CO.
85 Warren St. City　Tel. Barclay 5552

The Bank of Taiwan, Ltd.
Room 808
The City Investing Bldg.,
165 Broadway, N. Y.
Tel. Cortlandt 7232-33-34

本國預金 定期 米貨廿五弗以上 邦貨五十圓以上 利息年五分
通知 米貨廿五弗以上 邦貨五十圓以上 日歩九厘
▲資本金三千萬圓▲預金二億六千四百五十萬圓
株式會社 臺灣銀行紐育出張所
其他郵便送金及並送金(無手數料)外國爲替賣買荷爲替取組取立、信用狀發行等一般銀行業務御便利に取扱可仕候
▲何御不審の点は御遠慮なく御問合せ被下度候

The Yokohama Specie Bank Ltd.
Equitable Bldg., N. Y.
Phone 2550 Rector

本店 定期 邦貨五十圓以上 利息年五分 六ケ月以上三ケ年以內
預金 通知 邦貨五十圓以上 百圓に付日歩九厘
橫濱正金銀行紐育出張所
日本人の郷里送金は都て無手數料にて當行本店を經て送金方取扱申候

TOYO KISEN KAISHA
ORIENTAL S. S. CO.

Tenyo Maru 22,000 tons	Siberia Maru 20,000 tons
Sinyo Maru 22,000 tons	Nippon Maru 11,000 tons
Korea Maru 20,000 tons	Persia Maru 9,000 tons

HEAD OFFICE,
TOKYO, JAPAN.
L. H. NUTTING,
General Eastern Passenger Agent,
165 Broadway, New York
TELEPHONE CORTLANDT 1730
San Francisco Branch Office
625 Market St., S. F. City.

米國航路
桑港 布哇 橫濱 神戶 上海 香港 マニラ
天洋丸 春洋丸 これや丸 西比利亞丸

南米航路
香港、上海、神戶、橫濱、布哇、桑港、ロサンゼルス、サリナクルーズ、メキケ、バルパライソ
安洋丸 一八、七〇〇
紀洋丸 一七、二〇〇
靜洋丸 一四、〇〇〇

東洋汽船株式會社

THE NEW YORK ELECTRICAL SCHOOL
39 West 17th Street
New York

紐育電氣學校は創立以來好評嘖々たるものあるは世人の熟知する處にして既に數名の日本人卒業生を出したり。日本は今や電氣事業の發達に伴ひて最も熟練せる技師を求めつゝあり、然かも本校の電氣學教授が啻に理論のみならず實地的なるは吾人の特色にして本校教授の目的は學位の名譽よりも實際的手腕家を養成するに在り。
▲教授 八ケ月卒業
▲規則書は申込次第進呈

MM
日本陶器雜貨
ドライグーヅ卸販賣
茂木桃井組
MOGI, MOMONOI & Co. 105 E. 16th St. N. Y
Tel. Styvesant 1056
Boston Branch 31 Bedford St. Boston Mass

I. Sekine Company, Inc.
New York　Tokyo
Sekine Trading Company
Osaka　Tsingtao
Paid Capital and Surplus
Y 500,000.00

株式會社 關根商會
紐育本店 114 East 16th St., New York
豚毛部 30 Irving Place, New York
一般輸出入及代理賣買業
大小に不拘御用命被下度御便宜計り可申候
日本々店 大阪市東區谷町三丁目四十九番地
東京假事務所 東京市京橋區南大工町七番地
青島支店 支那青島大黑町(商號美華公司)

MORIMURA BROS.
53-55-57 W. 23rd St.,
NEW YORK CITY
Tel. Gramercy 3850

陶器、雜器、ドライグーヅ卸賣
森村ブラザース

新刊書籍 雜誌 毎便到着致候
日用品種々到着
御早々御注文仰付られ度候
株式會社 片桐兄弟商會
紐育市東五十九丁目二百二十四番
(電話)プラザ五七九九—一八九四(夜間)九一七八

S. KUWAYAMA
110 E. 59 N Y City
Importers & Exporters

◎日用品種々到着
日本食料品雜誌雜貨直輸入
(桑)(山)(商)(店)
紐育市東五九街一一二番
電話プラザ二六七八夜間プラザ八一六九

各種靴製造修繕



一、注文靴製造
一、古靴修繕
一、ゴム其他靴附屬品販賣
御用向之節は御一報又は電話にて御申越下候はゞ直に店員を差出可申候
紐育市東三十五町目二四八番
電話ブライアント一九
西村製靴工場

プルマン上靴
▲一弗六十九仙
疊み易く履き心地よき上等革製上靴、底は軟かき綿入れ材料にて作りたるもの
上品なる革製バネ付き箱入れにてクリスマス、御年玉其他贈答品に最も適當品に御座候
男子用靴部第一階目に陳列致居候
メーシー ヘラルドスコヤー前

R. H. Macy & Co.
HERALD SQUARE　NEW YORK

チエース ナショナル銀行
紐育市ブロードウエー五十七番
資本金 一千萬弗
積立及利益金 一千四百五十九萬一千弗
預金 二億九千八百二十九萬四千弗
(一千九百十八年八月三十一日計算)
顧問役會長 バートン ヘツバアン
取締役會長 アルバート ウイツギン
頭取 ヴオー アール セーバー
副頭取 サミユル エツチ ミラー
同 カール ゼー シユミツドラツプ
同 エドフード アール チンカー
同 ヂーハード エム ボール
支配人 アルフレツド シー アンドリウス

取引
都て公私銀行、會社、商店又は個人の預金に對する取引は無論爲替券、信用狀の發行、其他證券の賣買等一切銀行業を世界各地に於て取扱種々御便宜相計り可申候

新年誓事

[illegible]

紐育の同胞の林[illegible]とする一青年、三十何年か[illegible]案[illegible]、頻り顧思顧想に[illegible]、頻りなる日[illegible]

「[illegible]歳々厭世じみた真似なんか下らない、絲瓜でもない、平[illegible]出し散歩で[illegible]」と[illegible]せば、

「[illegible]ではないが、君、吾輩新年に[illegible]、心[illegible]ざるものあるだ」と打[illegible]を開きもせんず、

「[illegible]事だらう、せめて[illegible]は彼をし[illegible]やないか」相手は[illegible]様子ない、

『つまり切りに騙せる[illegible]來り或應するの致す所じや、實に濟まん』

『オイ、、縺だぞ、何うしたんだ』

『別時は思ひ出づるに餘り、た、[illegible]はされ誓ひし彼我唯一の生命事件を如うも[illegible]來つ[illegible]とは……』

「[illegible]」

[illegible]は[illegible]に取るもの少時、

『なし[illegible]ん、[illegible]り損ねた男だ、諦めさせ[illegible]、何うぞ刺待に背く勿だ』

『[illegible]か』

『とは[illegible]此哀ふ[illegible]かなら[illegible]』

『[illegible]る、[illegible]すきやだ』

[illegible]自を[illegible]し、人[illegible]時しか[illegible]夫々なた、[illegible]も兎角下向に[illegible]かん[illegible]

『今頃怒るこな、國で祝ふて飲み[illegible]は朝茶の式が浮び出る　一家連座の[illegible]する、[illegible]この身の上を[illegible]な、年を迎へよこ念ずる老[illegible]の[illegible]する、兩身の情が[illegible]——』

[illegible]な、[illegible]人ならんやだ[illegible]は、あれは[illegible]

『[illegible]や、兩三年[illegible]や、[illegible]がないか、、[illegible]なア』

『[illegible]だ、君[illegible]年、[illegible]』

[illegible]事は[illegible]極的にやらんと納りが悪るい、[illegible]死不[illegible]を案じて領事へ寄せ來る手紙も夥しいものだ、親元だけへは本當を明かし玉へ、事實は事實だ』

友は[illegible]一[illegible]言葉を繼ぎ

『僕はだね、國への文通が頻疎當なくなつたのに氣がついてから、一四四の制を設けて、曾てこれを違へずに居る、一四四とは一季に一遍四季に四遍の謂じや、別に寫眞も送る、これは[illegible]になつて居るが一季に一遍ではないよ、一年一遍さ、何に口[illegible]のやうに早く歸つて顔を見せこ[illegible]ふから之に應ずる[illegible]として毎年寫眞の身代りをやらして見さして見るさ、君、妙だなア、近頃は珍らしくなくなつたと見はて餘り[illegible]がぞつ[illegible]せんよ、言ひ忘れた、小使錢の名義で其時次第で多少に拘らず、一四四に托してやるがな多少ともに嬉し味の[illegible]を返して來る、氣は心でな、こんな事で何事も彼我唯一の生命事件だつたな、持續されて居るよ』

青年は飜然として愁色を斂め

『善く言つてくれた、誓つた、……向上に努むる』

心機一轉矢庭に筆取る手速しと書き[illegible]つて

「ウム、好い心持だ」

「羊飼の唄」に就いて

輝ける平和は、太陽の如く人類の上に、再びその[illegible]光を投げるに至うた。血に依つて淨化された新しい世界は人類相愛の[illegible]となるであらう[illegible]して吾人はそれを熱望して止まない。平和克復後第一の新年は種々なる意味に於て、何人も忘る能はざる印象を以て迎へるであらう。本社は偉大なる平和の[illegible]家ピユーヴイス ド・シヤヴアンヌの作「羊飼の唄」を新年號[illegible]に掲げて滿腔の祝意を表[illegible]し、以つて此の意ある新春の歡喜を讀者と共に、分ち得るの光榮を擔よ。畫中三人の乙女が、羊飼の角笛から流れて來る朗々の樂に、劉曉のリヅム[illegible]現實の悅樂を味識して平和に[illegible]くるが如く、吾人は[illegible]が齊らする[illegible]の[illegible]光を[illegible]て[illegible]のそれ[illegible]和と[illegible]とを[illegible]に活[illegible]をもつて紐[illegible]



吉田士雅堂氏令孃　輝子（三歳）

羊の年に詠んだ

都々逸

頓陰漢投

羊の毛糸で編んだるスエター　主の肩身に纏り年

羊に似寄つた氣性に惚れて　筆にも書けない深い仲

神の供物を[illegible]に聞いて　選びに羊への初料理

常から優しい氣性のあなた　暦で知れたる羊年

年始歸りの遅さを案じ　やけに焦がしたラムチヨツプ

昨年は雜貨屋の厄年千三ツ屋大繁昌彼是屋大豊年テナ事を大商店の親玉が不堪口にして居たがどうでしよう、年末の決算をして見ると昨年より五割の増収おまけに夏場屋さん小賣屋さん迄が十年來の出來とは夢の様な本統の話反對に千三ツ屋と彼是とは休戰以來頭痛大鉢巻とは世の中は不思議なものさて本年は雜貨屋玩具屋初め殆んど解禁一方は鉄其の他日本で大瓦落成金が一夜に大負債主たるものたりサ（雜貨小僧）▲百何丁目かの聖教會館の幹事さんが近頃御信心の某令孃には熱心で頻りに手紙をやるといふ噺だが其手紙が拜見したいマサカ誘拐狀や附け文では御座りますまいね（そうめん信者）▲酌婦のひき初めは結構だが跛足のひき初め、風邪のひきぞめ金棒のひきぞめなんざ御免蒙り度い（書きぞめ生）▲雜屋さんに御年玉を遣らうと思つたが工合の好いのが目に付かない來年に預ります（好意生）



謹賀新年

客年中は多大の御眷顧を蒙り御蔭を以て業務繁榮に赴き社運隆盛を來し候段偏へに御禮申上候、何卒本年も倍舊の御贔負相願ひ度く且つは末成の縁に因み紐育新報への御用命待上候　敬白。

紐育新報社營業部

山科氏留別會

▽ホテルアスターに於て

實業特使山科禮藏氏の一行は客臘二十八日午前八時華府より歸紐　來月四日出帆のカーマニア號にて渡英の豫定なるが二十九日午後七時在紐實業家の重立ちたる人々約三十名をアスターに招待し盛大なる留別會を開きたり

各教會の聖誕祭

聯合會にては去月廿四日午後八時聖誕祭を擧行したるが來會者百五十余名、豫定のプログラムに依り進行午後十一時散會せる由▲第一美以教會にては廿五日に擧行清和會委員會の主催に依り盛大に閉會▲紐育日本人教會にては廿六日午後七時四十五分開會、出席者約三百名に達し重田教會の挨拶に始まり廣瀬牧師の祈禱、片山氏の聖書朗讀高見ドクトルの慶賀及水牧師の說教等ありて第一式を終り第二式には高見令息、令孃、西口令孃令息等の合唱あり又各めくゝ合に興を催し散會せるは午後十一時なりき

牧野男等着紐

▽二日歡迎會を催さん

帝國平和會議全權牧野伸顯男の一行は歐洲の途、廿六日桑港に着し翌日出發別列車にて卅一日當地に到着各々分宿したるが一行の爲め當地邦人有志は二日夜ウォルドロフ、アストリヤに歡迎會を催すべく目下準備中

●伊藤良吉氏歸朝　森村新井商事會社の同氏は客臘廿七日出發天洋丸便にて歸朝の途に就きたり

●鈴木道三氏歸紐　鈴木横井組重役荒木新太郎氏は太西洋市より、太洋貿易商會重役專務三郎氏は市長より各々昨日歸紐せり

●名雪氏の新年會　一方亭、都其處二三の料亭にては元旦顧客を招待して盛大なる新年宴會を催す由

●柴木の母堂　タドの母堂…氏夫人に本月十二日男子出生末彦と命名したるが母子共に至極健全

●松原領事氏着紐　報知新聞社員松原木公松郎氏は目下歐洲に…を了して歸米し紐育日下…年會に動く由

アスターに投宿中なり

●西尾虎藏氏高峰興業へ　森村ブラザースに勤務せる西尾虎藏氏は今回高峰興業株式會社に入せり

●林鐵次氏出紐　太西洋市林商店主の同氏は舊臘廿七日商用を帶びて出紐昨日歸市

●宮川經孫氏移轉擴張　宮川經孫氏經營のイーグル職業仲介所は今回西四十二丁目一〇一番に移轉し業務を擴張して各種職業仲介事務を執る由

ボストン通信

●教育家團來市　守屋東京市教育課長及び七名の市小學校長諸氏は去る廿三日來市、特に紐育より同道せる大瀬甚太郎氏の斡旋に依り州市教育課と打合せ重なる小中學校及び大學特殊學校、美術館等を觀察更に市教育監督トムソン氏と會して教育行政、校舍建築管理並に活動寫眞の教育的影響等に至るまで詳細に研究し、廿七日は市倶樂部の歡迎會及び在留同胞主催の晩餐會に列席廿八日午後當地出發バフワロー方面に向へり

●バッカード博士の招待會　去る廿五日はクリスマス當日なるを以てバッカード博士は在留中の教育家團を招待し引續き博士と親交ある日米人廿余名を自邸に招待して茶菓の饗應をなせりと

●高木少佐等歸米　渡歐觀戰を命せられたる陸軍少佐高木尙右氏及同中尉福田要一郎氏は休戰と同時に此程歸市テクノロジーに於て更に研究を續け目下渡歐中の森島二等軍醫は廿八日歸米すべしと

新年忘年會一策▲在紐同胞一同は例年の如く新年早々田中富士館に於て新年會を開き大に相互の親睦を計り兼ねて日本人會組織を開催せんとし目下中中氏石川氏等共に協議中の由▲亞館日本人一同は一月三日新年年會を田中方に▲福田中方有志諸君は廿八日忘年會を催す由▲石橋春水氏夫妻は本年の如く二十一日より自宅に於て忘年會又新年會をなし任市…を招待し盛宴を張り歡待…を催す由▲シャーロード孃は…五日コモンウヰールス街の自宅に日本人學生及び知友を招待し新年會を開く由

移轉廣告

…多大の御引立を蒙り候段…業務追々繁忙に…從來の場所にては何分にも手狹に相成候に付今回西四十二丁目百〇一（第六街の角）に移轉仕り…萬般の設備…皆々樣の御厚情に背かざる樣一層相勉め可申候、仲介周旋の業は確實迅速を旨とし叮嚀に取扱可申候間何卒倍舊の御眷顧を願上候右移轉の御挨拶旁此段及廣告候也

千九百十九年一月

紐育市西四十二丁目一〇一

イーグル事務所

職業仲介業　宮川經孫

FACIFIC EMPLOYMENT BUREAU
Room 407-409　101 W. 42nd St
Tel Bryant ....　Cor. 6th Ave

人は新奇を好む

米國人は新らしき事を好む國民たる事を前提として何か面白きゲームをと思案の末第一ゲームは面白く、スキルを要すと同時にイエキサイトを起し男女や子供も樂に遊べてインテレストを與へ早いゲームたるべき事等研究の結果オリムピックボールゲームを發明し米政府の專賣特許を得一昨年よりコニーアイランドに於て使用したるに豫想外の好結果を齎らし殊に昨年は前年以上の大利益を得し故今後有望確實なる事を保證す

將來有望なる事はトーイ又はクラブ使用の目的で盛に賣り出しつゝ有り右使用希望の方は左記迄照會あれ

Olympic Ball Game Co.

代理　照屋善四郎　濱口顯之

2?? 10th Ave. N. Y. City
New 28th St

サムシング　ニユウ　レツト　アス　ツライ　イツト

學士會

紐育學士會々長高峰博士主催の下に新年宴會を兼ね紐育學士會開催候に付在紐同窓諸君は繕つて御來會相成度し

一、時日　大正八年一月十日（金曜日）
一、場所　紐育アスレチック倶樂部
西五十九丁目五十八番

一、會費四弗當日御持參の事

追て別に案内狀差出さず候に付御來會被下諸君は一月五日迄に左記幹事迄御一報願上候（服裝隨意）

幹事　今井文平
武藤貞雄

C/O Okura & Co. …
C/O The Bank Of Taiwan …

廣告

今般當部に於て各種雇人及び被雇人雙方の便宜を計らむが爲め無報酬にて仲介周旋事務を取扱可申候間遠慮無く御申出の程希望致候

紐育日本人會
職業紹介部

電、…
東卅四丁目…

NATIONAL TAX SERVICE BUREAU, INC.

ACCOUNTING TAX SPECIALISTS.
20 Broad St, New York.　Tel, Rector-7759

公認會計檢査人
商學士　エベルガタハイマー
商學士　ジョセフ　グエッ
仝
哲學士　辯護士　金子銀次郎
文學士
法學士　アーサー　ギヴン

社員

合衆國、州及市に納入すべき所得税に附加税額の決定を爲すに必要なる收支計算書並に所得額證明書作製其他税務に關する事務を取扱ふ

貸室

最近式高層にて清酒に装備せし貸室（湯殿付きもあり）を格安に日本紳士に貸し度し委細は左に御照會あれ

…W 104th St. City
…Riverside Drive

紐育產業商會

◇蒲鉾　◇蒟蒻
◇豆腐　◇油揚

精撰白米大勉強仕候

多少に拘はらず御用命被下度候

コロンバス街九百五十三番
（百六丁目と百七丁目の間）

【電話】アカデミー　四一三九

和洋建築設計

妻沼建築事務所

日本に出來る西洋式住宅、アパートメント、銀行、デパートメントストア、貸事務所、ホテル等の設計は特に歡迎す

Iwahiko Tsumanuma
Registered Architect
365 Fifth Ave., N.Y.
Phone Greeley 5251

基督教修道會

禮拜說敎　日曜日　午後六時
祈禱會　木曜日　午後八時

牧師　松永文雄

102 W. 123rd St., N.Y. City
Telephone Morningside 8193

英語教授

…文學、商用及び社交上の習慣等を以て…日本人淑女紳士諸君大學に教鞭を執れる紐育有報社記者並日本人紳士諸君の推薦を…

英語教授

毎日午前…時より午後九時まで…作文、會話…

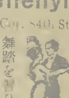
舞踏教授

社交の要訣、
高尙の娛樂、
日本人諸君を歡迎
初心者に對しては
丁寧親切に教授す

Lovell's Dancing School
637 Madison Ave., Cor. 59th St.

Prof. Remenyi

17 E. 54th St., Cor. 54th St.



日本舞踏學校
授業開始

舞踏を習ひたい御方は丁度新らしい組が出來ましたから早速御出でなさい。
毎日午前十時より午後十一時迄開講、隨時にプライヴェート教授を爲し授業料は頗る安値なり。

PHELPS & PERRY
3 Maiden Lane
New York City.

最新意匠 寶石類

寶石類卸商中心地
メイデンレーン三番
フヰリプス、ペリー商會

金剛石並に金銀鍛冶細工
美麗なる金剛石、眞珠、紅玉、碧玉、綠玉其他寶石類一切廉價にてお求に應じ可申候米國製最上時計保險附にて時計寶石類の修繕可仕候

HENRY A. KESSEL CO.
35 Pearl Street,　New York
Telephone　Broad 3375
Night　Riverside 6340

船具商

船具、機械、艦船食料品コロノメーター、セキスタンド、羅針盤、双眼鏡海圖、一般航海用具、飲鑵水供給、修繕、鑵掃除及其他

遠藤、小刀（コダチ）

11 Broadway, City
Tel. Bowling Green 8718

Restaurant Operating Company

日本人紳士諸君の御光來を奉希上候

CARLTON RESTAURANT
118 West 72nd Street
Tel. Columbus 8545

ROYALTON RESTAURANT
42 West 72nd Street
Tel. Columbus 7941

LAKESIDE HOTEL REST.
1 West 71st Street
Tel. Columbus 1730

ST. JAMES HOTEL REST.
109 West 45th Street
Tel. Bryant 3247

村上藤三郎
兒島雷助

◎化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダーフエースパウダー、サシエパウダー、パゴダインセンスは客引の商品なり
ノールオーダは迅速叮嚀に取扱申可仕候カタローグは御申越次第御送可仕候

五味商會

Telephone Stuyvesant 4745
3 E. 17th St. N. Y. City

尋人

鈴木…作（北海道）福原岩太郎（廣島）大久保儀三郎（兵庫）森…重太郎　梅田常吉（石川）速水正三吉（廣島）清水幸…郎（…）…水千男（大阪）ケー、ワタナベ　…月加元治（長崎）藤…勘藏（…岡）田畑彌太郎（靜岡）寺島恕大嶋協　岡…清造（鹿島）石神…之助（岐阜）…（熊本）藤村仙一　高橋一郎（岩手）渡邊儀造（岡山）小林…松（廣嶋）藤井菊松（岡山）伊藤寅雄（愛知）宗次…（高知）小笠政衞　角…太郎　木村準三　渡邊…　角…郎（以上鳥取縣）徵兵の件

右の者に通知致度義有之候間本人若くは知人より其現住所申出られたし

紐育帝國總領事館

取調の要あり

即席御料理

うばうどん

入船亭

紐育モット街（支那町）二三

綿森良藏

謹告

…生所有の「東京」支那料理店西洋料理店今回小西吉…共同經營…住候也

日名子…

The Tokio Restaurant
115 Chatham St.
Newport, R.I.

輸出入營業

電氣蒸氣瓦斯水力諸機械及器具一切新舊自動車及び化學工業材料品

米國紐育市

本郷商會

主任　電氣技師　本郷湊吉

M. Hongo Company
Tel. Beekman 4269
154 Nassau St., N. Y. City

船具一切

船具材料附屬品一切並に食料品
一般輸出入業
日本船舶には特別御便宜相圖り可申候

日本船舶部主任　櫻井弘

紐育市ブロード街八七番
電話　ブロード三四〇七

Tel 4926 Plaza
465 East 57th St
N. Y. C.

在留青年理想の團体

日本人青年會

東五十七街四六二番

共和樓

支那料理茶房

晝食は午前十一時より午後三時迄卅五仙

高等料理　迅速調理
清潔美味

▲日本人紳士諸君を歡迎▼

… Broadway, Near 43rd Street
Phone Bryant …

◉海員御下宿

中島實

紐育市ヘンリー街二十二番
電話オーチャード…

◉貸間あり

日本紳士諸君の…に適せる清潔なる貸間あり（一週二弗より七弗迄）

ミセス…

… Lexington Ave.
… 26th Street

帝國ホテル

IMPERIAL HOTEL
… PINE ST.
San Francisco, Cal.

桑港パイン街五五…
日本料理…

▲アピセロ▼

にて御座い
▲オイスター
▲貝
其他いろ〳〵魚類が色々とあります御用を仰付けられたし

魚

82 Bayard Street
New York City
Tel. Franklin …

◉市廳茶園

弊園儀永年日本紳士の御贔負を被りモット街十四番に於て支那料理營業致居候處今回大に擴張を期し便利且つ清潔なる左記の處に移轉仕候間商館事務所等へ御出勤の方には至極御便利に候へ夜間會席の御用に應ずべく…御引立の程希上度午略…以紙面御案內申上候

舊萬花樓主人　謹白

CITY HALL TEA GARDEN
170 Nassau St., City
Next to the Tribune Bldg.

Baem Nam Low
474-6th Ave.
Bet. 28-29 St.

美味にして清潔

支那御料理　品南樓

午前十時より午前六時まで開店

御旅館

岩田旅館

…

日本人經營の最新式六層建

エヌ、ヒー、ホテル

位置は…客室は清潔…
…
シヤトル市…
電話メー…二九五二

藤井旅館支店

當シヤトル市御滯留の御方の便宜に…御投宿可申上候
…
FUJII …

體育に…を…養せんとする青年は…

日本…

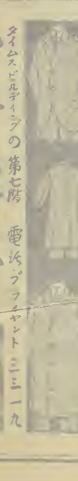
西…八丁目…
電話アカデミー…九

ふじ旅館並に御料理

當館は市内第一流の場所にて美術館に近く行通至極便利の場所…料理は注意と精錬を…
…又はコロンバス街…マサチユセッツ街から二丁目です

ボストン市　田中…

…Worcester St. Boston Mass
Telephone Back Bay …

笠井洋服店

タイムスビルディングの第七階　電話ブライヤント二三一九



K. MARUYAMA
71 W. 46th St. N. Y. City
Tel. Vanderbilt 2846

秋冬の服地…材料…
…服…
…を以て御用…
…

丸山洋服店

The Japanese Times

紐育新報

世界政局の變化

排日的決議提出に議場騷然

▽日本の低劣的貪欲心を恐怖すと云ふ

國際同盟問題

駐米英國大使

露國出兵反對

伊太利に赴く

新政府の樹立

波蘭兵伯林へ

英兵伯林撤退

極東通巴里着

敵潜艇分配說

米軍用船坐礁

戰後の國際金融

一、佛國

三、米國

紐育新報

羊と平和

[illegible]



[illegible]

戦争

▽深遠の損害は九千六百億弗

新聞の新聞

最近日本の…



一代の光榮を擔ひて

[illegible]

謹告

木谷治三

學士會

廣告

移轉廣告

英語教授

英語教授

舞踏教授

社交の要缺、
高尙の娛樂、
日本人諸君を歡迎
初心者に對しては
丁寧親切に教授す

Lowe's Dancing School

Prof. Remenyi

The Japanese Times

紐育新報

西比利亜撤兵

巨人ローズヴェルト氏逝く



日本は西比利亜撤兵を斷行

新政府を樹立

前藏相渡佛か

前獨首相逝去

波蘭革命突發

外相泣言を吐く

前獨帝の手術

リガの市街戰

日支協議否認

英國軍隊不穩

英國の造船力

大統領歸來期

講和談判開催

露獨開戰せん

過激一派檢舉

歐洲食料供給

大統領の辭

獨逸革命突發

戦後の國際金融

【二】財政上の改造計畫

[illegible]



[illegible]

日本の平和使節を送る

[illegible]

こちらは？行く人々に来る人

日本汽船の…本日出帆

各所の新年宴

歓迎送別を兼ねて

本谷安井両氏送別

謹告

日本行郵便締切期

英語教授

英語教授

移轉廣告

廣告

The Japanese Times

紐育新報

露獨の革命

政治と國民の合致

西比利亞の門戸開放を主張

獨逸第二革命

露國首相投獄

國際同盟討議

珍田大使出席

米軍出兵總數

共和黨委員會

過激派の虐殺

同盟罷業突發

文部時政調査

輸出合同多々

◆米國船舶は太平洋に活躍◆

戰後の國際金融

【三】國際金融の變化

新聞の新聞

實府通信

平和會議に行く邦人を乗せて

[illegible]



前大統領夫人への弔電

▽紐育日本人會長 矢田長之助氏より發電

ルーズヴェルト夫人閣

十九百十九年一月七日

日本人會長 矢田長之助

信用組合役員總會

ヴァージニア號解纜

本日紐育出發者

出入國旅行券の取扱

日本人倶樂部發會

謹告

ヴァージニア號船上にて

水谷等三

文化會議

The Japanese Times

紐育新報

國際銀行提案

珍田松井南大使協議に列席

對露問題に佛國の態度强硬

露國撤兵要求

國際聯盟提案

南米と過激派

同盟罷工終結

米國新禁酒州

食料供給豫算

叛徒死刑宣告

獨逸商船使用

小兒の嗜好

戰後の國際金融

【二】國際金融關係の變化



◆紐育の天狗連の氣焔

競技に熱する天狗連の氣焔



日本人○○○○

紐育新報

集つた學士運六十五名

▽十日に開催された紐育學士會△

山田氏管絃樂

謹告

好機不可逸

The Japanese Times

紐育新報

全米禁酒強制

籌和會議委員出席數の制度

▽英佛米伊及日本は各々五名宛と決定し▽支那濠蘭白耳義其他は二名出席と發表

伊國内閣改造

公開外交の聲

鐵道管理問題

朝鮮の獨立を夢み請願提出

全米禁酒確實

獨逸憲法起草

米國常備軍案

戰勝自由公債

レニン亡命か

百廿億弗要求

反軍首領銃殺

支那學生檢擧

最新故國電報

思ひ出て

去の都鄙を偲びて

上官顔と幽霊語巻の体

愛罪に関する



写真師入用

菊地写真館

ルーム貸

本国正已

紐育新報

支那人の奇聞と育方魂

ワシントン会議を機に

[illegible]

謹告

廣告

紐育日本人會

好機不可逸

新開業

◆新聞雜誌專門

◆仕上町寧 價格低廉

矢野政春

御菓子 御しるこ 御雜煮

御祝儀其の他の菓子は御好に應じ

水月堂

コロンバス七〇九九

紐育市七十一丁目西一六

人は新奇を好む

英語教授

英語教授

印刷

飜譯

各種靴製造修繕

紐育新報社營業部

基督教修道會

The Japanese Times

紐育新報

人種問題提出

講和會議に人種問題を提出

▽内田外相

牧野伸顯男平和會議に出席

社會黨の勝利

大統領を招待

平和會議議會

日本代表否認

日本軍備擴張

過激派軍勝つ

前大統領追悼

英皇室の不幸

戰後の米國對支政策

最新電報

猶太過激派と第二次革命

▽兵隊さんが持て出した猶太人▽

新聞の新聞

（ヤマトン）通信

貸室

翻譯者を求む



カアル・エローザの死



自働車講習

胡散な服屋

大詐欺發見

日米殖興會社の

寫眞師入用

菊地寫眞館

ルーム貸

本田重己

御下宿　青年館

震災中上京記

在米大使館一行歸國

武術會並に午後會

日本人倶樂部總會

米人招待の演奏會

紐育人事の消息

在米日本人會の總會

●安田勝太郎氏

●茂木惣兵衛氏

●三菱女史渡米

The Japanese Times

紐育新報

勞働階級覺醒

帝國の外交方針議會に發表

新海軍省の設立で見たか

支那政府態度

露國内亂調訂

王朝復活せん

討議事項確定

議部退去命令

戰爭損害分擔

多數婦人の當選

戰後の米國財政處分案

調訂反對士張

敵國財產差押

小歐列強

得意の胡蝶を演唱

朝鮮人の遺言

紐育の新聞



空中の酒場



三浦環女史

レキシントン座

一月廿九日

日本人會教育部

The Japanese Times

紐育新報

原首相議會に内外問題説明

過激派の攻勢

大統領自國行

獨領問題出づ

米兵暴行調査

佛社會黨大會

國民思想界の日本

望月代議士の外交方針質問

三黨領袖演説

國際同盟着手

戰後の米國財政政策

▽…の…

【五】

【六】

山田氏の藝術【二】

はしばんど

【一】

【二】

【三】

◆一疋一葉◆

一人の友へ

田財務官招宴

□長谷川氏の出帆

□日本人會行事

◆奥様ラソンの百弗◆



三浦環女史

レキシントン座

一月廿九日

The Japanese Times

紐育新報

會館利用策

平和會議と米國

▽獨逸植民地の處分案

米國反對主張

英國と過激派

鐵道管理質問

關税處分策

支那極力反對

調訂拒絶せん

輿論反對傾向

米國反對理由

英國態度一變

青島還附聲來

使節と大隈侯

海軍擴張主張

國民思想轉換期の日本

戰後の米國財政經分案

▽紐育…

【一】

【二】

山田氏の藝術【下】

ばゞばんど

【五】

◆一味一笑◆

【六】

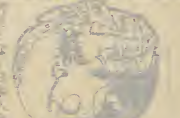
三浦女史演唱

演藝會

時日　二月八日土曜日夜
場所　西百八丁目二百五十七番　日本運動倶樂部樓上
入場料　一人に付一弗
入場券は各寄宿にて御求めをこふ
▲プログラム

將來の新發明

アイダの話



高木氏逝去す

高木氏自殺說

◇平民主義の根據

□日本人會

高木舜二儀

高木舜二儀……本日午前……逝去致候……葬儀……五十三丁目……セントトーマス教會に於て葬儀相營可申候

大正八年二月一日

嗣子　高木貞一

親戚　三井　有賀

友人總代　瀨古孝之助

上等貸間

好機不可逸

店員入用

紐育日本人會

日本菓子舗

水月堂

店員募集

基督教修道會

英語教授

英語教授

各種靴製造修繕

▽印刷

▽翻譯

▽通譯

第六街……

電話……

紐育新報社營業部

大日本帝國領事館

中村實

舞踏教授

社交の要訣

舞踏の練習

日本人諸君を歡迎



Lovell's Dancing School

PHELPS & PERRY

3 Maiden Lane

New York



最新意匠　寶石類

船具商

遠藤小刀

日本人紳士洋服裁縫

Restaurant Operating Company

見付榮二郎

化粧品卸賣

五味商會

寺田旅館

牛田宇一郎

即席御料理

入船亭

尋ね人

篠山入營案

本郷商會

日本人青年會

船具一切

共和樓

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

御旅館

岩田旅館

ふじ旅館

ボストン市

貸間あり

藤井旅館支店

日本人經營の最新式六層建

エヌ、ビー、ホテル

魚

▲アピセロ▼

▲オイスター

日之出樓

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園



MARUYAMA

丸山洋服店



笠井洋服店

The Japanese Times

紐育新報

植民地處分案

共和黨反對す

内外時事問題

英國輸送發布

交迎條約停止

國際聯盟着手

新政府の態度

五大列强干渉

戰爭責任調査

東部砲擊開始

同胞兵士歸化權獲得

聯合軍退却す

醫師同盟罷工

米軍戰死總數

前獨帝の末路

ロ末亡人渡歐

◇…(一)…◇

最近一個月の白人的論戰【上】

[illegible]

◇國際同盟と英◇

[illegible]

◇議會の一般◇

[illegible]

◇排日問題◇

[illegible]

兒童倶樂部【上】

[illegible]



[illegible]

高木氏の業績



邦人二名慘死

日本婦人入用

口二種類の人の話

口両国の時代に就て

伊　賀　潤　三



両　国　女　史

レキシントン座

十一月八日

好機不可逸

▽印刷

▽翻訳

▽通譯

Avenue

高木弁三様

大正八年十一月一日

店員入用

各種印刷受注

日本素子館

紐育日本人會

水戸堂

店員募集

基督教伝道會

英語教授

英語教授

海員御下宿　中島實

舞踏教授

Lucas' Dancing School



PHELPS & PERRY

A Maiden Lane

New York City



最新流行
寶石

船具商　遠藤小刀

Restaurant Operating Company

日本人紐育の

化粧品卸賣

五味商會

寺司旅館

宇田宇一郎

即席御料理

ちはうさん

入船亭

■詩人■

海山入営業

日本人青年會

船具一切

櫻井弘

共和機



笠井洋服店





S. MARUYAMA

丸山洋服店

CITY HALL TEA GARDEN

170 Nassau St., City

市廳茶園

南菜館

魚

アビセロ

日本人經營の最新式六層樓

エスピーホテル

◎質問あり

ボストン市

櫻井旅館支店

よし旅館

御料理

御旅館

岩田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

The Japanese Times

紐育新報

軍備擴張時代

分業的實業と國防

白耳義皇帝勳章を贈與さる

運賃値下斷行

婦人參政投票

社會主義大會

過激派と米國

獨逸議會開く

休戰條約再訂

軍備縮少討議

過激派の回答

大統領再渡歐

備は滿足せず

同盟消滅せず

增稅原案討議

同盟罷工相つぐ

◇正則會英語研究◇

巴里に於ける日本及米國［上］

「一」

兒童倶樂部［下］

秋岡大作

帝國主義者の同盟也

狸が山の記



紐育新報

デクボ一國の能率論

十八日の紙上に掲ぐ

ク氏の自署に依るる

今日まで日本

◻日本の體育の研究

◻日本の研究會の開催



二月八日

レキシントン座

三浦環女史

求職

有する者、紐育在留日本人の最も信用ある會社、官廳等を求め度く

店員入用

紐育日本人會

日本菓子類

水月堂

基督教徒追悼會

謹告

故人鎌田武七氏夫人菊壽本月十七日水曜日午後八時より東西...

二月八日

發起人 西本俊行 若井佐太郎
中村勘三 多田信助
井口眞一郎

英語教授

英語教授

人は新奇を好む

各種靴製造修繕

一、注文靴製造
一、古靴修繕
一、ゴム其他附屬品販賣
一、各種其他の賣買周旋

紐育市東五十五町目二四八番
電話 プラザ六二一九
西村靴工場

印刷

▽飜譯

▽通譯

紐育新報社營業部

好機不可逸

Restaurant Operating Company

日本人紳士諸君の御注文を奉命上候

巴 村上 商 會 店

⦾化粧品御賣

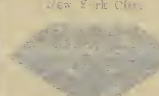
五味商會

船具商

遠藤、小刀

船具、機械、船舶食料品
ロノメーター、セキスタント、羅針儀、双眼鏡、一般船舶用具、飲料水供給、修繕、淡罐屋

PHELPS & PERRY
New York City.



最新意匠
寶石類

舞踏を習へ



午後十一時に至り日本人諸君へ親切に教授す

舞踏教授

社交の要具、
高尚の娯樂、
日本人諸君を歡迎
初心者に對しては
丁寧懇切に教授す

Lowell Dancing School

⦾海員御下宿

中島 實

共和樓

船具一切

櫻井 豊

日本青年會

輸出入營業

紐育 帝國貿易商會

尋人

うはうさん

入船亭

即席御料理

牛田宇一郎

寺田旅館

笠井洋服店



K. MARUYAMA

丸山洋服店

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園

昇南樓

魚

アビセロ

日本人經營の最新式六層建

エス、ビー、ホテル

貸間あり

藤井旅館支店

ボストン市

よし旅館

御料理

御旅館

岩田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

紐育新報

同盟罷工運動

牧野伸顯男に抗議書頻々矣

本社巴里特電

日本激怒對支强硬要求提出

▽止むを得ずんば宣戰を布告せんと傳ふ

日本戰はんか

牧野男に訓電

支那要求拒絶

秘密條約發表

◇社會的帝國主義の◇

牧野副使は不眠症で煩悩

◇歐州戰爭と日本◇

巴里に於ける日本及米國

◇列强の外交を駁す◇

純個力の自然的論戰

〔中〕

星短信

近藤康平男の招待



……十八日の午後二時三十分及十八日の午後の三回と決……

□近藤康平男の招待

□日本演劇を紹介す

□西洋人女流音楽家招

□邦人の映画に就て

株券販賣人入用

The Japanese Times

紐育新報

巴里平和會議と日支の關係

▽新聞紙の報道に誇大の嫌

講和委員新聞記者團と會見

兩大使の否認

幣原次官答ふ

鐵道管理解決

巴里に於ける日本及米國（二）

米國労働士訪問記（二）

▽山科豊 特別寄稿

□合衆國郵便貯金の注意

日 本 / 利 息 / 預 金 者 / 引 出 方 / 資 金 預 金

巴里短信

新聞の新聞



ふ の / 利 己 / 日本人の國語 / 帰國者の心得

□日本新聞人心

□本年度國家の教育

□安達謙藏氏の來紐

□三井三氏の來紐

□二月十八日の舉行

●高橋是清氏

●今回の日本人會

The Japanese Times

紐育新報

米國の煩悶（一）

牧野伸顯男移民問題を提出

▽日本の提議を實現せん

山縣有朋公薨去せりとの報

▽沖行通信で出張した報

海底電信故障

▽日米間一時不通

休戰條約强制

獨墺合併せん

非買同盟手段

國際聯盟憲法

大統領の聲明

米軍撤兵聲明

秘密條約發表

極東と過激派

一筆啓上

國際勞働法……式の盛況

▽……

最新故國電報

新報詩壇

チェッコ斯の能樂子見記

巴里の娘達

新聞の新聞



□鶴井氏視察

▽近況報告十則

□副領事武富敏彦

□來る「民俗研究會」

□日本旅行家の新機會

□在米日本人の職業

□日米両国の文化的

●日本人●●事務所

●東京●●●●●

The Japanese Times

紐育新報

本社東京特電

山縣公の病氣輕快に赴く

二十一日午後十時十分發　[illegible]山縣公薨去の[illegible]小田原別邸に靜養中なる山縣[illegible]熱も[illegible]らず其後漸次快方に赴きつゝあり

人種的差別撤廢大會開催

[illegible]日本の南洋獨[illegible]要求大敗に終りし爲め興論の激昂[illegible]ある矢嶋、山口其他の有志者は國民大[illegible]の決議を通過したり

普通選擧運動と勞動大會

[illegible]普通選擧示威大行列ありしに刺戟され神戸市民は來る[illegible]日大擧して大示威運動を試むべく準備中なるが[illegible]日岡崎公園に勞働大會を開催し[illegible]勞働者の覺醒を促せり

河野廣中氏銅像建設計畫

[illegible]河野廣中氏の銅像を建設すべく[illegible]計畫中なり

朝鮮人九名東京にて檢擧

支那政府獨逸人追放開始

北海小樽商業會議所全燒

陸軍大將福島安正男薨去

[illegible]男は嘉永五年[illegible]に生れ[illegible]明治十年[illegible]獨逸公使館在勤[illegible]北清事變及び日露[illegible]大正三年九月[illegible]享年[illegible]夫人[illegible]一女あり

共和黨紛擾

英首相負傷

賠償金要求

▽ウオルソン氏に交渉中

國際的愛國の聯盟

米國歸化權の獲得

日本に對する要求

◆太平洋海運の死活問題◆

▽米國政府と船員法の公布

◇獨逸休戰條約に抗議

◇聯合軍要求に應ぜず

◇ボーラ氏強硬に反對

◇社會主義者の宣告

◇ウイルソン氏の歸國

◇反過激派の[illegible]

◇赤旗掲揚禁止

紐　育　新　報

米國の疑問（二）

社會改造時代（六）

新入荷好評

巴里に向つた陸牟尋の一行 〔一〕

法律御要心

資本家と勞働者の問題

▽種族と相剋した日米…

…日本を出立すべく…米國の…勞働組合も…米國人は自ら…者たるが…

…其の自己の衛生上可る…を以て資本家に對抗するの必要を…するものなり

▼大たる力は個々小なる部分に繋…なしとせず此の點は米國の…を要する…なるが…に…米人中一人として勞働組合設立に反對の意見を有する者はなし、日本に就てこれを…勞働組合論も…選擧…野擧つてこれを絶叫しつゝある譯に非らず其の…べき道をみつゝある…にて勞働者も組合を設け…と資本家の間に懸隔を…志なく主従の關に…少の…情…の疎通あり資本家の…て勞働者の…に…する有様にてこの點…米と全然國情を異にすれど…何等かの形に於て日本は日本の…に順應せる勞働團體の設立を見…云々

□新着…紐

日本…たるが今月十八日…の由

●…株式會社…

…

▲…會　午後八時　松永牧師
題「…」
▲紐育教會　午後八時　清水牧師
故太田二郎氏追悼會
▲…　午後八時　加…牧師
題「人生の…」

The Japanese Times

紐育新報

巴里講和會議と日本の地位【上】

永 谷 松 三

[illegible]

支那青島要求の理由なし

本社東京特電

[illegible]

大隈侯人種問題解決絶叫

[illegible]

大山巌元帥未亡人逝去す

[illegible]

米國外交の危機漸く迫る

[illegible]

武器を要求

[illegible]

大統領歸米

[illegible]

民族の自決

[illegible]

上院信任案

[illegible]

平和締結期

[illegible]

暗殺の陰謀

[illegible]

太平洋海運の死活問題

▽米國政府と評議中の公定

山内重馬氏談

[illegible]

凡ての公債買入

[illegible]

巴里へ向つた講和特使の一行(二)



社會改造時代(下)

新入荷好評

煎餅燒型讓受度し

白耳義の野に戦ふ

（故國を後に非常の際に立つた日本人の體驗である）



□三月末解散

□日米商會の問題

□在紐日本人協會の變更

□記念寫眞會の盛況

□三歳法大學の創設

□紐育日本人勞働職業







西園寺公望侯一行の到着

▽日本の國際聯盟...

將校二名下士廿名戰死す

レニン要求

獨内閣決議

英首相勝利

宣戰の決意

憲法修正案

巴里講和會議と日本の地位（下）

水 三

國際聯盟と移民制限關係

[illegible]

米國の疑問 (二)

國際聯盟と其影響

[illegible]

紐育に於ける日本人は

[illegible]



[illegible]



▼紐育日本人會 [illegible]

▼パートナーを求む

[illegible]

◎收入の部

[illegible]

□五一新……

□飛行家外山氏歸國

□井上氏二氏の消息

□日本人の…大會

●本社二月……

●三井物產……

●日本郵船……

●酒井……

The Japanese Times

紐育新報

國際政局の危機

英米協商と其影響

西園寺侯巴里に於て語る

▽人種問題解決及國際聯盟

本社巴里特電

ランシング石井協約發表

▽米國日支協約に干渉の意味なし

日本の國際聯盟參加疑問

▽原首相同じく聯盟案法に改正を要す

日本移民入國許可を勧む

▽倫敦タイムス社説

日本移民輸入を恐る勿れ

▽タフト前大統領輸入禁止不可能を力説

支那南北講和會議不成立

原首相外交委員會に聲明

▽日本の對支政策に就て

◇上院の日系論議◇

國際聯盟と日本移民問題

▽移民問題は國内問題なり



戰爭劇を觀て

紐育 文壇

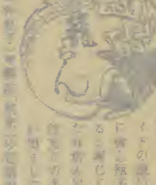
[illegible]



[illegible]

戰禍に苦しむ南支を訪ふ（続）

▽十年の文化を一朝の灰燼と化す



▼イースーナ

御披露

卑屈を打破して大統領に

我使節の盡力を乞ふべし

▽大使の同情ある斡旋に依り

■上村領事上海へ

■長沢陸軍大佐

■勝山商會支配人

■三井物産會社員

■住友銀行員

The Japanese Times

紐育新報

伍世方参戦事情を説明す

管理財政難

米國の警告

伯林の革命

戦費不足す

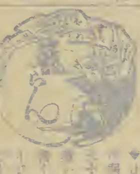
飛行委員會

第六十五議會回顧錄

[illegible]

（八）非常に高い巴里の物價

革命と女權



経済上の日本は益々重要

▽日米人會に於ける某氏の演説より

□米國の日本人

□南部の同胞

□同胞の教育

□國際的の勢力

□同胞の婦人

The Japanese Times

紐育新報

所謂民族自決

三月一日朝鮮獨立を宣言

國際聯盟と移民問題分離

▽タフト氏の改正案

談判開催期

英首相聲明

米製艦方針

獨兵徊命令

新麥酒釀造

無政府主義

國際聯盟と人種的偏見

▽我が主張は人種的平等の承認

本田博士

〇平和と門戸開放

◇當面の問題

〇現代生活の改造

◇人種的差別撤廢



新刊

雜誌

イースター　にて

(八)酒興の特は更けて(八)

△口紅ひと夜の恋は…△

珍妙な聯盟



紐育新報

□紐育人…

□石井大使…

□…の十八日…

□…の…

□日本…

英語教授

海上保険事務

紐育日本人會

日本人

青年二名入用

日本…

The Japanese Times

紐育新報

朝鮮獨立を宣言し檢擧續々

◇李太王の國葬を期して◇

▽正義人道を口にして示威運動開始

日支問題の解決曙光を認む

總領事沼野安太郎氏を傷く

□大統領到着

□潜航艇賣却

□食料救助急

□徴兵廢止論

□信教の自由

□過激派對抗

紐育新報

尾崎行雄氏と労働黨

●今回の総選挙に於ける憲政会大敗

[illegible]

一、本年度

[illegible]

(自然の大元)

[illegible]

坪内士行夫人の立往生

●倫敦で演技中に俄然
▽其の途中で舞台一切を放棄

[illegible]

[illegible]

（十）清興の酒は更けて（十）

△□ 紐育日本人社會の縮圖 □▽

一日四時間勞動を要求

▽米國會の職工でボルセビキ派での

歸朝送別

紐育新報

寄書

井上少將招宴

□日本人の活動

□小杉氏の二回出演

The Japanese Times

紐育新報

石井大使演説

▽…の宣言

[illegible]

大阪船會社事業日本に創立

▽…を中心とし…

[illegible]

軍隊警戒嚴重漸く鎮靜す

[illegible]

西比利亞遠征で機縮せん

[illegible]

獨逸人二千名十一日追放

[illegible]

日支軍事協約十四日發表

[illegible]

井上侯芳川伯樞密院入り

[illegible]

貴衆兩議員叙勲の御沙汰

[illegible]

◆我が田中少佐を始めとし◆

一個中隊ストラムスコに全滅

▽西伯利亞の過激派軍は再び活躍す

[illegible]

李王世子殿下自殺未遂説

[illegible]

國際聯盟と人種的偏見

▽人種問題に…

[illegible]

石井大使演説と其反響

▽日米間の國際的感情を…

[illegible]

◇……ソウル……◇

果然朝鮮の革命 逮捕四万人

▽八十五名中の大暴動
▽朝鮮の騒擾は依然として止まず

慰撫的態度

◎指導者四万

◎弾丸論として

日記帳のうちより

新報

詩壇

小波

函館事務所



眼鏡師

F. I. FREDERICKS CO.
Tel. Plaza 343　235 East 59th St.

Dr. W. H. Martin
Lexington Avenue
New York City
Telephone Plaza

歯科医
親切丁寧
マーチン

Dr. T. G. TAKAMI
Tel.

診察時間
高見豊彦

KOKICHI OGURI, M.D.
W. 　 St., N. Y. City
Tel.

診察
小栗幸吉

吉居悦彌

歯科医開業

御下宿
青年館

船具食料品取扱
中川商會

菊地寫眞館

三月號諸雜誌
紐育産業商會

費府
桑山旅館
倉席御料理

TOYO KISEN KAISHA
ORIENTAL S. S. CO.
HEAD OFFICE
TOKIO, JAPAN
New York Office

東洋汽船株式會社
航路案内

●醬油新着荷
村瀬商會



店員入用
丸山洋服店

元造製箱師
J. CAROW CO.

T. Kikuchi Studio
菊地寫眞館

御下宿
吉田宗章

煎餅御小賣

歯科醫
宍戸良一

村瀬九郎

チエースナショナル銀行

金剛石

R. H. Macy & Co.

HOTEL SAN REMO
ホテル サンレモ

S. KUWAYAMA
解禁食料品種々到着
桑山商店

入荷御案内
片桐兄弟商會

◇總領事負傷事件判然せず◇

◇檢事は拖情の結果と論告◇

虚の價值



店員入用

日銀總裁に井上準之助氏

日本協會主催の晩餐會

◇…………………◇

□……

謹告

エッキスプレス

新報社

抽字工を求む

英語教授

紐育日本人會

日本人

海上保險事務

自働車教授



FAR EAST BUREAU

英語教授

R. S. ENDO
11 BROADWAY

船具商

PHELPS & PERRY



最新意匠
寶石類

舞蹈教授

海員御下宿
中島實

永月堂

日本菓子類

美術教授道傳

◎化粧品卸賣

五味商會

共和樓

船具一切

青年會

輸出入營業

◆尋人◆

即席御料理
うはうさん
入船亭

米司旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル



笠井洋服店



丸山洋服店

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園

魚

▲アビセロ▼

◉貸間あり

ボストン市

よい旅館

御旅館

岩田旅館

日本人機會の最新式六層樓

藤井旅館支店

エス、ビー、ホテル

The Japanese Times



◇ローマ法王の消息◇

彦田大使大統領を訪問して

▽人種差別撤廃の山積代表問題

◇国際聯盟設置の当時◇

モンロー主義の承認と日本

▽日本の対支行動は承認

◇日本と米国の関係◇

正義人道と英米の世界征服

▽両国利害関係の衝突

◇欧洲大戦後の現状◇

東は東西は西の世界と出現

▽各自勢力の範囲を守る

□国務省日本事情調査を命ず

内外時事問題

□伊太利使節

□中立国参加

□過激派調査

□仏大使表言

□愛蘭土管理

●今日は朝鮮の記念日なり●

朝鮮の人心恟々 輕戒嚴重

▼南次郎氏に謁見すべく準備を急ぎつつ

●如何にして日本人と親しむか●

米國日本へ謝罪を要求せん

▼大阪に於ける暴行事件の結果如何

關係無し

▼野内夫人の

子製電報

新渡 遊覽

此の頃



遂に無期徒刑の宣告

淺間噴火





―春が來た―

墓場の上

助手入用

雑報

□在紐育日本人會

□日本人

The Japanese Times

讀賣新報

國際的排日

▽日貨の第…

國際聯盟と我が利權

人種的差別の五字を省かん

▽改訂原案に…

内外時事問題

國務省調査

獨逸新方針

講和會議傍觀

クラン議員抗議書發電

天津事件と陸軍省の公表

革命の影響

民族自決案

處理進まず

◇十一…

洪牙利過激派と同盟を締結

▽…

五月に召集

◎關稅改正案次期議會提出◎

▽米の輸入關税上の特種制度……

最近放國視察

□日本の奉天……

離婚數增加

▽結婚出願數三割……

巴里に於ける日佛伊の三料理

▽大體に於て之を讃せんと一寸太人▽▽特殊な趣味はメイ……に限る△

[illegible]



[illegible]

□後藤男來港に於て演說す

□勝利の日

□大洋丸喜界島沖で座礁

□麥春甲に就て

□（この見出しは判読不能）

The Japanese Times

紐育新報

◇元兇は日本の提出に同情◇

何處まで祟るか人種問題案

▽日本主張は歴史的産物
▽濠洲等の輿論

◇大洋事件の平和的解決◇

北京公使館に於て調査の後

▽日米總領事の協議

□西伯利亞反過激派軍進擊

□西伯利亞及露領聯合軍兵數

□過激派征討

□革命は靜穩

□輸出入禁止

□排日運動

□獨逸民怒る

□婦人の参加

□新任帝國強迫

講和會議餘觀(二)

米國西部議會の議場騒擾

[illegible]

政府議園軍用

[illegible]

◆ 婦人會を利用して

[illegible]





【第十二回】

巴里に於ける日佛伊の三料理

▽新フォッシュ將軍の御料理▽

▽支那料理に問題の料理△

同胞青年諸君の篤志を献じて

紐　育

□紐育日本人會

□日本人學生會

□紐育の日本人

The Japanese Times

紐育新報

桃源西の生命

▽沈滯不利の現状

□移民問題に何等言及せず

□國民大會國際聯盟に反對

□日米提出修正案宙に迷ふ

◇米本國政府に對し斯くの如き運動◇

オムスク政府借款成立風評

▽米國主要國政府の意中頗る曖昧

▽樺太千島の利權を擔保として供給

□低加州土地問題と墨西哥

◇墨國政府と日本國交◇

印度支那の讓受提議は不確

□朝鮮假政府を滿洲に設く

巴里講和會議と支那の主張【上】

◇國際聯盟案の批評◇

【一】

諸 君 達

講和會議雜觀【三】

獨立美術協會の日本人畫家

[illegible]



紐育新報

家庭欄

日本人社會

方外時報

齒科醫開業

貸間あり

書記長招聘

日露戦争觀戦記

AUTHOR MASUDA

日本人

自働車教授



エクキスプレス

人に依て好む

FAR EAST BUREAU

極東社

英語教授

海上保險事務

基督教修道會

舞踏教授

海員御下宿

中島寳

輸出入營業

R. S. ENDO
11 BROADWAY
New York, N.Y.

船具商

化粧品御會

PHELPS & PERRY



最新意匠 寳石類

船具一切

日本人青年會

共和樓

牛田宇一郎

羊町旅館

即席御料理

入船亭

寺人

CITY HALL TEA GARDEN
170 Nassau St., City

市廳茶園

魚

アビセロ

日本人經營の最新式六階建

エス・ピー・ホテル

貸間あり

藤井旅館支店

ボストン市

ふじ旅館

御料理

御旅館

岩田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル



K. MARUYAMA

丸山洋服店



The Japanese Times

紐育新報

英國議員が議會に於て質問

◇不當日本を誹謗せる◇

大島公使事實無根と聲明

尾崎望月兩代議士の着米

牧野男聲明

米は斷じて

過激派承認

巴里講和會議と支那の主張（四）

修正案完成

大統領意見

紐育新報

◇國際聯盟案の批判◇



當世美人氣質

◎◎入國問題◎
加州での取扱

學園の御馳走

紐育新報

社説

日米交渉の方法

日本の新聞と米國の近

安達謙藏氏

急告

書記長招聘

山東日本人會

職業日本人

紐育日本人會

日本人職業紹介所

The Japanese Times

紐育新報

産業の國際化

八時間制度と日本の産業

白耳義皇帝西園寺侯訪問

支那政府再び巴里に活躍

平和準備會議は危機に瀕す

▽米國の…

望月小太郎氏氣焰を擧ぐ

巴里講和會議と支那の主張

○○國際聯盟案の批判○○

最新故國電報

漆雜業見習入用

讓り受けたし

料亭と少年

山室氏招宴

山崎氏の…

日本人倶樂部

書記長招聘

本會書記長を招聘す…

紐育日本人會

The Japanese Times

紐育新報

石井駐米大使近く歸朝か

南北和平會議五月に開催

支那過激派の侵入に注目

蒙古廣麻蒸氣の一行入京

淺間山噴動し降灰盛ん也

五月總選擧十日期日を決す

自主的獨立行動を主張す

東宮御成年式廿九日擧行

◇ランシング國務卿回答◇

排日案の提出に對して反對

米國大統領牧野男を訪問

國際聯盟首都をゼネバに

三大重要事項九日に決議

モンロー主義承認を提出

北露の米軍撤退を欲せず

東洋方面濱港視閲を廢止

日米兩國民の友誼と諒解

北米大陸…四百…

最新帝國電報

留守宅の話



新…

謹告

貸室

大平…太郎

傭入れ度し(男)

養鶏業見習入用

日本人至急入用

通信販賣開始

大正堂

◆◆ウールウオース氏一代記◆◆

知つて置きたい



眼鏡師



F. L. FREDERICKS CO.

盛大なる生糸業者園遊會

雜錄

日會總會準備

日本人

FAR EAST BUREAU

英語教授

人は新奇を好む

自動車運轉教授



エッキスプレス

海上保險事務

半田旅館

半田宇一郎

R. S. ENDO
11 BROADWAY

化粧品卸賣

船具商

PHELPS & PERRY



最新意匠
寶石類

Lomis Dancing School

舞踏教授

海員御下宿

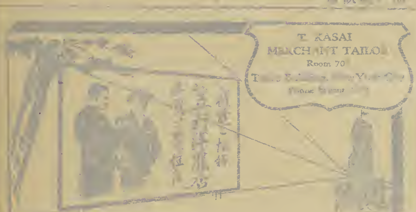
中島實

基督教修道會

即席御料理

うばうさん
大和亭

尋ね人



共和樓

晝食は午前十一時より
午後三時迄

日本人青年會

N. Y. C.



CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園

魚

▲アピセロ

貸間あり

ボストン街

日本人經營の最新式六層樓

藤井旅館支店

岩田旅館

おむら旅館

御料理

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

船具一切

丸山洋服店

The Japanese Times

紐育新報

建設的國民

人種案無効

議論長時に及びし後

＝日本使節會議撤退風說

＝政府人民の暴動を憂慮

聯邦首相反對

▽日本の態度に同情

聯合決議發表

▽日本の態度拒否

日米兩國民の友誼と諒解

「日本は早晩米と戦はん」と

「償金二百卅八億弗」を決定

「萬朝報排米的論文」を掲載

「米人宣教師三名告發」さる

□悲慘な巴里貧民窟の印象

□對派理由發表

□宣教師の服務

□賞金廿七万弗

最新故國電報

謹告

新報 詩壇

養鷄業見習入用

通信販賣開始

大正堂

三十年前のニューヨーク ◆◆ウールウォース氏一代記◆◆

支那兵の三万

紐育新報
（第八百四十八號）

倒さに立つた富士の山

▽ 縦せし際に見る

□ 學士の受難

□ 日本人會

國內消息

The Japanese Times

紐育新報

日本優先要求

▼對支問題の解決を主張し
▼講和會議撤退の意を示す

□山東省問題は来週に討議

□朝鮮の暴動瀰久鎮静傾向

□皇軍過激派遠征を継續す

□政府高官増俸二割か五割

□林權助男關東都督に任命

□樺太長官更迭新遞信次官

□石井大使の歸朝と排米熱

鮮人八百吉黨派遣軍到着

□京城の獨立政府の設置説

王正廷氏との會見記

巴里會議から巴里會長館の印象

‼日本民主々義の將來‼

田川大吉郎氏談

三十分間の綴りフランス＝

◆◆ウールウァース氏一代記◆◆

◎僅貯金の一〇弗と講ったた数が
◎三億ドル以上の富を築くに至れる迄

[illegible]



[illegible]

尾崎行雄氏の時局觀

（本文不鮮明）

日會總會

（本文不鮮明）

講演會

兩議員出席

（本文不鮮明）

The Japanese Times

紐育新報

勝利公債應募

[illegible]

▽日本の要求△

山東省の利權

◆日英師團の密約を公表 ◆牧野男米國大統領と會見

[illegible]

◆八爪宋の見地と日本◆

輿論は案外に冷靜なる態度

▽[illegible] ▽大[illegible]

[illegible]

獨逸の講和使節近く出發

[illegible]

山東省利權問題明日討議

[illegible]

鐵道借款と獨逸利權押收

[illegible]

米人牧師懲役六個月判決

[illegible]

印度獨立運動益々擴大す

[illegible]

憲兵發砲死者廿名を生ず

[illegible]

三國同盟の適用範圍疑問

[illegible]

ウイルソン大統領の檢索

島　進

尾崎様の白紙へ

The Japanese Times

＝今年は見ものの一日つだ＝

◆◆野球競技ボ市に開始◆◆

◇ローヤルス全勝ワシープ二敗

◇黄軍に成功の自活を應知

◆ホ丁夫人◆　蝶々夫人上演



紐育新報

尾崎行雄氏の時局觀

[illegible]

雜報

[illegible]

渡邊哲三郎

[illegible]

日本人

Phone Circle 1614

エツキスプレス

英語教授

自動車教授



海上保險事務

夏場向



新荷到着

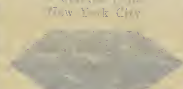
森村ブラザース

R. S. ENDO
11 BROADWAY
New York, N. Y.

船具商

◎化粧品卸賣

PHELPS & PERRY
New York City



最新意匠
寳石類

舞踏教授

中島實

海員御下宿

茶道教授

米田旅館

即席御料理

牛田宇一郎

うばうどん 入船亭

T. KASAI MERCHANT TAILOR



共和樓

晝食は午前十一時より午後三時迄

青年會

日本人經營の最新式六層樓

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園

昭南樓

魚

アピセロ

貸間あり

藤井旅館支店

ボストン市

岩田旅館

ふじ旅館 御料理

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

船具一切



丸山洋服店

The Japanese Times

紐育新報

加州上院一決

日本人學童の發校隔離案

賛成五十七票反對は四票

日本市民大會

廿四日東京市に於て開催

ヒューズ首相打電し來る

山東省利權總承問題調査

伊太利平和會議より脱退

「尾崎、望月、田川三氏演說會」

ワイルソン大統領の特徴

（三）

藤　本　堯

[illegible]

れ話で偲びし

山野寺枕子

[illegible]

二世達に送る──話の二
名花・水培・人は無手

○◯◯に関する十五の◯◯から
○ゆかしき◯◯と◯◯



時評

□川人合勞働の政策

□消費者の心理

The Japanese Times

紐育新報

國際商法改訂

[illegible]

人種案成立せず

牧野伸顯男最後の努力も効を奏せず國際聯盟委託

[illegible]

□米大統領牧野男等と協議

[illegible]

□伯剌爾人種案に反對せず

[illegible]

□膠州灣問題日支了解否認

[illegible]

□華盛頓に於て會議を開催

[illegible]

□我地中海艦隊伊太利訪問

【マルセーユ廿七日發】[illegible]

□橫濱市の大火　千戸燒失

[illegible]

□竹田宮殿下は遂に御薨去

[illegible]

◇外務次官は辭職を試む

◇外交調查會

□西園寺公望侯と語る

[illegible]

ウイルソン大統領の揺籃

新 渡 道

新聲 一詩作

春蚕の作



共同經營者を求む

詩人

前餅型賣りだし

空氣銃

お話を伺ひに



山東省問題と日米關係

[illegible]

雜録

[illegible]

□日[illegible]

[illegible]

□[illegible]

[illegible]

□大正[illegible]

[illegible]

●[illegible]

●中村[illegible]

●[illegible]

●日本人[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

日支外交の將來（上）

山東省問題に就て

山東省日本優先權解決

牧野男三大列強と二回に及ぶ會見の結果

日本は相當の時期に於て自主的に還附す

日本主張貫徹

▽牧野伸顯男聲明

對支條約内容

▽獨逸の利權繼承

國際聯盟關係

日支關係一變

國論變化なし

極東問題解決唯一の政策

支那兩院列強に抗議發送

外交調査會の強硬

ベルサイユ會議開く

◎勝利公債募集◎

◎紐育日本人會を通じ醵金あれ

紐育日本人會

クーリツジ大統領の功業

花嫁を伺ひに

千枝子

野桑園完成 地質所新設御披露

紐育新報

講演會

口山中商會の

職業周旋所

小風赤男

日本人

エツキスプレス

英語教授

夏場向

森村ブラザース



新荷到着

自動車教授



Phone Circle 1614

海上保険事務

舞踏教授

海員御下宿

中島

基督教修道會

轉居ノ告

R. S. ENDO
11 BROADWAY

建築材料商

小月卓之助

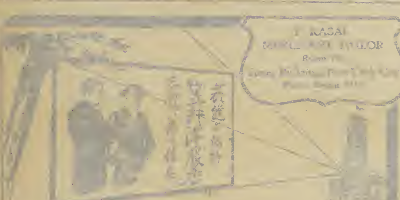
化粧品卸賣

五味商會

PHELPS & PERRY



最新意匠 寶石類



共和樓

日本人青年會

ボストン市

料理

入船亭

即席御料理





丸山洋服店

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園

食料品商

日本人經營の最新式六層樓

エヌ・ビー・ホテル

藤井旅館支店

ふじ旅館

牛田宇一郎

岩田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

船具一切

輸出入貿易

The Japanese Times
紐育新報

日支外交の將來
日米支の三國關係

對獨平和條件は本日交附

支那使節講和會議撤退か

牧野伸顯男陳述書を發す

ボチンデクスター氏攻擊

日英佛三角同盟の成立說

獨逸前帝歸國希望を打電

新西蘭士日本野心を恐怖

次期大統領

伊佛同盟說

新獨逸兵力

大統領選說

最後の通牒

洪牙利征討

太西洋横斷

最新歐洲電報

獨逸民意

◇◇勝利自由公債募集◇◇

紐育日本人會

ウイルソン大統領の擁護

楠　蒙　疊

[illegible]

新聲詩壇



至急入用

謹告

尋人

共同經營者を求む

K. UYEDA

野菜販賣所新設御披露



紐育新報

□…

講演會

日本人

小栗亦男

職業周旋所

好機會

日連野球部

エッキスプレス

英語教授

自動車の教授

Phone Circle 1634



夏場向

陶器、茶銅器、…

森村ブラザース

新荷到着



海上保險事務

藝術教授並會

海岸御下宿

舞踏教授

Lowe's Dancing School

PHELPS & PERRY



最新意匠寶石類

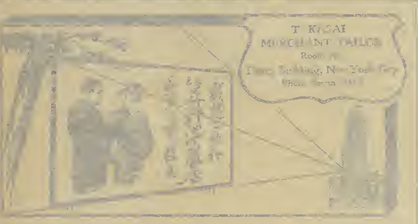
R. S. ENDO
11 BROADWAY

船具商

化粧品御買

花 味 商 會





共和樓

日本人青年會

貸間あり

ボストン市

ふじ旅館

牛田宇一郎

御料理

日本人

即席御料理

入船亭

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

半田旅館

御旅館

岩田旅館

船具一切

船用入用品

CITY HALL TEA GARDEN
170 Nassau St., City

市廳茶園



丸山洋服店

日本人經營の最新式六層建

エス、ピー、ホテル

鹿井旅館支店

The Japanese Times

紐育新報

人心を刷新

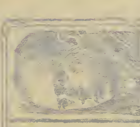
平和條件發表

陸軍десять

ウイルソン大統領の抱負

島□　正

[illegible]





各位

野菜販賣所新設御披露

紐育日本人美以教會

講演會

家具賣渡し

一刀土人

廣告

親切丁寧

齒科醫

マーチン

Post Card Store

ハガキ 繪所 名

空氣銃

室貸し有之



印度料理

THE TALMADAL

來たあく と柳そのまゝ花色 油あら濡れかたしやう 持ち出でみなう果 レコードの うまいとこ蓄音器の矢野

眼鏡師



F. FREDERICKS CO.

齒科醫開業



ライスカレー

日本人諸君の歡迎△

御旅館

田中與次郎

◎海員御下宿

中用

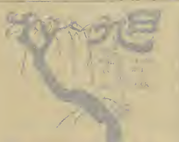
御下宿

鴨井

人員入用

御菓子司

水月堂



旭

お多梅

御下宿

青年館

太陽

TAIYO

日本人美以教會

紐育教會

相生洋館

御下宿

梅のや

岡宮旅館

會席料理

河浜旅館

Kawasaye Hotel

千歳

東洋館

みどり

Midori

SANO BROS

會席御料理

若松



都

Phone Columbus 6570

御下宿

御料理

大黒屋

日會理事例會

日進野球部

職業周旋所

小關寿男

日本人

エヴギンスプレス

夏寒向



森村ブラザース

新荷到着

The Japanese Times

紐育新報

朝鮮自治論

[illegible]

獨逸の輿論二派に分裂す

[illegible]

朝鮮代表者獨立請願提出

[illegible]

對支四國借款計畫の進行

[illegible]

奠都五十年紀念祭を執行

[illegible]

オムスク政府の承認如何

[illegible]

墺太利平和使節一行出發

[illegible]

伊太利の除外問題となる

[illegible]

◇新々山◇雜話◇

次期大統領の候補戰

▽共和黨はウード將軍の呼聲が高い

藝文の戰死



新緑壇

食故郷殿村之由来

◇夏のひとつ◇

夏期販賣所新番附

野菜販賣所新設御披露

□夏場に新税

□日本人

The Japanese Times

紐育新報

對外國語の智識

獨逸の輿論は日々興奮す

▽ヒットラー大統領は…

對墺平和條約廿一日交附

支那使節に脅迫狀を發送

墨國に於ける擾擾の陰謀

學生暴動取締嚴重を極む

朝鮮統治の改正を討議す

石井菊次郎子聲明書發表

石井菊次郎子は本日…

加州白人農業組合の檢舉

▽日本人の…

最新故國通信

◆四軍の指揮を語る◆

ルデンドルフ將軍訪問記（上）

紐育タイムス記者　ピターソン氏

[illegible]

◆漫画家へ…[illegible]◆

新旅行

日本人支配人入用

日本郵船會社紐育支店

[illegible]

植物百萬弗

太西洋横斷



牛高等商業學校同窓生諸君

野菜販賣所新設御披露

日本人テーアーテー

雑録

新荷到着



泉馬商

森村ブラザース

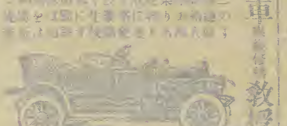
Morimura Brothers

小關亦男

職業周旋所

英語教授

自動車教授



Phone Circle 1641

海上保険事務

基督教修道會

海員御下宿

舞踏教授

R. S. ENDO

11 BROADWAY

北村號商會

五味商會

PHELPS & PERRY



寶石類

即席御料理

そばうどん

入船亭



共和樓



紐育旅館

貸間あり

ボストン市

櫻井旅館支店

日本人經營の最新式六層樓

エムピーホテル

四海樓

市廳茶園

CITY HALL TEA GARDEN



丸山洋服店

牛田守一

岩田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

船具一切

船用品業

The Japanese Times

紐育新報

第六十六議會

膠州灣還附と三政府協約

▽枯田に於て調印せん

獨逸の抗議に對する回答

▽聯合軍に傳ふべく□□□

エバルト大統領等の運動

米國平和使節委員の辭職

米人宣教師は禁錮四個月

南北支那和平會議分裂す

新政府組織

支那人騒ぐ

過激派衰退

獨使節歸佛

宣戰の布告

フ將軍提議

共和黨反對

通信欄

紐育新報

ルーデンドルフ將軍訪問記（下）

共同借款準備

▽米人銀行家と日

ＨＨの自覺

◆◆大西洋横断飛行の競争◆◆

▽墜落の一機の破損を受けた



□

□

後藤男爵講演會

紐育日本人會

大全急入用

英語教授

The Japanese Times

紐育新報

講和成立近し

回答期五月廿九日と確定

戰鬪の準備

禁酒案形勢

外交調査員

波蘭軍進撃

土耳古管理

南海電布設

米大使急行

米海軍擴張

顧維鈞語る

伊太利語貴

牧野男日米問題を語る

最新兩國電報

紐育新報

清水君の藝術

川 俊 鄧

新荷御案内

新開業 一力

日本人

辨天

讀者廣告

診察時間



教育の列行

救世軍運動



室借り度し

日進野球部

エクスプレス

野菜販賣所新設御披露

敵國人取引禁止令の改正

□布告第十四□取引禁止令の改正

雜 □ □

□

□ 人 の 事

後藤男爵講演會

紐育日本人會

大至急入用

紐育日本人會調査部

The Japanese Times

紐育新報

國際聯盟と人種的偏見（上）

米國は支那の要求を援助

…スク巨頭會議成立

伊太利再び脱退せんとす

押收獨商船は米國に保存

伊太利の中央亞細亞上陸

反古紙的の條約調印拒絶

エメシー西方八百哩横斷

有色人種の聯盟権を勝る

ロー…ンの渡米

過激派…として…

今朝…會の…

◆カーカア氏が海上で発見

新着荷

清水君の藝術

山本　太郎

新商御案内

後藤男及新渡戸博士講演會（上）

愛國心と眞意義

後藤男歡迎宴

The Japanese Times

紐育新報

國際聯盟と人種的偏見(下)

獨逸の新使節條約に調印

四大列强領土問題を解決

英官民歡迎

首相否定す

兵營燒失す

勞働者騷ぐ

承認未だし

海軍卿聲明

支那人暴動

露都の反亂

公債超過す

今期議會の關稅改革運動(下)

大西洋橫斷

機体で發見

□日米海運界の將來は奈何

玉 暦 一 郎 氏 談

[illegible]

貸度し

リヨマチス

中や士官に盛宴を張る



菓子！

高級 水範の職

職工入用

日蓮野球部

野菜販賣所新設御披露

後藤男及新渡戸博士講演（一）

學俗接近の生活

雜録

The Japanese Times

紐育新報

官民労働協會

□樺太利平和條件二日交渉

□聯合軍は譲歩せんと傳ふ

▽米未席の意見衝突

□エルガゲルの再戦論

□諸威の米国対露提案拒絶

□上田海軍中佐観詞を傳送

紐新夜の記者

和製ゴムパテス君來る

商業の進境

[illegible]



露西亞の婦人國有は失敗



□渡米者注意

□米國國際聯盟大会

講演會

□日本の政治の現状

□在米邦人の現況

婦人質子入用



The Japanese Times

紐育新報

石井大使歸朝

條約に賠償額を明記せず

平和條約を印刷して發送

支那の排貨同盟益々激烈

米國政府外人登録制定か

上院婦人參政權を協賛す

ライン住民獨立宣言疑問

石井大使の對支問題聲明

講和問題大會

▽全國米商大會にて

新借款團と日本

米國禁酒運動

爆弾を投下する無政府主義者



紐育新報

石井大使演說

●宮岡總領事の催しに

▼石井大使と鈴木文治

ロ… 人は何を所有…

會社員諸君に急告

The Japanese Times

紐育新報

所謂四大列強（上）

米上院對獨平和條件發表

▽ワトソン氏の決議案

アドリアチック問題解決

獨逸の國際聯盟參加許容

歐露の猶太人虐殺頻々矣

戰爭責任者を調査審理す

英國々境の出兵で拒絶す

發表を拒絶

大統領歸米

記録を破る

二千人虐殺

造船費六億

墺國民騒ぐ

調査を開始

土耳古使節

憲法修正案

正義人道の聖約者

歌



米國大學の日本女學生



論説

杖球協會競技

□

講演會

會社員諸君に忠告

The Japanese Times

紐育新報

所謂四大列強（下）

五大列強會議で再び組織

排日案の州會提出を提議

支那不穩帝國艦隊急行す

キエリク博士と移民輸入

オムスク假政府を承認す

對獨回答茲一日中に交附

英米代表者の努力實現す

五十万支出

時間を改正

太西洋横斷

上院の討論

歸化船到着

關税改革調査會を開催

次期大統領

最新故國電報

紐戰者關正に一星霜 (上)

▽六十餘の邦字新聞に就いて△

工場禁令撤廢

女一人の細腕で五萬弗



牧師事の孤独

求職

求職

紐育新報

時報

議員會の盛況

急告

紐育日本人會

告示

帝國總領事館

The Japanese Times

紐育新報

人口調査事業

[illegible]

獨逸の回答期限は七日間

[illegible]

佐世保艦隊出動準備成る

[illegible]

錢總理辭と徐總統の辭意

[illegible]

露國過激派東洋に活動す

[illegible]

米國上院の請願書を發表

[illegible]

米[illegible]に於て戰ふ

[illegible]

上耳古使節の陳述を聽取

[illegible]

對墺平和條件追加を交渉

[illegible]

最新[illegible]商況

[illegible]

ギエリツク博士の移民論

[illegible]

◆慶應義塾に◆

慶應義塾に二星霜 [下]

國際労働問題と日本

日本人會に於ける　鈴木文治氏講演

エヴエスプレス

商店燒入用手

◆一気呵成に太西洋横断◆

一気呵成に太西洋横断

十九時間十六時間一分

雜報

帝航同胞送還

□ 日米丸に…

急告

告示

紐育日本人會

帝國總領事館

市政通信

The Japanese Times

紐育新報

山東省を日本に與ふるは日米開戰を意味すと叫ぶ

西比利亞に於ける日米軍

内田外相駐米大使たらん

伊内閣辭職

禁酒は確實

米委員辭職

大統領旅行

損害を賠償

佛首相謝罪

前進の準備

意見合せず

歐洲産業復興策と米國

紐育新報

有楽園の沿革と其活動振

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船株式会社

HEAD OFFICE

New York Office

Broadway, New York

醤油新着荷 村瀬商会

諸雑誌

豆腐

紐育産業商会

府 費

桑山旅館

御料理

保険業

瀬川事務所

公認

職業周旋

診察

小栗秦吉

診察時間

高見龍斎

歯科医

宍戸良一

吉居悦彌

歯科医

親切丁寧

マーチン

緊急広告

壺弗五十仙

元造製箱飾

MILLER & VALVER

T. Kikuchi Studio

菊地写真館

御下宿 吉田宗章

職業仲介

村瀬九郎

HOTEL SAN REMO

ホテル サン レモ

SAKAWAYAMA

食料品種々到着

桑山商店

片桐兄弟商會

紳士諸君！

R. H. Macy & Co.

チェース ナショナル銀行

エツキスプレス

貸間

Yoshida Bowne Poultry Farm

リヨマテチス



住宅法の改正

□ 紐育市場の景況

□ 三井物産紐育支店

謹告

[illegible]

社告

The Japanese Times

紐育新報

移民入國是非

[illegible]

調印使節ミニエラミ氏決定

[illegible]

獨逸講和條件調印ヲ發表す

▽[illegible]

[illegible]

前獨帝保護

[illegible]

外交官移動

[illegible]

突如姿を現す

▽[illegible]

[illegible]

獨逸新内閣組織

▽シーデマン氏[illegible]

[illegible]

白耳義皇帝ノ行米國訪問

[illegible]

抑留軍艦撃發司令官告發

[illegible]

露國過激派政府要求發表

[illegible]

歐洲産業復興策と米國〔一〕

[illegible]

英國の現狀〔上〕

[illegible]

有隣國の將革と其活動振（下）

技師の殺人

西比利亞行義勇兵四十五名

夏季の料理

伊澤氏の講演

The Japanese Times

紐育新報

對米貿易觀

支那讓歩大統領歸米準備

支那使節の主張英米の贊同を得たれど佛國反對す

▽十九條件、調印に對し日本を除外

廿八日午後三時調印せん

▽ヴエルサイユ宮殿

獨逸皇太子反旗を飜さん

獨立祭と無政府黨の陰謀

過激派横行

過激派勝つ

損害と要求

英國抗議か

歐洲產業復興策と米國

英國の現狀

伊太利近狀

佛首相辭職

敦賀丸の衝突

紐育新報

チューフシン花園 (十)

加藤総裁外遊

禁酒施行問題

Poultry Farm

緊急廣告

壹弗五十仙

齒科醫

親切丁寧

マーチン

エプキスプレス

朝下宿

鶴井久

府費

桑山旅館

會席御料理

職業周旋

診察

小栗榮吉

診療時間

高見豊彦

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船株式會社

醬油新着荷

村瀨商會

諸雜誌

豆腐

紐育產業商會

齒科醫

宍戸良一

吉居哲彌

元造製箱師

MILLER & VALVER

T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

御下宿

吉田宗章

保險業

瀨川事務所

公認

職業仲介

村福九郎

紳士諸君！

R. H. Macy & Co.

HOTEL SAN REMO

New York City

ホテル サン レモ

食料品種々到着

(桑)(山)(商)(店)

片桐兄弟商會

チェース ナショナル銀行

兄弟廿九年振りに再會

監獄の話（三）

革命の警告



論説

臺灣銀行招聚

丹波會の盛況

□日本人倶樂部

□日本人會

證告

會社員諸君に急告

市中案内

Do You Speak English?

The Japanese Times

紐育新報

米國太平洋艦隊

平和條約調印

＝徐總統無條件調印を訓電

＝日本は五番目に調印せり

陛下より大統領へ

大統領より陛下へ

＝支那平和條約に調印を拒絶し共和黨議員極力批難

國際聯盟より排除されん

山東省と輿論

日露同盟風說を極力否認す

四大外相會議組織されん

最新祖國電報

チエーリン花園

緊急廣告

当非五十仙

Foxland Downs Poultry Farm

リヨマチス

齒科醫 マーチン

親切丁寧

市中案内

桑山旅館

會席御料理

職業周旋

診察 小栗兼吉

診察時間 高見豊彦

齒科醫 宍戸良一

吉居悦彌

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船株式會社

醬油新着荷

村瀬商會



日本食料品一切

諸雑誌

豆腐

紐育産業商會

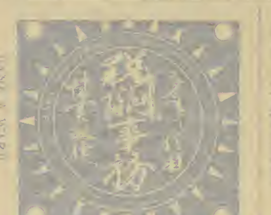
府 費

保險業

瀬川事務所

公認

御下宿 吉田宗章



職業仲介

村瀬九郎

飾箱製造元

MILLER & VALVER

菊 眼 寫 眞 館

紳士諸君！

R. H. Macy & Co.

HOTEL SAN REMO

ホテル サン レモ

S. KUWAYAMA

食料品種々到着

桑 山 商 店

片桐兄弟商會

チエース ナショナル銀行

銀子と結婚

日本で好評

市長へ陳情





紐育新報

華府の祝祭

日本協會の晩餐

日本倶樂部の祝賀會



廣告

貸

庭球 貸度し

ナーレク テニスコート

Nippon Yusen Kaisha

New York Office

職業周旋所

小園亦男

移轉廣告



客用自動車



舞踏を習へ

增田

會社員諸君に急告

Japanese Cleaning & Dyeing Co.

Shimizu

煎餅燒入用

ウエター

御下宿

鶴井久

謹告

エッキスプレス

海上保險事務

海員御下宿

中島賓

舞踏教授

Lorelli's Dancing School

PHELPS & FERRY



寶石 意匠

R. S. ENDO

11 BROADWAY

船具商

化粧品御賣

丸商會



紐育 帝國總領事館

共和樓

詩人

婦人佛語教授

婦人英語教授

アビセロ



丸山洋服店

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園

嘉南樓

日本人經營の最新式六層建

エヌ、ピー、ホテル

貸間あり

ボストン市

藤井旅館支店

ふじ旅館

御料理

半田旅館

牛田宇一郎

岩田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

船具一切

豐出入營業

The Japanese Times

紐育新報

對支政策宣傳

支那は對墺平和條約調印 後對獨單獨講和を結ばん

獨逸は次週に條約を批准

波蘭土の獨立承認を通牒

廣嶋師團浦鹽に向け出發

英國海軍飛行船昨日到着

山東省と輿論

歐洲產業復興と米國

伊太利近状

西班牙の現狀

◇寄稿◇

再割引實施（上）

▽日本銀行の新政策

もう日曜日の午後

愛蘭獨立宣言の光景

新大統領演説

人口調査に就て

論說

鴨井久

煎餅燒入用

會社員諸君に急告

ウエーター

Japanese Cleaning & Dyeing Co.
Shimizu

告示

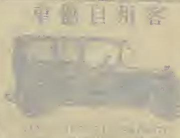
紐育日本人會

岩田

妙齢廣告



客用自動車



庭球と賣渡

テニスコート

職業周旋所

小關亦男

Nippon Yusen Kaisha



謹告

エッキスプレス

海上保險事務

海員御下宿

中島寶

舞踊教授

Lower's Dancing School



精選寶石類

PHILPS & FERRIS

R. S. ENDO
BROADWAY

船具商

化粧品御賣

石原商會

アビセロ

婦人英語教授

婦人佛語教授

Dr. Yon Spaan

壽人

紐育帝國總領事館

共和樓



船具一切

輸出入營業

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

平田旅館

御旅館

牛田宇一郎

岩田旅館

よし旅館御料理

ボストン市

藤井旅館支店

貸間あり

日本人經營の最新式六層建

エス・ビー・ホテル

晶南樓

市廳茶園

CITY HALL TEA GARDEN
170 Nassau St., City



丸山洋服店

The Japanese Times

紐育新報

四日ー八日迄

[illegible]

前獨帝を英京に於て審理

▽米國反對裡に外交團の協議開始

[illegible]

ウヰルソン大統領歸米す

[illegible]

モーリス大使西比利亞行

[illegible]

日米陸海軍當局無電交換

[illegible]

全日本の平和克復祝賀祭

[illegible]

ヒツメの伊佛獨墺軍衝突

[illegible]

原田助博士日本政策辯護

[illegible]

經濟界時報

[illegible]

歐洲經濟復興策と米國〔五〕

[illegible]

過激派の暴状

▽新流の新政策々

[illegible]

製造業者聯盟〔上〕

[illegible]

○新刊紹介○

再割引實施（下）

▽日本銀行の方法

[illegible]

◆七十九年目○經濟電報

[illegible]

世界選手權 廿四個の行方

▽其四 ……

庭球紅白試合

▽……の新近標



總領事の更迭

生糸市價暴騰

口所有一宿氏俊役す

□　記者

●松本雅氏

●生糸　主系格付

●竹田

●安田三氏來紐

●大

紐育新報

商業會議所の商品陳列館が必要

維爾遜大統領教書を發表

二百萬の工業の徴兵權……

獨逸議會の平和條約批准

國務次官日獨同盟說否認

歐洲産業復興策と米國

製造業者機關

ロ米國銀行の……

最新……

英國航空郵路に就て

▼其の取り扱ひは……
▼料金と販賣……

山のはなし

朝

二十年前の故郷へ





綿才輸入妨害

共和黨の?

東西庭球試合

The Japanese Times

紐育新報

國是と政爭

議員の質問に答へて曰く

山東省處分に反對

日露間の秘密條約

還附期限は六七十年の後

西比利議會

出兵と否決

新獨帝要求

國務卿辭職

支那調印か

艦隊出動説

最新外國電報

人口と生產

歐洲諸國の財政と米國

北海拓殖雑話

▽…

白熱的論戦

▽本願寺と日本人…

[illegible]



◎開會前（大會に當選して）◎

海員仲介業に從事して來た遠征家

▽▽……の論文審査





▽寄稿欄

紐育新報

雜報

□米國國務省の新聞社

廣告

謹告

庭球の季節到來と

テニスコート

ナトレタ

會計員諸君に急告

賃家

花粧品御賣

五味商會

海上保險事務

海員御下宿

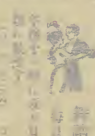
中島寅

舞踏教授

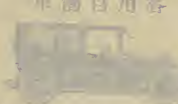
Japanese Cleaning & Dyeing Co.

Shimizu

移轉廣告



自用自働車



Nippon Yusen Kaisha

R. S. ENDO

11 BROADWAY



最新意匠 寳石類

御暇乞

辯田

職業周旋所

小關亦男

船具一切

婦人洋裁教授

Do You Speak English?

尋人

紐育帝國總領事館



御下宿

鵜井久

共和樓

輸出入營業

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

峯田旅館

御旅館

岩田旅館

牛田宇一郎

富士旅館御料理

ボストン市

藤井旅館支店

日本人

貸間あり

日本人經營の最新式六層樓

エス・ビー・ホテル

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園



丸山洋服店

The Japanese Times

紐育新報

對時局管見

山東利權論議

大統領共和黨員と會見す

日本還附期限を近く聲明

伊太利の要求を遂に拒絶

米國上院の決議に反對す

長谷川總領事辭表を提出す

「ダヌンチオ」氏の大飛行

石井駐米大使近く辭職

全市の市街電車大同盟罷工

山東利權問題と共和黨

歐洲產業復興策と米國

財政的本源地



アダムの死床

東洋汽船値上

▽運賃値上げ發表

●小室氏歸米　●當港より

◆新開業の分布◆

The Japanese Times

紐育新報

獨國内閣の危機

山東省利權繼承問題行惱

支那使節ロッヂ氏と會見

對墺平和條件廿日に交附

日本新聞米國干渉批難

帝國陸軍縮算三億五千萬

國民外交の妙諦を發揮せよ

地上地下線人影で失ふ

▽ニューヨーク市交通の混雑
▽地下線の乗客



新聞を入れて

新設校

伊藤道郎

理想は高く、道は遠い

「熊谷氏勝つ」



羽毛輸入前途

観光団出發期

出國手續變更

可愛いしい運河

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

板垣老伯長逝

原首相憲政會委員に說明

◆山東問題に關して◆

▽山東返還をランシング氏に言明

斷乎たる手段に訴へん

米國保留せば日本も保留

大統領否定陳述書を發表

人種案撤廢代償說を否認

朝鮮帝審問廢止運動起る

過激派廣島聯隊を奇襲す

支那滿蒙國境に出兵開始

ロビンソン氏の日本辯護

聲明なき限り調印せず

英米佛條約違反也と叫ぶ

最新故國電報

米國に於ける黑人私刑史(一)

副島道正伯の貴族院改造論

▽自選本の問題は貴族院改造にあり

板垣伯逝去

生命保險は四百五十萬弗



NEW PERFECTION OIL COOK STOVES

三百萬戸以上 時間 勞働 節約



商船三井盛宴

The Japanese Times

紐育新報

吾不關焉主義

[illegible]

內田外相辭表を發表す

[illegible]

芳澤前參事官青島に赴く

[illegible]

徐大總統條約調印を通告

[illegible]

支那人の勞働者と外務省

[illegible]

英佛平和提唱說を否認す

[illegible]

山本唯三郎氏支那漫遊談

[illegible]

米大統領の干涉說は虛報

[illegible]

ピユーア氏の綱領改正案

[illegible]

日米開戰の不可能を說く

[illegible]

邦人土地八十萬英町買收

[illegible]

信愛協會長大杉榮氏

[illegible]

國際聯盟と土匪の交渉

[illegible]

米國に於ける黑人私刑史（七）

南米より啓上



其實問題



婦人參政權

渡米日本人

移民局近況

人口調査近狀

住所照會

街鐵乘替二仙



客用自働車

移轉廣告

Japanese Cleaning & Dyeing Co.

Shimizu

會社員諸君に急告

化粧品卸賣

石原商會

海上保險事務

寄人

R. S. ENDO
29 BROADWAY

船具商

PHELPS & PERRY

販賣

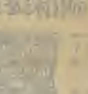
Nippon Yusen Kaisha

英語教授

舞踏教授

海員御下宿

中島



MILLER & VALVER



婦人英語教授

求人

職業周旋所

小關亦男

增田

謹告

CITY HALL TEA GARDEN

市廳茶園



丸山洋服店

貸間あり

ボストン市

ふじ旅館

半田宇一郎

半田旅館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

輸出入營業

御下宿

駒井

日本人經營の最新六層庭

エヌビー ホテル

藤井旅館支店

日本人

岩田旅館

御旅館

英和樓

The Japanese Times

紐育新報

牧野伸顯男廿一日に出發

伊太利東洋中に批准せん

白耳義も共同防衛を希望

猶太人十二萬人虐殺さる

波蘭土はガリシアと交換

ウヰルソン氏の賠償反對

內務に先立ち聲明書發表

英國皇帝は條約御批准濟

寛城子に於て日支兵衝突

物價騰貴の大調節を實施

議員一行西比利亞に赴く

內田外相日獨密約說否定

市俄古の人種戰終結せず

國際聯盟と土耳の交涉(二)

米國に於ける邦人私刑史（三）

邦人發展狀況

▽海外博覽會計畫

男女入用

荷風の酒

夏季の料理

頃夏の食と

紐育新報

露朝聯盛

□日本人會の□□

□日本人新年會の□

日本人の活動

The Japanese Times

紐育新報

原首相の聲明（下）

[illegible]

物價調節問題の危機迫る

▽鐵道從業組合員は鐵道國有を主張

▽物價調節案は一時救濟に過ぎず

[illegible]

山東省問題聲明近く發表

【華府三十日發】確かなる筋より探聞する處に依れば日本政府の山東省處分問題に關する聲明書は茲數日中に發表を見るに至るべく日本の聲明は本問題に關する誤解を一掃するに至らんと察せらる

鐵道院白米無料輸送開始

[illegible]

羅馬尼軍ブダペスト到着

[illegible]

領事館?

[illegible]

陸軍卿警告

[illegible]

獨將校激怒

[illegible]

艦隊到着期

[illegible]

米將軍歸米

[illegible]

我政府強硬

[illegible]

紐育市の生活難（一）

勞働者より中產階級が心細し

[illegible]

ロッヂ君に寄す

猪狩生

角國の隅

佐々木甘月

焚香

最近故國電報

◆國際聯盟と日本◆

聯合軍の政治家を審理

▽英國の決定

不良少年の群れ【上】

〔教育の一面〕

現住所知りたし

音樂教授

東京音樂學校出身

野口 ■ 敬

日本訪問團員募集

鹿島丸

二十名

八月卅一日

日本人の因縁話

◇紐育新報の日本の話◇

【[illegible]】

……西に折れ……町名である、千七百……あり且つ……ニュース……と云ふ……に……扨に……一年ならずし……海の猛者……

三角関係離婚

……

日本大使の社交談

……

人事

●……三井物産……支店長として……
●……氏……東洋汽船會社……
●……氏は……旅行中
●……今月中旬……上京……
●白石……氏來紐……
●……太郎氏着紐期……今春……

汽船出帆

◆日本丸 ▽八月十八日午後六時
◆エクアドーア
◆モンテヰグル

日本人運轉手入用

市内日本人某會社にて若者にして經驗ある者を至急雇入れ度し
自働車ラーンマジネック其他乘……
姓名在社

急告

……在留登録用紙は……會員は……調査……統計……
紐育日本人會

告示

今般……日本人……在留……
在紐育帝國總領事館

The Japanese Times

紐育新報

山東問題…

[illegible]

内田外相正式に聲明發表

▽山東問題…

[illegible]

ウヰルソン氏も聲明發表

[illegible]

四國密約の存在を知らず

[illegible]

平和黨議員聲明に不滿足

[illegible]

北京在留邦人の生命不安

[illegible]

匈牙利王黨新内閣を樹立

[illegible]

不正食料商人罰則令通過

[illegible]

米國太平洋艦隊大觀艦式

[illegible]

勞働者…

[illegible]

大統領演說

[illegible]

米大使到着

[illegible]

支那の主張

[illegible]

紐育市の生活難（二）

[illegible]

最新故國電報

[illegible]

本紙を尚大改良に就て

紐育新報社

日より本紙の改良を断行し ……来る九月二十

出國者徴税と同胞との關係

▲居住外人と出國外人との區別

勇園の陽



不良少年の群に

日本訪問團員募集

鹿島丸

三十名

八月卅一日

音樂教授

現住所知らせ

眼鏡師



職工入用



水月堂

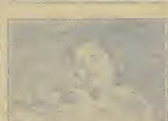
T. Kikuchi Studio

菊地寫眞館

小柴寫眞館

新開業

一力



印度料理

THE TAJ-MAHAL

お多福

齒科醫開業

相生旅館

TAIYO

太陽旅館

Post Card Store

謹告

岡宮旅館

神田川

河添旅館

東洋館

みどり

SANO BROS.

若松

都

御料理

大黒屋

海運の運命

日本へ

□日の各海運家と運賃



The Japanese Times

紐育新報

山東問題評論

東京各新聞社員同盟罷業

山東省の日支交渉を開始

プリス將軍の抗議は事實

石井子秘密條約を語らず

大總統單獨講和を告示す

富豪カーネギー翁の逝去

英國皇太子無事に御到着

英國の革命陰謀書類發見

日獨同盟對支壓迫を否定

最新故國電報

紐育市の生活難

本紙の面目大改良に就て

日より紙面を大改良し……来る九月二

紐育新報社

伯剌西爾移民は前途有望

◇同地に於ける邦人の現状

外米輸入数量

欧洲大戦争



旅にありて



流葉

カーネギ井氏評傳

食料品商・警告

不良少年の群



國語講明無訪

村井人本日 內務話

升疑慣論進行

◻四國の近氏の命運

◆紐育の近況◆

The Japanese Times

紐育新報

風紀と德操

砲兵工廠職工增給要求

▽門倚、新營、新宿等一万名を出す

コルチヤツク援助を拒絶

前海相齋藤實男朝鮮總督

加藤恒忠氏西比利亞大使

新聞職工の同盟罷業終結

平和會議眞相公開されん

墨西古政府に警告を發す

現政府の對物價調節施設

ランシング石井協約の正體

捕虜を送還

賠償金六仙

軍器を輸出

英大使任命

本紙を一面大改良に就て

紐育新報社

來る九月二日より……

出國者徴税と同胞との關係（二）

□日米の貿易額

□正金銀行在紐支店

□本年の棉花收穫



紐育價證券

開業御挨拶

電話ライアン……

セールスマン入用

診察

高見豐彦

小泉榮吉

カーネギー氏評傳（二）

▽…………
▽………

病氣と食事

NEW PERFECTION OIL COOK STOVES



うまい御料理に

音樂教授





眼鏡師



F. L. FREDERICS Co.

職工入用

日本訪問團員募集

鹿島丸

二十名

八月廿一日

日本人

T. Kikuchi Studio

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

市中案内

●醬油新着荷

村瀬商會

一力

新開業



印度料理

齒科醫開業

TAIYO

太陽旅館

水月堂

相生旅館

大中中寺支部

謹告

岡田旅館

おかめ

神田川

河添旅館

Kawazoe Hotel

Chikuma

東洋館

Midori

みどり

SANO BROS.

139 W. 12. St

N. Y. C.

若松

御料理 都

Phone Columbus

御料理 大黒屋

論説

幣原氏大使就任

□……

□米國兵士より強奪せんとし

料理人入用

The Japanese Times

紐育新報

議業と市政

新移民法案を議會に提出

原首相山東省問題を說く

▽還附期の聲明は支那の誠意に待つ

西藏自治問題無事に解決

米墨の國交は危機に迫る

英國首相內政問題で演說

特使顧問ミラードの陳述

英國の秘密外交に憤慨す

物價騰貴と司法省の活動

英公使退去

米上院人會

支那の虎疫

勞動婦人會

◆國際外交の裏面◆

ランシング石井協約の正體［中］

▽協約は山東問題の解決に無關係

支那政府評

本紙々面大改良に就て

一日より ……… 來る九月二日 ………

大正九年八月 ……

紐育新報社

出國移民數と入國移民數

□入國者と二元の統

□移民と人種と新聞

開業御挨拶

光の誇

カーネギー氏評傳（二）

ストライキ

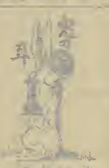


紐育新報

通貨の收縮と政府の施設

秋季活動希望

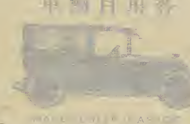
山東問題說明



謹告

貸間

中鍋月用客



移轉廣告

海員御下宿　中島實

ニューヨーク、ブルツクリン、リー街三十二番

The Japanese Times

紐育新報

移民法案論出

米社東京特電

クレマンソー渡日

九洲帝國の暴風雨被害拡大

樞密院文武併用を可決承認

王揖唐北京内閣を組織の報

小國代表員の意見を聽取

邦人輕對入國禁止案提出

大統領單獨講和を拒絶す

支那政府談判に從事せず

米國は某政府の提議無視

オムスク政府の退却準備

司令官任命

憲法不違反

記者の提案

邦際の陳腐

歸還を請願

軍用船遭難

◆新式外交の標本◆

ランシング石井協約の正體

紐育新報

本紙の一面大改良に就て

大正六年九月四日

來る九月三日より

紐育新報社

◇ 日本二十年間における ◇

出國移民數と入國移民數

▽布哇在留邦人の出産率

角園の隅より

音樂敎授

謹告

實用

KU-EKI SAA

代理業

開業御挨拶



カーチス氏評傳（四）



同遊會の歌

露支國交の回復不可能

▽日支人間の空氣險惡

滯歐雜話

▽巴里の大使館

日米海底電信

□日本海運の打撃

□政黨の一行各地遊説

The Japanese Times

紐育新報

新政黨の組織

本社東京特電
九月十六日午前十時接手

朝鮮總督の統卒權を廢止し 道長官を知事とし改革斷行

▽臺灣統治政策にも影響せん

駐日支那公使龍敎仁氏任命

東京本所神田兩區虎疫流行

戰後政策の研究改造黨生る

□對支四國借款と內閣の議

□オムスク政府承認と態度

□滿蒙派干涉

□ア氏の再起

□巴爾幹不穩

□罷業者暴動

□支那人喜ぶ

□遠征軍撤退

□印度の危機

□大統領哀訴

□米艦隊渡日

□上院外交委員會山東干涉

▽世界平和の危險と米國の孤立

□陸運を

□日本の對支投資額

□對支國際借款成行

太平洋横断飛行規定發表

角田の開…

泥工…五萬

都市の競…



謹告

せたあく

音樂教授



開業御挨拶

カーチキ井氏評傳

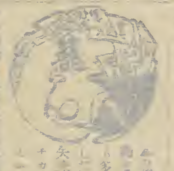
▽…

▽…

湖魚の抗議

（夜中にサンフランシスコ…）

最大のチーズ



在米日本人の…問題に就て

論壇

小澤歸化事件

□山田博士の講演會

□西田氏…



The Japanese Times

米國勞働祭日

講和特使安着

廿二日熱田丸にて神戸へ

本社東京特電

舊鷹島藩主淺野長勲侯長逝

山縣有朋公腦充血にて倒る

海外輸建物燒失し損害莫大

福岡縣下の虎疫猖獗を極む

ヒンデンベルグを選擧す

平和會議出張費百五十萬

第二の關東事件出現せん

南亞弗利加聯邦首相逝去

過激派宣傳

日米密約說

觀艦式一日

獨逸新大使

遺產二千萬

大統領遊說

從業者警告



講和談判秘史

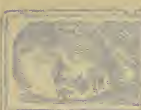
（一）

駐支公使ラインシュ博士辭職

渦魚の抗議（下）

角園の隅より







巴里の美術家生活夜話

岡田三郎

奇抜な贈品



◇趣味と實益 新進名士と其の面影◇

◆革命戰の英雄◆

◉五十年の樂しみ◉

五來素川君と語る

米國綿作有望



謹告

村瀨商會

謹告

緊急人用

The Japanese Times

紐育新報

觀支映日奈何

本社東京特電

貴族院議員柴田家門氏逝く

造兵場の職工六千同盟罷業

暴騰せし米價漸く下落の兆

代議士小山松壽氏遂に永眠

原首相條約審査委員會總裁

日本の對支野心說を否定

▽支那の

對墺平和條約を交附せん

勞働對資本家協調會開催

伯林國民大會帝制を要求

ブラム氏のネルソン攻撃

社會黨の大統領候補未定

又々白人暴徒黑人を襲撃



講和談判秘史

任命未だし

植民地處分

同盟說否定

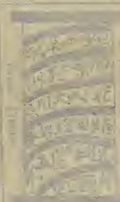
紐育新報

桃園は東洋の對勢力也

憲政擁護會總會

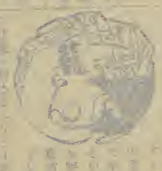
新 藥 録





◇料理人のボート遭傷事件◇

◇下院比一覧◇



◇新聞社員総工◇

紐育新報

日米提携必要

□日本銀行の財界

□横濱南米航路開始

國寳人

小川俊三郎

急告

講演會

寫真修業生

植字工求む

新報社

The Japanese Times

紐育新報

本社東京特電

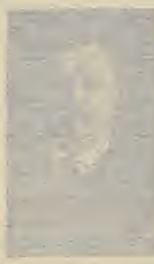
西比利亜遠征軍總司令官大谷喜久藏大將教育總監任命

造兵職工同盟罷業形勢不穩

牧野伸顯男十一日到着豫定

西園寺侯歡迎群集投石す

佛國々際聯盟協會の反對



講和談判秘史

ウヰルソン氏主張の遊說

朝鮮人議會を開かしめよ

條約改訂及保留條項發表

英國謝罪す

過激派承認

◆…………

豫定の事實なるに不拘

▽……………
▽……………

遊藝能工畔流

病葉錄

謹告

村瀨商會

謹告

日本倉料品商會

職工入用

▽求む職業の新人物

精神に異常を呈せしか

拘禁會館景氣



堅忍して努力扶植を望む

貝釦關稅激騰

徴稅免除運動

臺灣銀行總會

開業御披露

松風軒

急告

商家の命書練習生

音樂教授

貸室

寄書

求職

小川俊三郎

The Japanese Times
紐育新報

唯我獨尊の米人

本社東京特電

埴原政務局長は外務次官に 參事官芳澤謙吉氏後を襲ふ

グリーン英國大使辭職せん

造兵局職工無條件で復業

森村市左衛門男逝去す

山東問題評

勞働者四萬

英兵士殺害

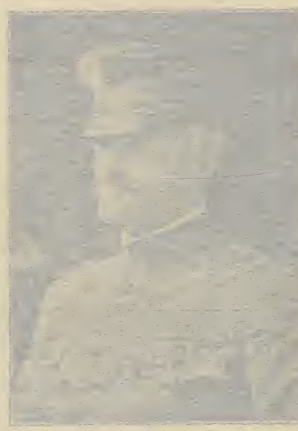
都督を告發

會議開催期

後藤男語る

反對演説會

故ローズベルト氏の手帳



西伯利增兵

【東京八日發】

親獨を説く

旗艦の椿事

名海將逝く

獨首相來米

白國王來米

調印と決定

一場の狂言

修正案討論

隠忍して努力秩序で…

—山田…

労働問題の聲

鈴木夫妻負傷

市俄古大學へ

舞踏教授

急告

在留日本人



Shubert Theatre

Gallo English Opera Co.



歸く月桂冠は

遣佛米將軍は

開業御挨拶

舞踊會の繪プログラム

[illegible]

社説

總領事の責任如何

[illegible]

小澤歸化問題

[illegible]

シルク鐵道便

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

婦人活動歓迎

パーシング將軍の謝電

▽本社主催……に對し

本社東京特電

九月十二日午前九時發 古屋特派員

東京主催西園寺侯歓迎午餐

勅選議員鎌田榮吉氏の渡米

憲兵局は不穏言論者告發

墺太利平和條約に調印す

大商議長語り犬養氏答ふ

青島還附に條件を附せず

ボストン市の暴動益擴大

學生勞働策

新艦隊編成

文明の罪惡

批准を強要

太平洋横斷

一日六時間

將來を恐る

勞資協調會

民主黨報告

フユメ事件

撤兵をせず

國際聯盟日

◇日露戰爭後日譚◇

故ローズベルト氏の手帳

米國の戰後經濟策

西比利亞撤兵

▽米國の出兵…

民主詩人逝く

新たなる…

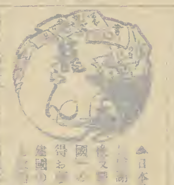
急告

日本人

成長せる常磐將軍

初舞臺の下澄壇

同胞密航發覺



時報

舟遊會の注意

後藤男の着紐

芝川商店移轉

第二回理事會

無警察のボ市

音樂師

植字工求む

開業御披露

新報社

音樂教授

松風軒

急告

小川俊三郎

謹告

告示

紐育日本人會

尋ね人

The Japanese Times

紐育新報

森村翁の長逝

文豪ダンヌンチオ單身二千六百の兵を率ひて進擊す

ウヰルソン氏加州に赴く

墨西古灣に大暴風雨起る

青島還附期日發表強要說

四國借款に關して通牒す

市俄古鐵工場職工の罷業

ボストンの騷擾稍鎭靜す

京城の人心不安警官增派

鑛山鐵道從業者同盟せん

◇上院記事◇

故ローズベルト氏の手帳 【六】

領土で償還

獨陸海司令

移民を禁ず

紐約市右衛門羽の長逝

幣原駐米大使任命公報

寶氏適任だ

山東勤務案

科學萬能論

辻 春山

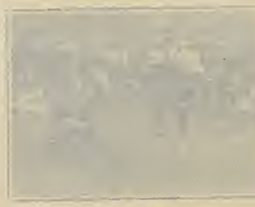
コロンビア

日會の遊船秋江に浮ぶ

▼日本人もいて一斉にいたった

▼紐育（ニューヨーク）在留の邦人…





仙骨俗腸

社説

貿易會の修正

森村翁追悼會

流動資産価値上

英語教授

音樂教授

音樂師

大中商會

装飾家を望む

森村市左衛門

尋人

The Japanese Times

紐育新報

自紙黨の政綱

本社東京特電

大元帥御統監の海軍大演習

十一月十日を期し目下海に於て施行 月十五日に大觀艦式挙行さるべし

海外駐在公使人事更迭の發表

▽諸井六郎氏…

安部幸兵衛氏逝去百萬寄附

幣原新任大使は赴任を急く

牧野伸顯男十二日神戸安着

瀬戸一高長辭し菊地氏新任

米國政府山東省還附干涉說

朝鮮總督暗殺陰謀者を告發

ウヰルソン氏山東處決辯護



◇日露戰の後日譚◇ 故ローズベルト氏の手帳 (一)

▽十有余年の謎…

國有と撫柩

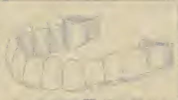
フユメ問題

鐵工場罷業

堅牢なる堅覆後のボストン市

科學萬能論

二個月越慕戰



新報社

小波動いて大波を生む

五一會に立退
▽の命令下る

日本を代表し

日本婦人美を

和歌か狂歌か

急告

日米新海運策

邦人銀行參加

□本社員の……

□交換船……

□故郷……

日本米大安賣

桑山商店

大中國樓

音樂師

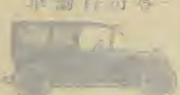
尋ね人

音樂教授

英語教授

保子貨店商會

寄司行動車



Tei Academy 283

市中案內

化粧品卸賣　五味商會

婦人英語教授

Do You Speak English?

T. KASAI

笠井洋服店



丸山洋服店

K. MARUYAMA



飾箱

松風軒

開業御披露

日本　商會



PHELPS & PERRY

最新意匠　寶石類

CALDWELL & CO.

物送貨　徐州方法



眼鏡師

MORIMURA BROS.

NEW YORK CITY

森村ブラザース

I. Sekine Company, Inc.

Sekine Trading Company

一般輸出入及代理賣買業

關根商會

MM

日本陶器雜貨

茂木桃井組

TAIYO TRADING CO., INC.

太洋貿易株式會社

SUMITOMO BANK, LTD.

NEW YORK AGENCY

住友銀行紐育出張所

The Yokohama Specie Bank, Ltd.

横濱正金銀行紐育支店

The Bank of Taiwan, Ltd.

臺灣銀行紐育出張所

Nippon Yusen Kaisha

The Japanese Times

國難大彌し

本社東京特電

樞密院本月十二日條約審査を開始特別委員八名を任命

過激派軍襲ひ死傷者八十名

鐵道院標準專賣造兵局增縮

佐原正直氏外務次官に任命

國際勞働會議代表者決定す

新渡戸博士國際聯盟副書記

石井前大使外務省臨時囑托

白耳義と和蘭の外交斷絕

英國波斯を支配せんとす

テキシ公使北京出發

詩人飛行家軍隊と激鬪す

支那内閣又復紛爭を起す

民主黨七議員の條正投票

聯合軍フユメ干涉を決定

前獨帝の審理を要求せん

◇日露戰爭前日譚◇

故ローズベルト氏の手帳

國議を開く

支那顧問か

捕船者後察

紐育新報

流星の如く米国へ請願に

(本文不鮮明)

聯盟苦情委員

(本文不鮮明)

□工会議所

□日本美術

在紐育同胞婦人の責任觀

（ロゴスへ）

和歌か狂歌か

後藤新平男の時局雜話（上）

▽……の……は……
▽……

英語無料授業

日本人學生誌

僞造廿弗紙幣

商船の新運賃

日本米大安賣

桑山商店

大中國樓

藥舖

尋人

The Japanese Times

紐育新報

對獨條約批准

本社東京特電

憲政會は外交内政兩問題で提げて次期議會に肉薄せん

幣原新駐米大使十二日出發

米價益々昂騰し當局者苦心

山東還附は談判後に決定

過激派首相と二々聯絡説

大統領病みて遊説を中止

ロイドジョージ内閣改造

米國々務省英國に質問

ジョンソン氏再び遊説す

下院移民調査委員會再開

フユメ問題險悪伊帝譲位

◇日露戰爭秘史◇

故ローズベルト氏の手帳 （九）

急告

告示

西比利亞特派委員より朱輸

▽日本の可否は何を以て之を決するか

◆天晴れ外交官

米人の獨局說

上海出荷激減

外債償還之額

交換船の進水

三菱立小包擴大

鐵材先高見越

臺灣米の輸送

邦人の立行

トラホームで

音楽教授

英語教授

保子貴金属商會

洋食店

紐育新報

後藤新平男の時局縱談【下】

▽丁未出の立場は二十年前と下

▽日本の眞の主張は親子の情で

人口調査事業

夜學無料教授

近藤男の招宴

□田中領事…

□近藤男の…

□領事の…

我同胞に安全で有利な放資の要

日本米大安賣

桑山商店

大中國樓

音樂師

尋人

寶室

松風軒

開業御披露

市中案内



Tel. Academy 283

化粧品卸賣 五味商會

婦人英語教授

Do You Speak English?

笠井洋服店

T. KASAI

丸山洋服店





箱師

眼鏡師



Kinoshita Studio

日本ドライグーヅ商會

PHELPS & PERRY

最新意匠 寶石類

CALDWELL & CO.

輸出方法 鐵道貨物運賃

MORIMURA BROS.

森村ブラザース

Sekine Company, Inc.

Sekine Trading Company

關根商會

一般輸出入代理賣買業

日本陶器雜貨

茂木桃井組

TAIYO TRADING CO., INC.

太洋貿易株式會社

SUMITOMO BANK LTD.

NEW YORK AGENCY

住友銀行紐育出張所

The Yokohama Specie Bank, Ltd.

橫濱正金銀行紐育支店

The Bank of Taiwan, Ltd.

臺灣銀行紐育出張所

Nippon Yusen Kaisha

The Japanese Times

秋風部門に入る

本社東京特電

勞働組合及び普通選擧法案 政府側より次期議會に提出

▽法科大學教授に野村吉三郎博士任命

本田博士辭し高野博士任命

牧野仲顯男參内時局を奏上

原首相主催歡迎午餐會開催

コレラ病は漸く下火となる

加藤高明子現内閣を攻撃

山東の國際管理を主張す

次期選擧と聯盟問題論議

米兵のトラック上陸と議會

伊太利議會遂に解散布告

オマハの暴徒裁判所燒打

東京日米協會主催午餐會

英國産業界の一大危機

大統領

商務卿聲明

飛行機利用

民族自決

資本家勝利

紐育新報

米國産業大會議の爭點は(上)

▽資本の勞働運動對抗、權利
▽代表の數の不公平

朝鮮の陰謀團

國際勞動會議

▽條約批准で行惱

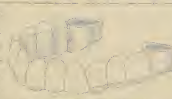
● 米國へは伏見丸で渡米



紐育新報社

齒科治療

總領事館



ブルメーと白耳義皇帝

紐育料理屋話【一】

市長と私刑に

秋の夜など



觀光團の出發

伊藤氏と新劇

近藤男歡迎會

海展博の延期

解銀支店開業

□マリア

□日米

日本米大安賣

貸室

桑山商店

開業御披露

雜煮、汁粉

松風軒

壽 人

The Japanese Times

紐育新報

改造運動の開始

◆アルバート陛下御着米◆

▽ホオトドリフマストーリア…

…アルバート陛下、エリザベス皇后、…皇太子殿下人… 御一行は豫定の如く二日午前…紐育…分… 國務卿…大統領代理ロンシング國務卿代理ロング書記官其他の御出迎を受けさせられ… 一日午後…上三日午前紐育市…歡迎を受けさせられ… 後ウキルソン大統領の病氣全快を…

本社東京特電

十月三日午後…特派員…

人心安定せず

◆剌士續々入り當局警戒嚴重

東洋汽船會社株一割方下落

大谷喜久藏大將參內し上奏

海軍飛行隊の呉堺間大飛行

□大統領病勢思はしからず

□小銃を輸送せずと通告す

□佛國議會平和條約を批准

□英國の同盟罷工近く解決

□アーカンサウの人種戰爭

□對獨經濟封鎖を斷行せん

□世界の運命は米國に在り

□チエコスロバックの要求

□ダンヌンチオに同情寄る

□注目すべき對亞細亞貿易

▽米國の對亞細亞貿易五億は日本より

□歸參兵中止

□軍制を改革

□勞働投票權

□食料法通過

□火山活動す

米國産業大會議の爭點は（一）

▽勞資の調和は更に遠ざかる

▽必然の勢に依つて

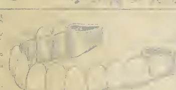
經濟界狀態（一）

朝鮮騒擾觀

▽若杉博士の談話



折りにふれて



西比利亞遠征軍の内輪喧嘩

野球界緊張す

料理屋競（二）



御手柔かに

◆本邦と當國の◆

❖ 日本側の要求 ❖

要求すれば資本家側は消費者に…

者も欲しく無いものに價格を要求する…

▼ハルセ、キーム に向つて…

經育教育近況

鋼鐵能業陳影

送別會

移轉

尋人

大中國樓

松風軒

開業御披露

煎餅卸賣並に雜貨店

音樂師

The Japanese Times

本社東京特電

久原鑛業社員二名朝鮮平安北道に於て暴徒の爲め撲殺

大隈侯は政界を退きて靜養

川崎造船所八時間制を適用

松方幸次郎氏國際汽船就職

大統領は漸次快方に赴く

資本勞働協調會開催

ケーリー市に戒嚴令發布

山東省問題は本曜日投票

伊太利皇帝條約を御批准

白人虐殺の陰謀を自白す

ガバラトの米艦隊退去す

巴里の外交界色めく

殿下十一月

罷業者暴動

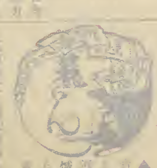
米は下院維新の議長か

經濟界狀態

觀光團の出發

庭球對抗試合

料理屋蕨 (三)



食料室代改定

求職

住宅譲渡

譲渡

在米日本人

保子貴金屬商會

婦人英語教授

英語教授

排日問題は

一青 鈴木大曉 政 成

宿屋組合總會

▽二日夜の協議

江商の晩餐會

收稅更署開設

頌育新報

赤十字運動

三井八郎次郎男爵一日逝去

上院議員等を暗殺せんとす

▽ヒソノーーヲ

米軍を撤兵せんと通告す

大井忠元中将新命令發布

クレーブス将軍の提言說

タンヌンチオ氏の暗殺說

英駐支公使香港にて語る

紐育桑港間大飛行の開始

山東問題井に議會の論議

愛蘭土自治に調査を開く

伯林ストックホルム飛行

英國皇帝は條約に御調印

人道の爲に正義の爲めに

禁酒強調案

首相撿擧說

砂糖管理案

米政府否定

英米に王政維新の隆盛か

[illegible]

産業改造の巻

[illegible]

御禮廣告

[illegible]



隠忍沈黙の傀儡となった

紐育で生る

赤軍優勝す

楽な料理法

NEW PERFECTION

OIL COOK STOVES





紐 育 新 報

論 朝 報 讀

日銀利子引上

▽財界に異常の大衝動

講 演 會

口日加 四郡氏歸國

The Japanese Times

紐育新報

共和黨の作戰（上）

本社東京特電

貴族院物價騰貴に關し警告

來年度郵稅値上げを考究中

目下考究中なり

大阪造兵局の罷業運動解決

大阪砲兵工廠の職工一部は増給を要

陛下大統領の容態御憂慮



菅原傳氏宮城縣代議士當選

宮城縣下の補欠選舉に於て政友會の菅原傳氏多數にて當選したり

青森中學校生徒ストライキ

青森中學校生徒は同校の今回授業料の値上げを斷行したるを不當なりとし

米國の警告に日本朝野騷ぐ

升本宇平氏の任命に反對す

ゲーリー罷業者暴動陰謀

▽本月六日の爆彈事件犯罪發覺

米國に增兵を請願せんと

【オムスク十一日發】

國務省の横暴なりと痛擊

【華府十一日發】共和黨上院議員ポインデキスター氏は本日の議會に於て

モーゼス議員事實を語る

大統領の病勢は漸次快方に赴き

聯合艦隊リガ沖に砲戰す

【コペンハーゲン十二日發】

ノリス議員再び山東攻擊

ダンヌンチオ米國を攻擊

【ローマ十三日發】

迷雲深し首都の今日此頃

▽大統領病勢險惡說

◆茲當分

◆大統領の要備

リガの形勢

▽獨逸の次の一策

【倫敦十一日發】

佛上院批准

【巴里十一日發】佛國上院は二百十七票の滿場一致を以て對獨平和條約を批准

條約を二百十八票に

露都の革命

【コペンハーゲン十一日發】

米代表沈默

【華府十一日發】

産業改造の巷より

飛行競爭終了

市吐腐敗問題

禁酒強制成行

病院苦吟

御禮廣告

日本人會

本社東京特電

本年度米作六千百万石に達す

[illegible]

升本宇平氏勞働代表と決定

[illegible]

神近市子十月三日に出獄す

[illegible]

大藏省下級官吏增給を請願

[illegible]

三井八郎次郎男爵一日逝去

[illegible]

武藤氏、婦人顧問を帶同す

[illegible]

鎌田榮吉氏婦人顧問を選定

[illegible]

西園寺牧野兩全權の御陪食

[illegible]

東洋汽船五千萬增資斷行說

[illegible]

振つた請願

[illegible]

千弗の保證

[illegible]

さうかい

[illegible]

忠臣藏の上演

綿花業者大會

夜學無料教授

□武藤氏 行の消息

●日本綿業俱樂部

●住所變更

農園賣却

御暇乞

□支那人來襲

永眠 鈴木孫七儀

大正八年十一月十四日

The Japanese Times

紐育新報

共和黨の作戰

本社東京特電

立憲政友會本部建物燒失す

外米輸入稅來年度も不徵集

商船學校練習船大成丸到着

齋藤總督暗殺嫌疑者捕縛

各都市の勞働狀態益々不安

山東問題採決

◆五十五票對卅五票の大差

◆ロッジ氏更らに提議せん

過激派露國は經濟的封鎖

オムスク政府承認未だし

中央政府の權力

外人旅券取締令尙ほ一年

佛伊國際聯盟大使の決定

日本山東還附期日聲明說

外相會議と廢して大使會

國際勞働會議と日本

新海軍調査

御訪米中止

宣教師拿へ

前大使陳述

現內閣信任

農業改善の話

中米の政争

日獨貿易要請

羊毛買付要議

米國國會議員の日本觀察

忠臣藏評判記

鈴木長五郎

英語教授

婦人英語教授

音樂教授

讓渡

祝開業報告







演習會の盛況

風間題起る

太洋海運談

□ 人の二十年記念會

□ 日本の新聞の大會

The Japanese Times

紐育新報

排日運動再起

本社東京特電

對獨平和條約近く御批准か

伏見宮博義王御婚儀十二月

前内閣總理大臣寺内伯長逝



米價再び騰貴し取引所閉鎖

浦賀芝浦造船所と八時間制

海軍大演習十一日より擧行

立憲政友會本部再建と決す

文展十月十四日を以て開く

駱駝新大使は十四日に着任

徳川家達公四日支部に出發

神戸市の選擧に國民黨勝つ

船越男内閣反對の聲を擧ぐ

ジョンソン案木曜日採決

鐵工罷業の調訂を拒絕す

伊太利大使セ子リ伯逝去

反過激軍露都を占領せん

西班牙皇帝佛國を御訪問

米國上院最後の政戰

最高幹部會

獨大使問題

アスター氏

王政の望

紐育新報

産業改造の岐路（上）

思つてゐる事

新帰朝者の感想

歯科醫 親切丁寧 マーチン

Mr. C. H. Martin
New York City

歯科醫開業

診察 高見豊彦

診察 小栗栗吉

吉居悦彌

穴戸良一

リヨマチス

診察 橋場嘉之松

村瀬九郎

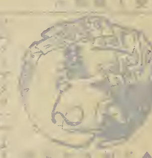
日本人店

歯科醫 シヤピロ

音樂界人物史の怪奇談に就て

忠臣藏拜見（中）

邦人街設立論



信用組合會合

▽紐育に於ける…

□圖博士と…

安氏記念晩餐會

急告

The Japanese Times

讀賣新報

所謂保留條項

本社東京特電

柴大將東軍と秋山大將西軍

▽陸軍特別大演習の…



新年御題「田家の梅」

宮中顧問官北條子爵逝去す

熊本縣婦人巡査を採用せん

出羽の海一行來年六月渡米

産業改造大會遂に解散す

バグダッド通商條約締結

夏期日光利用法廢止命令

過激派平和議判を提唱か

ジョーンス案は遂に否決

英國内閣再び危機に瀕す

鐵道運賃一割五分値上げ

外交委員會と批准條件

西哀の要求

大統領快方

管理に反對

委員會開催

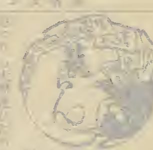
蔗蕃談苑の巻

巴里平和會議と國際勞働關係



遺営 殺傷と日本人大缺點

忠臣蔵拝見





婦人英語教授

歯科医ドクトル シヤセロ

大會組織發表

兩教會の總會

口尼國際聯盟の會議

急告

日本人家庭

求職

高等婦人帽子

音樂師

英語教授

よし旅館御料理

尋人

The Japanese Times

日刊新報

本社東京特電

日英同盟の再締審査終了す

▽…同盟は継續し…發表せず

オムスク政府は増兵を要求



寺内正毅伯は依然危篤継續

米價日々暴落を國市民喜ぶ

佛國官憲上海鮮人退去命令

聯合總對獨平和條約協賛

▽陸下…

石炭1大幾同盟罷業準備

ジョンソン修正案敗北す

幣原喜重郎大使桑港上陸

寺内正毅伯の逝去は誤報

首都華盛頓を中心として

禁酒案是非

暴動又起る

英國に抗議

紐育新報

産業改造の基より

日本下の啓上

故奥氏を憶ひ



詩

Lady's Oberlin Shoes

舞踊教授

税關事務

税關取扱

齒科醫

アビセロ

婦人英語教授

婦人

青年入用

TOYO KISEN KAISHA

東洋汽船株式會社

Nippon Yusen Kaisha

New York Office

Seattle Office

宍戸良一

吉居俊瀬

診察 小栗兼吉

診察 高見嘉彦

マーチン

齒科醫 親切丁寧

齒科醫開業

村瀬九郎

診察 橋場嘉之松

P. S. ENDO

職業仲介

職業周旋

職業周旋

キガハ繪所名 Post Card Store

SEGAWA

瀨川事務所

日米通商社

Foxland Downs Poultry Farm

野菜

S. Kuwayama

食料品種々到着

桑山商店

豆腐

雑誌

紐育産業商會

日本食料品商會

チェース ナショナル 銀行

寫眞家の寄合所

メーシー

R. H. Macy & Co.



花松茶屋の御主人から

聖路易市にて



勞働委員會議

勞働研究會合

東京海上發展

告示

日本ガーデン

英語教授

音樂師

高等婦人帽子

旅館御料理

The Japanese Times

紐育新報

幣原大使着任

本社東京特電

台灣總督明石中將遂に永眠

海軍機動演習の盛觀と慘劇

▽日向の砲塔爆發し 二十七名の死傷

本社華府特電

日本代表委員連の秘密會議

幣原大使は土曜日午後着華

兵力を以て工夫罷業制壓

大統領輕快

船舶停滯す

ハースト氏は豫言者なりと

頼らしき哲學趣味に就て

協調會と資金

米國中文發展



結婚法律はなくて贈與は公許

田村生



在米邦人と徴兵

輕銀業素計畫

禁酒法の勵行

天長節祝賀會

資本主を求む

英佛語教授

理髪床

日本ガーデン

The Japanese Times

紐育新報

炭坑の大罷業

本社華府特電

十一月四日午後二時接手 不破休戰

升本資格問題一段落を告ぐ

淸浦子爵平和使節を非難す

民主共和両黨の決戰切迫す

英國労働黨地方選擧に大勝

當局之聲明

國務卿訪問

産業再會議

葡牙利激昂

産業革命と過激派暗中飛躍

日本政黨の現狀に[illegible]

[illegible]

青島の價値

[illegible]

聖壽の萬歳を叫ぶ大長節



天長節祝賀會參集者

コーンベルトより一筆啓上

Do You Speak English?

朝鮮山に見学

斐氏紀念運動

太西洋市通信

朝鮮銀行開業

茂木商店饗宴

The Japanese Times

本社東京特電

外務省に爆弾装置数名負傷

淺野造船所の就働員罷業す

前建長寺管長釋宗演師入定

海軍八年計畫豫算十七億圓

臺灣駐屯軍司令官に柴中將

田健次郎男臺灣總督に新任

明石大將の遺骸臺灣に護送

平山成信氏樞密顧問に新任

國際勞働四十八時間問題討議

▽

▽

獨逸議會審問

タマニイ大敗

排斥の建議案

産業革命と過激派暗中飛躍 (二)

▽

▽

紐育新報

商船遭難者を救護した赤十字

▽ホノルル沖の大汽船と平和丸事件

輕油節約發明

クーリッヂ氏

▽臨時議會に…
▽入場税撤廢と…

▲りなぎわ▼





謹告

紐育日本人教會

英語教授

舞踏教授

尋ね人

船具商 R. S. ENDO

ふじ旅館御料理

海員御下宿 中島實

高等婦人帽子

都



黄眼東の先生

蓄音器翁消息

税關取扱

プロパガンダ

アピセロ

Do You Speak English?

貸室



協議委員會合

米亞婦人接近

蹴球秋季大會

葵氏紀念會事業其後の經過

The Japanese Times

紐育新報

移民結婚問題

本社東京特電

ポルセウイキ黑龍江線襲擊

寺内伯葬儀增上寺にて執行

貴衆兩院議員年俸五割增額

本社華府特電

國際勞働會議論戰漸く熾也

借欵問題と日米關係の將來

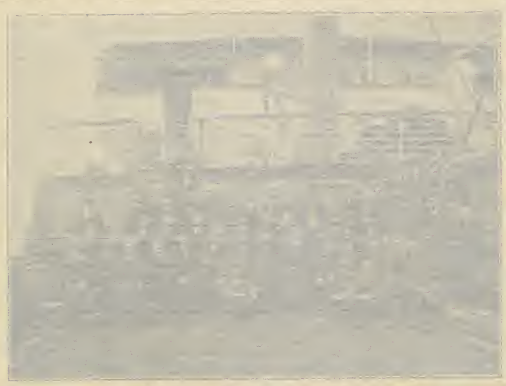
米國の對支那單獨借欵行悩

大統領候補

船艦の塲決

新戰艦進水

日本勞働使節一行側面觀



紐育新報

在米同胞の勢力が必要だ

物價調節問題

貴族院の形勢

延囲徴税計畫





霜夜の街頭に深み

▽経営の方針と其式の成功

▽ナポリタンの経営と其の成功

黒船翁の逝去

▽チーラントにて



紐育料理屋談

譲受廣告

税關取扱

魚介類一切

アビセロ

Do You Speak English?

よし旅館御料理

賭博廢止運動
△昨日評議員會に於て
△具體化の協議決定

日本協會今台

人口調査終了

婦人中心大會

The Japanese Times

紐育新報

時事

英皇儲來遊

[illegible]

批准期接近

[illegible]

佛國總選擧

[illegible]

本社東京特電 十一月二十八日午後九時發 翌午前三時着

政友會本部放火犯人召喚

[illegible]

憲政會政府彈劾案を決議す

[illegible]

日本大使はオムスクに滯在

[illegible]

日本郵船の利益配當は十割

[illegible]

東京電車運轉手車掌の罷業

[illegible]

兩院議員召集十二月廿四日

[illegible]

炭坑夫賃銀調節會議の經過

▽如何に政府の政策に對し攻撃す

[illegible]

鐵道案を否認

[illegible]

駒烟前途悲觀

[illegible]

伊政府の決意

[illegible]

白稱大使審問

[illegible]

グラス氏轉補

[illegible]

國際勞働會議の前途

△委員會乃能主義を打揮して進行か

[illegible]

△勞働派 [illegible]

△八時間制問題 [illegible]

紐育新報

學者居士の警世的危言

▽日本の禍は組織ぢやない禍は…
▽…

全科輸出好望

婦寸合同至難

詩



大坂朝日に送る

紐育月見

憂ひ夜の月を眺めて…慈然

有紐 料理屋競（下）



□代表子

新日本の傾向

▽日本協會の講演會

▽ホワイト氏の講演

棉花相場低落

第五回理事會

▽協賛會の諸報告

白井千代儀

大正八年十月

The Japanese Times

紐育新報

第一回婦人中心大會に就て

本社東京特電

コルチヤク政府避難移動

横濱市電車従業員同盟罷業

西園寺侯京都に歸省し静養

山田憲兵犯者二名を自白す

人妻殺し桑原子爵邸逐に就縛

本社東京特電

豫算一億一千六百萬圓増加

郵船配當金千八百六十萬圓

遞信省の新航路補助額激増

本年度の米收穫は頗る好況

物價調節に綿糸輸出を制限

本社華府特電

資本家側代表武藤氏の傲語

過激派追放案

華府上院平和條約批准否決

予夫の關係ある故千塚國一君

▽[illegible]

▽[illegible]



[illegible]

日本勞働使節一行側面觀（三）

[illegible]

日曜學校大會

[illegible]

愛國者諸氏なる君へ

[illegible]



太陽が役した國の……皇太子殿下は

巴里から歸[illegible]





醫師課稅に對する新規定

□中品商會の近況

婦人大會準備

倶樂部最近事

満洲會

紐育日本人會

The Japanese Times

日米新報

大統領候補難

▽候氏の最後的決定

本社東京特電

日支兩政府青島問題を協定

高田聯隊はシベリアに出動

韓人親兄弟の緊急動令發布

山田憲等死刑の宣告を受く

シベリア増兵と日米

増兵説

日本は西比利亞に増兵せむ

米兵増派は全然不可能なり

西比利亞問題と日米の協調

石井子と福田博士の演説

外相稍任説と居留地問題

▽内田子と交代は伊集院氏ならむ

日本は急激の進歩也

獨逸最近形勢

金物依然強含

露京銀行發展

巴里から啓上

戦争の大損害

▽二千二百十七億弗

▽死者約千二百萬人

不心得な同胞



人種問題の歴史的觀察

櫻井博士歸朝

日銀利子引上

米原婦人協會

家庭を求む

追悼會

故手塚國一氏

紐育日本人教會

店員入用

The Japanese Times

紐育新報

抗夫賃銀問題

本社華府特電

感謝祭に労働時間問題討議

伊太利國王の讓位希望風說

將來發明…受刑

利子支拂延期

虎首相の聲言

前大使と殺人

獨逸前首相の難關

獨逸氏攻擊

紐育新報

支人の関係から彼等を國へ君

露紙問題解決

石炭界奇現象

三井定航開始

アイオワ便り



婦人中心大會

日光



料理屋の…

婦人後援問題

医師…百頃々



酒風屋に注意

○婦人中心大會順序の發表

沙市斯勃倉庫

信用組合協議

The Japanese Times

教育新報

海軍過渡問題

本社東京特電

過激派に對し内閣々議開催

阿蘇山の噴火熊本市に降灰

外交調査委員會増兵を請求

鑛山坑夫罷業し増給を要求

足尾銅山の坑夫小屋燒盡す

陸海軍中將七名大將に昇進

對現内閣の彈劾政談演說會

爆彈投下嫌疑支那人の捕縛

米價の危機漸く迫らんとす

米州歳入政府預管は五十億

不正選擧事件

子爵夫人就任

石炭節約問題

節約獎勵

世界戰に於ける日本の功績

航空局の新設

米國染料產額

海陸軍發會式

燐寸輸出旺盛

鐵業消化懸念

日銀貨出增加

赤い夜

欧洲の…秋雨の

勞働問題の前途



日本人は芸術的国民となるか

[illegible]

東洋美術講演

[illegible]

高商秋季例会

[illegible]

The Japanese Times

大戦術の教訓（上）

本社東京特電

海軍高級武官の昇任及移動

政友會本部放火犯人自白す

政府は輸入外米販賣を開始

對露問題折衝の將來如何

福州事件と北京政府要求

獨逸の態度と條約議定書

ウ將軍の讓選

坑夫處罰實行

世界戰に於ける日本の功蹟（一）

監督吏の免職

紐育新報

獨逸前首相の新聞記者攻撃

殺人の賞金

開業會社内容

砂糖減收豫想

陸軍新事業費

獨逸染業合同

口 「百餘名の日米人親睦加己」

鎮にかられて

經青 料理屋覺 (1)





紐育新報

日本倶楽部の

The Japanese Times

本社東京特電

山田憲死刑の宣告に服せず

佐賀市に於ける警官の同盟

山縣老公の上京と政界風雲

日立足尾釜石各鑛山の罷業

本社東京特電

大正九年豫算案内示會決定

朝鮮警備に選抜大隊を派遣

露國過激派首領逐還せらる

米國海軍將校に謁見を賜ふ

炭坑夫同盟罷業漸く終結

鐵道還附延期

國務總理辭職乎

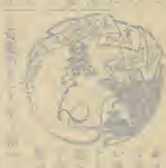
虎首相三國同盟を提唱せん

日本に於ける普選運動の形勢

資本家と勞働に

大審院の判決

亂調子の日本



織田議長歡迎

△三百餘名の參列者

△日本倶樂部の大盛會

婦人會合一束

日曜學事例會

廣告

The Japanese Times

紐育新報

米上院の責任

本社東京特電

大石正巳氏再び政界に現る

大隈侯海員組合會長となる

陸軍幼年學校廢止に決定す

外國船と石炭供給の新方針

後藤男爵支部に漫遊すべし

大審院は戰時禁酒令を是認

獨逸賠償制定

伊國援助せず

民主黨新候補

英兵の印度人虐殺顛末暴露

反英宣言續出

氏不妥協せず

經濟の動揺

日本に於ける普選運動の形勢（下）

日本倶樂部の娛樂經營

▽…………………

同胞より反撥

会社博士講演

貯蓄債券發行

青年會文學會

宿屋組合例會

日本綿花招宴

歳末贈物注意

The Japanese Times

羅府新報

寫眞結婚全廢聲明

本社東京特電

川崎芳太郎氏實業界を隱退

後藤男爵大和新聞を買收す

新日英同盟交渉開始せらる

鐵道院は乘車賃値上を發表

日本は西比利亞を掌握せむ

前首相辭判期

南露妥協否定

獨將波蘭撤退

英首相の外交政策説明演說

頻々として傳はる盗難說

[illegible]

別れ話

バイヲンと猫





外交的政策

[illegible]

福屋組合會合

[illegible]

新人

The Japanese Times

對支借款の成立疑問の日本

憲政會急に選舉法案提出

英印愛國分離ヾ全然否認す

輸入總長物價低落を期待す

鐵道民有復活方針の決定

平和調印迄と

労働組合法と新政法の関係

婦人英語教授

英語教授



丸山洋服店



獨逸に日本課

明年の新計畫設

神秘詩人來る

告示

年の日の午後

The Japanese Times

紐育新報

識者の感

本社東京特電

閑院宮殿下御渡欧決定發表

海軍貸負は下級士官に混し

桑木博士皇族殿下に講義す

拾六の各種勞働組合成立す

西班牙國會赤組黨の光あり

英王の勅諭と印度の自治制

原首相の施政方針宣言發表

南洋群島委任統治權と日本

冷淡政府變之

降誕祭と廢帝

國際聯盟と日本及支那

提督北京滯留

勞働組合法と治安法の關係

製紙原料特集





紐育新報

紐育市場に於ける…

MORIMURA BROS.

森村ブラザース

T. KASAI

CALDWELL & CO.

PHELPS & PERRY

日本郵船株式會社

MM

SUMITOMO BANK, LTD.

住友銀行紐育出張所

The Yokohama Specie Bank, Ltd.

横濱正金銀行紐育支店

The Bank of Taiwan, Ltd.

臺灣銀行紐育出張所

[illegible] entered as second class matter [illegible] Post Office at New York, New York [illegible] the President. A. S. Burleson, Postmaster General.

The Japanese Times

No. [illegible] WEDNESDAY, DECEMBER 31

紐育新報新年號

年頭忙語

新年は[illegible]の進行と共に年々[illegible]々[illegible]す。改[illegible]のことたる、自然界の一回轉を意味するのみ。しかしながら吾人は[illegible]ね、吾人の事業活動の段落をは、自然界の『時』の進行に一致せしめんとす。過去一年を[illegible]して、成功を收め、滿足を感ずる者は、來るべき年は一層の奮闘を覺悟すべし。過去の一年に失敗を重ね、遺憾を感ずる者も來るべき一年の奮闘に依りて、之を恢復せんものと決心すべし。個人も、家族も、國家も、更に人類全體に於ても亦、かゝる人心更新の作用は行はるべ[illegible]。人心の天意と合し、新年の瑞象を祝福するもの、亦意義なしと云ふべからず。

戰後第一の新年を迎へたる昨春の吾人は、戰後の整理と、新文明の建設とを以つて、戰後の第一義的事業なりと力說したり。顧みるに、昨年中世界各國に於て行はれたる、あらゆる國民的運動は、期せずして吾人の提唱に一致したるの觀ありき。然れ共、詳さに其の內容を吟味すれば、徒に其の聲のみ大にして、實果の之に伴はざるの憾みあり。英、佛、獨、露等の國民は、專ら國內的改造に意を注げる如きも、其の幾許の基礎を築けるかは頗る疑問にして、獨露に於ける社會組織變革の事業など單に舊組織を破壞したるのみにして、その幾許の建設をなしたるやは、未だ吾人の知識の範圍外にあり。比較的實力の充實せる米國にありてすら、未だ僅かに其改造方針を模索せんとせるのみにて、何時如何樣に形付くやら、轉た望洋の感なき能はず。吾が日本帝國に於ては、戰後の整理に關しては、他の交戰國のそれに比すべき程のものなきも、物價騰貴に伴ふ國民生活の不安と、社會改造の聲に促がされて起りたる國民思想の動搖とは兩々相俟つて、有識者は如何にして、國家經營の危機を切り拔くべき乎に苦心しつゝあり。

之を要するに『偉大なる黎明』と共に展開されたる戰後の國民的乃至民衆的運動は、不安と激動を全社會に與へたるのみにて、未だ定着の境地に到達せざるは世界を通じて皆然り。然らば、本年は果して如何なる年ぞ。戰後急激に擴大されたる民衆的運動の潮流に棹して之を適當に調節し、堅實なる地步を得せしむるは、方に一九二〇年の負ふ第一義的使命なり。其他列國間の戰時公債償却、物價の調節、產業整理、男女選擧權の擴張等數へ來れば殆ご枚擧に遑なからむ。凡そ戰後のあらゆる事業をして、一層鞏固に一層意義有らしむることは、今後に於ける世界的共通の任務にあらずして何ぞや。

國際會議と世界的人物の養成

法學博士 [illegible]

▼國際間の新趨勢

私は巴里の平和會議から倫敦の國際勞働準備委員會、それから今度の華盛頓に於ける國際勞働會議と都合三ケ所に亘つて國際會議に出席して來た。可成り繁忙な生活を送つて來たが其の間種々の教訓を與へられたことも尠くなかつた。其の中最も顯著なる者は世界的に活動し得る人物の養成といふことが國家にとつて如何に緊要のことであるかといふことである。政治問題にせよ經濟問題にせよ乃至社會問題にせよ凡ての問題が國際的解決を必要とするやうになつたのが近代社會の特徵である。此趨勢に順應し且つ之を利導して行くには何うしても國際的に働き得る人物即ち世界的人物の輩出することが必要となるのである。從來の如き外國語も出來ぬとか日本の問題以外には眼が屆かぬと云ふやうな人物ばかりでは到底此間に處して日本の運命を担つて行くことは出來ないと思はれる。

▼海外留學の奬勵

私は其の半生を殆んご官吏として過ごした。それでも私の關係した商工局などは可成り廣汎な範圍に亘つて關係を有つて居ると思つてゐたが今度國際會議に出席して見ると如何にも其の天地の狹少なりしことを悟つた。之は何うしても外國のことは外國に出て見なければよく解らず、世界の問題は世界の問題として日本を離れて見なければ之を充分理解することは不可能であると思つた。最早小さな天地に屈蹐してゐて官學萬能の風などを吹かせてゐる時代ではない。盛に國外に出でて世界の風に吹かれ自由な空氣を呼吸し宏闊な意氣を養成すべきである。此点より見て育英の事業殊に海外留學生を盛に出すと云ふことは國家經營の根本問題となるのである。

▼國家興替と人物

今後の國際勞働會議に於ても大國の代表者は小弱國の代表者に比して何處となく偉大な所がある。强大國といふ背景をとり去つて個々の人間として比較して見ても確に異ふ点がある。之は何を語るかといへば强大國は偉大なる人物を養成すると云ふことにもなるが又偉大なる人物の活動に依つて國家は隆盛に趨ぐ者であるといふことが解る。一体國家の興替といふことに物資の多少といふことが無論關係して居るけれども然し例へ物資は充分でなくとも若し偉大なる人物が輩出したならば充分之を補充して國家の隆盛を擧げることが出來るのである。

▼海外邦人の責任

更に言語の点より見ても、今度の國際勞働會議に於て日本が言語の不自由を感ずるといふことだけで、ごれ程の不利益を蒙つて[illegible]が解らない。今度は議長が米國のウヰルソン[illegible]からまだよかつたが若し之が歐州の佛蘭西語を使用する國に於て開かれたならば手も足も出なくなるであらう。之に反し佛蘭西系に屬する國民は一層增長して來るに相違ない。此場合に於て英佛語を自由に語り得る者が日本に何人あるであらうか。外務省と雖も人物は拂底であると思ふ。人物の拔擢を論ずる上に於て比較的輕視されてゐる語學の点に於ても尚且つ然りである。況して其の思想智識見の点に於て日本人にとつて國際的觀念の注入といふことが如何に肝要であるかといふことは一度足を國外に出したる者の切實に感ずる所である。此点より見て海外に於て諸種の事業に從事する日本人及び海外に留學してゐる日本青年の責任は愈々重大となるのである。

▼勞働政策の確立

次に日本にとつて、必要なことは勞働政策の確立といふことである。勞働問題が單に國內問題としての範圍を出でない場合でも一國としての勞働政策を打立てることの必要なることはいふまでもないが之が國際問題となれば一層其の必要を感ずる。先づ差向き起つて來る問題に就て見れば今度國際勞働會議の常設機關たる國際勞働理事局が設けられ、日本政府も之に代表者を送らなければならない。國際勞働理事局は國際勞働會議の最高常設機關であつて本會議の一切の準備行爲は茲で掌るので餘程重要な地位にあるものである。殊に年々國際勞働會議が議する問題及び其の範圍を豫め定めるのみならず討議事項の基礎案までも茲で作成することになる。斯かる重要な職掌を有する所へは日本からも相當な人物を撰擇して送らなければならない。然乍如何なる立派な人物を國際勞働理事局へ送つても若しも日本政府に確然たる勞働政策が確立してゐないならばそは一定の方針が與へられてゐないのであるから自由な大膽なる活動は出來ない。常に外國の意嚮を窺つて然る後日本の採るべき態度に就いて考へると云ふような事になる。是れでは何時になつても外國の後塵を拜して滿足してゐなければならないのみならず日本の勞働社會に適切な勞働政策を策定することは出來ない。日本に於ては末だ勞働問題は新しき社會現象であるには相違ないけれども然し既にそは社會問題の重要部分を占むるに至つたのみならず政治問題としても決して等閑視する能はざる重大問題となりし以上日本は勞働政策の根本を策定して內外和衷同[illegible]して其の調和を圖るの必要があるのであると思はれる。

▼勞働省の新設

勞働政策の確立と共に必要となつて來ることは將來の國際勞働會議へ出席する日本政府の代表者は政府の責任者である[illegible]ことである。今度の會議に於ては幸にも大体に於て日本政府の要求が貫徹したから問題はなかつた。然し佛蘭西の勞働代表伊太利の勞働代表等は盛に日本の勞働行政の內容にまでも攻擊を加へて來た。若しも斯樣な議論が多數の贊成を得たと云ふような場合には之に對して答辯をする者は何うしても政府の責任者でなければ重きをなす者でない。

尚國內問題として之を見ても然りである。今假りに鐵道政策や電信政策に於て少し位の失敗を政府が仕出かしても直ちに內閣の更迭を來す[illegible]はないが若しも勞働政策を誤つたならば必ず內閣の瓦解を來たす直接原因となるであらう。今や日本の社會狀態は茲まで進步して勞働問題は此處まで接迫して來たのである。既に勞働問題に對する政府の政策の良否が內閣の更迭の原因をなすまでになつた以上は此問題を取扱ふものは政府の責任者換言すれば輔弼の責任を有する內閣大臣であることを要するのである。

私が此度の長い旅行に於て三ケ所の國際會議に出席して感じたことの中特に力說して見たいことは右の諸点に存する。

相互の國民的了解必要

共和黨上院議員 ウヰリアム、ボーラ稿

今回の山東省利權問題に關聯し吾輩を目して盲目的排日者流と同一視する者ありと雖斯の如き批評は決して當らず吾輩は寧ろ日米兩國が將來益々親善ならんことを希望して止まざる者なり

國民的了解必要

日米親善の根本は國民の相互了解にあり、云ふ處甚だ平凡なりと雖言語習慣、風俗、思想は元より政府の組織其他に亘りて全然その形を異にする兩國民は是非共その異なりし處を互に容認せざる可らずこの了解なかりせば兩國の紛爭は遂にその種を絕たざる可、日本が其の國家を維持する上に於て西比利亞に活躍し將た南米に貿易關係を結ぶは正當にして吾輩何等これを以て不正となすにあらず、然れ共我が米國は貴國と其の事情を異にし特に西比利亞と云はず歐洲と云はず他の國家間に纏る政治的紛爭に干與するは米國の國是に反す、然るが故に吾輩は西比利亞の米軍撤兵を叫び山東省利權問題に就て大統領ウヰルソン氏が日本其他と內密に協定し將來極東の政戰に干與せざるを得ざるに至らしめしを攻擊したる次第なり、吾輩のこの点に對する主義と主張は終始一貫斷じてこれを變へざるべし。

對支利權の還附

日本が山東省に於ける利權を擧げて支那に還附せし場合英國、伊國、佛國及び露西亞等に對し、對支利權の還附を求むるは日本の絕對的正義にして吾輩の衷心より贊同する處なり蓋し[illegible]勢の接近、政治的密接關係の點より觀るも英國が支那に於て二個の利權を得なば日本も亦自衛上二個の利權を得るは當然の主張にして從つて日本が支那に對し一の利權を還附せし場合他の列强に向つて同樣の利權還附を要求するは明白なる道理にして何等疑ふの余地なし、然らばこれが還附を受くべき支那の態度奈何とは貴下の質問なるが斯くの如き質問の理由は一種の詭辯に過ぎず、現代の支那國民中には漸次新智識を有する分子の運動激烈となり居れり若し彼等に機會を與へんか彼等が何等かの方法を講じて自國の興運を計るは容易に想像し得らるゝ處にして何等の機會を與ふる處なくしてその國民及政府の能力を疑ふはこれ要するに斯る一事を口實として支那を益々蠶養せんとする不正義者の言なり吾輩はこの種の薄弱なる理由に對して贊同する能はず、機會を與へ彼等をして彼等の國家を處理せしめよ、これ吾輩の主義にして主張なり。

極東平和と日本の使命

民主黨上院議員 チャールス、トーマス稿

余は日米兩國親善の根本を以つて門戶開放の相互的嚴守にありと信ずる者である、由來國際貿易なるものはウヰルソン大統領も云へるが如く戰爭と平和の分岐点を生むべき芽であつて若しこの種の紛爭より生ずる不祥事があるとすれば兩國は出來得る限りこれを避けなければならぬ、近來米國人が日々切實に感じつゝあるものは日本が亞細亞の强國たる位置を利用し自國の貿易と米國其他の對外貿易に一種の差別を設けてゐるといふことである。勿論余はこれを眞實であると斷言する者ではないがこの種の情報は支那及び西比利亞に於ける米國人から屢々聞き及ぶ處であつて斯る友誼を傷くるが如きことが若しありとせば確かに改良しなければならぬと信ずる。山東省の無條件還附も現今の國際政策上日本に對する種々な誤解を一掃するに有力なるものであるは勿論である。

山東問題と日本

余は米國上院の山東還附保留案に投票せし一人である。然し乍ら余は對獨條約中山東省の利權を日本に繼承せしむとあるを支那と改訂したるロッジ保留案には反對せしものである。これ蓋し余は米國か山東省を獨逸の手より日本に移すの權利なきと共に山東省を獨逸より支那に移し得べき[illegible]を有せずとの結論に[illegible]めである。[illegible]に對し何等の權力を有[illegible]である。新聞紙の傳ふる處に依ればウヰルソン大統領の山東省問題に對する贊意は日本の[illegible]に依り[illegible]結果といふことであるがその內容總てが條約中に明記してゐない以上夫處に種々なる誤解の生ずるは當然の結果であるか故に余は山東省問題を恰かも最初現はれし當時の儘にして放任し唯今後の推移に向つて必要なる手段を執り得るの自由を保存して置くといふことが最善の方法であると余は信ずる者である。

日支兩國の交涉

第三の質問たる山東省處決は日支兩國の直接交涉に基くべき乎國際聯盟に於てこれが處決を求むべきかは甚だ困難なる問題である。實際に於て國際聯盟なるものは未だ成立を見ず尚ほ近き將來に於て成立の見込なしとせば山東問題[illegible]處決なるものは當然日支兩國の問題であらなければならぬ然り余は兩國の交涉に依りて生ずる滿足なる結果なるものは國際聯盟を成立せしむる上に於て何物よりも有効なるを余の信じて疑はざるものなり。然[illegible]其の結果たるや米國國民に對する至大の滿足を與ふるに至るべきを疑はないのである。

日本の主張正義

日本が山東省の利權を支那に對して還附せし場合同樣の利權還附を英佛露に迫るべき乎の質問に對し余は言下にその正當なることを斷言するを憚らない。日本が山東省利權繼承を主張するに際しその最も强硬なる理由はこれと同樣の利權が支那に於ける英佛露に依りて維持されつゝあるではないかといふ点に存る想ふに余は誰一人として日本の山東還附を强要し乍ら貴下のこの質問を斥け得る者はないと信ずる。相違あるは日本は對獨宣戰と同時に山東省を將來還附すべしと宣言せ[illegible]ことである。

亞細亞の覇權者

日本が膠洲灣及び新蘭埋の勢力範[illegible]を外にして亞細亞に於ける最强の國家であり且つ亞細亞の出來事に對する覇權者たるは遁け得べからず、その事實であつて由來[illegible]は否定し能はざる事實である、余は國際聯盟萬能論者に非らず保留案附贊成論者であるが、假りに國際聯盟が成立するにせよせざるにもせよ亞細亞に於ける日本の位置が依然覇權者たるは勿論である。從來に於ても亞細亞の守護者として世界は日本に其の大部分を一任して居たのである。今後に至りては世界は益々日本が高[illegible]なる理想に生き先[illegible]ある[illegible]界政策の下に國際貿易の均等なる[illegible]、自由と正義を基礎とする門戶[illegible]の主義の上にありて亞細亞の守護[illegible]たらんことを願つ[illegible]まないである[illegible]と信ず[illegible]。

寸鐵

▲一[illegible]を[illegible]待する吾人は[illegible]得手勝手の[illegible]

▲得手 [illegible]なり[illegible]似たる[illegible]將[illegible]の問題は[illegible]中の[illegible]

▲解決 の文字は[illegible]政[illegible]家、教育家、乃至宗教家[illegible]好む[illegible]用する所なり[illegible]

▲自信 なく[illegible]意なる技倆な[illegible]徒らに問題の解決を大呼する[illegible]沐猴にして冠する者[illegible]

▲寫眞 結婚の爲めに渡米する[illegible]婦人に對して旅券を下附せざる[illegible]日運動を緩和し得る[illegible]

▲所謂 紳士協約其[illegible]導すれ自ら既得の權利を[illegible]て不顧るは沐[illegible]大使の[illegible]

▲白紙 首相[illegible]君[illegible]て選擧權の擴張を公約す、[illegible]客『先[illegible]』の[illegible]要[illegible]

▲時代 の要求[illegible]を普通[illegible]ば則ち損氣[illegible]

▲[illegible] [illegible]として[illegible]の政綱に依る建設的[illegible]

▲宣敷 先[illegible]合[illegible]國民[illegible]鶴首[illegible]

▲踏[illegible] 上院議[illegible]

▲國際 聯盟[illegible]勇氣なく亦抱負な[illegible]氣較べをなす政[illegible]好い[illegible]

▲暴羅 リード、ゴーア、ジ[illegible]ン等と結束[illegible]平和條約の[illegible]し得れば恐らく[illegible]

▲雖然 [illegible]を急速に[illegible]は[illegible]論の一致する[illegible]手[illegible]ぞ克く此大勢を[illegible]

▲武[illegible] 安居十一月八日[illegible]關かるべきジャクソン[illegible]しで得意の長廣舌を揮ふ[illegible]

▲銀鈴 の如き聲樂的[illegible]は[illegible]醉倒せしむるに[illegible]るべけんも[illegible]して貧弱ならんには[illegible]

▲眞逆 に四回目の大統領[illegible]るの勇氣はなかるべし乍併[illegible]元氣橫溢野[illegible]滿々自[illegible]

▲中年 の活劇に缺[illegible]べからざる[illegible]役者は[illegible]猿前獨帝なり極度の神經衰弱に[illegible]れる彼の舞臺面は果して如何

▲最近 の歐電は倫敦に於ける前獨帝審問準備の進捗しつゝあるを告げ彼亦辯護資料の蒐集に忙はしと傳ふ

▲單身 不俱戴天の[illegible]に入り獨逸[illegible]國の爲めに萬丈の氣焰を吐き英國の老猾と陰險を[illegible]せば[illegible]快々々

▲和製 ルーズ[illegible]一月中旬を[illegible]て支那に遊ぶべしと云ふ山東省[illegible]解決の爲め日支の[illegible]交涉を[illegible]

▲對支 外交に手を燒きたる現內閣[illegible]後[illegible]爵に[illegible]する[illegible]らに若かず[illegible]妙に男爵を[illegible]縱[illegible]

▲巴里 に於ける支[illegible]米[illegible]を辭[illegible]陸[illegible]

▲[illegible] [illegible]

民主々義の本體と研究すべし

法學博士　上田貞次郎

【一】

私は明晩當地のオペラハウスでサムソンとダリラと云ふオペラを聞く筈になつて居る。此オペラは昨年の十一月十一日當地に於て聯合國大勝利の記念興行にも演じられたと云ふことをも聞いて居る。

其の筋書きは多數讀者の既に御承知の如く昔ユダヤにあつたと云ふ聖者の記事を傳へたものである。其のあらましはサムソンと云ふ豪傑がダゴンの邪教を排斥するために天資の大力を振つてゐると其の邪教の尼なるダリラが來て所有奸計を竭してサムソンの心を誘惑し遂に其の大力の秘密を發見してしまつた。そこで邪教の徒は見事に逆襲を行ひ、サムソンを虜にしてダゴンの神の御祭に彼をなぶり者にしやうとする。そこでサムソンは非常に憤慨して滿身の力を罩めて殿堂の柱を引張ると不思議なるかな昔の大力が出て流石の大伽藍を一時にめりめりつとつぶしてしまふ。それで敵も味方も皆押しつぶされて死んでしまふのである。蓋しこのオペラを昨年の御祝に使つた心はサムソンの大力をデモクラシイに譬へダゴンの邪教をミリタリズムに譬へたものと想像せられるのである至極面白いたとへではあるが只敵も味方も一處につぶされると云ふ所は今のラディカリズムを思ひ出させるものではあるまいか。

【二】

私は紐育に來てから日本の青年諸君と度々會つて其の御說を伺つて見たが多くは日本の一般民衆が只牛馬の如く使はれてゐるのは不都合である。この國では如何なる下層の勞働者と雖も皆人としての生を樂しむ機會が與へられてゐる。是れ即ち『デモクラシイ』の然らしむる所である。日本人も文明の人として社會の進步を望む以上は一日も早くデモクラシイの精神を了解し實行するの外はない。といつてゐる。斯樣な感想は此國にゐる日本の青年諸君の間には一般に抱かれてゐるかのやうに思はれる。

私も無論同樣の考へを有つてゐるのでデモクラシイを日本に導きたいと思つてゐる点に於ては決して人に劣るものではないと信じてゐる。がしかしながら只茲に私の自ら顧み自ら問ふて見たいことは其デモクラシイとは一體何であるかといふことである。サムソンのデモクラシイであるかダゴンのデモクラシイか。其の本質は果して何であるかと云ふ問題である。

【三】

斯かる問題を提起する所以は何であるかと云へば一般の人はデモクラシイと云へば既に其の內容がきまつてゐるやうに思つてゐるかも知らんが然し今一千九百十九年の末に至つても尙歐羅巴亞米利加のデモクラシイがボルシエヴイズムとかサンディカリズムとか名のついた別のデモクラシイと戰ひつゝあるではないか。

或は云はん。其の間は餘りに常識をはづれたものである。勿論サンディカリズムは惡いデモクラシイは善いと。然しながら理論上どこに兩者の區別があるかと云ふことを等閑視してはなるまいと思ふ。試みに其の言葉の起源を考へて見ればラディカリズムは急進主義といふだけのことで十九世記の初めには政治上の自由主義が即ちラディカリズムと呼ばれてゐたのである。デモクラシイと別に異つた意味はない。亦ボルシエヴイズムにした所が露西亞の社會黨中の多數派といふだけのことで其の主義に於ては獨逸風のマルキシズムと異つたことはないのである。さすれば是れもデモクラシイと異名同物にすぎないのではあるまいか。

【四】

尙又次のやうな異論も出さうに思はれる。即ちラディカリズムとかボルシエヴイズムとか云ふものは社會主義であるけれども、デモクラシイはさうではないと。然し今の社會の多數者たる勞働階級の人々に眞に文明の生活を味はせやうとするならば何うしても資本に重税を課して、社會政策を行はなければならない。場合に依つては今の亞米利加の鐵道政策に見るが如く經濟上有力な武器となつてゐる所の資本は政府の管理の下に移つさなければならない。是即ち社會主義に外ならないのである。

【五】

私は今茲に於て斯かる思想上實行上の大問題を解決しやうとは企てない。只讀者諸君が此問題を攻究される場合に是非考の中に入れてもらいたい一点がある。即ち今主として金持の階級少くとも中產以上の知識階級に依つて維持されてゐる所の文學藝術はもとより遊戲娛樂より一切の衣食住の末に至るまで幾代幾十代の傳統の力に依つてさゝへられてゐる所の美しい趣味。それをどうしてデモクラシイと調和させるかと云ふことである。私は何も好んで保守的なことを云はんとするものではない。たゞデモクラシーを研究し主張する青年諸君に右樣の問題に就ても考へることを如何なる場合にも忘れないやうにして戴きたいと云ふことを申し上げるに過ぎないのである。

私は又如何なるデモクラシーに對してもサムソンとダリラのオペラに現はれたやうな非凡の藝術を交換し去ることは誰も好むまいと思ふのである。（一九一九年十二月談話）



い瀟生花の趣味に富み寫眞、自働車も得意である



才貌双絕の評ある吉田初次郎氏夫人は吾が社交界の花形役者である



女子學習院出身の才媛ではあるが拗けた民本主義の三井弁藏氏夫人

國際聯盟と日本の位置

民主黨上院議員　ギルバート、ヒッチコック稿

山東還附に對する米國上院の保留案に向つて吾人がこれに反對するは一にウヰルソン大統領と日本代表の巴里に於ける內約を信ずると共に日本が對支條約に於て明白にこれを宣言し且つ內田外相の言に徵するも明白々何等疑問を挾むの余地を存せざればなり。但し日本の對支條約中には米國の主義主張と相容れざる点ある爲め正式に其の全部は容認し居らざる次第なり。

日米親善の根本

日米親善の根本政策は何なりやとの質問に對し余は先づ移民問題を擧げざるを得ず。即ち貴國の亞細亞沿岸に於ける活動の境界を定むることにして苟くも貴國の政府にして米國沿岸を植民地化し或ひは移民を獎勵するが如き政策は吾人の贊同し得る處に非らず、これ蓋し米大陸及び加奈太に於ける貴國人の生活標準が全然吾人白人とこれを異にし稍もすれば經濟界を攪亂するの恐れあるが爲めにして若し今後續々として移民が我米大陸に渡航し來りなば紛爭はその種を絕ゆることなく聽ては不祥事の突發を見るに至るやも知れずこれ吾人日米兩國の爲め最も遺憾とする處なり、然して日本に於ける近代の民主的傾向は吾人の双手を擧げて歡迎する處なれば斯る民主的傾向にして繼續する限り日米の關係親密なる可きは疑ふの余地なし、唯吾人の恐るゝものは軍閥の政治的復活にして若しこの種の分子にして日本の政治を左右することゝならば兩國の親善は到底これを望み得べくもあらず、これを要するに日米兩國の親善根本は日本は太平洋の東に橫はる一大强國として米國はその西に位する大國として相互に其の位置を了解し貿易の關係をして益々增進せしむべきなり。

山東還附の正義

日本が支那に對し山東の權利全部を支那に還附せし場合日本が英佛露等に對してもこの對支利權放棄を迫るは果して正當なりやとの問ひに對しては余は言下にその正當なるを斷言せざるを得ず、蓋し日本のこの要求は日本として最も正當なるものたると共に支那も日本にしてこの提議を試みなばその好意を諒として感謝するは勿論なり、日本の山東利權なるものは既に獨逸にしてこれを承認せし以上日本のものたるは勿論にして米國議會の批准未了はこの權利に向つて何等影響せず山東保留案もロッジ保留案にして既に無効となりし以上何等の力を有せず、唯日本として此際執るべき道は支那の態度を考慮する處なく速かに穩和なる條件の下にこれを還附し列强の疑惑を解くにあり、經濟上の利權もこれを含むやとの貴問に對しては尙ほ研究の上ならでは答ふるを得ず。

世界的產業活躍

國際聯盟と日本の義務に就ては既に明白にして日本に何等列强と異なり特殊義務あるなく日本は精神的にも實行上に於ても聯盟規約を尊重し國際間の紛議に對しても聯盟の仲裁を快く待つの度量なかるべからず余の知る範圍に於て日本の軍閥なるものは常に亞細亞の武力的征服を夢みつゝあれど現代は最早斯る時代を過ぎ新らしき曙光に動きつゝあるを知らざる可からず、抑々武力的征服なるものは假りに其の目的を果したりと雖これを要するに過大なる軍費と生靈の犧牲とが獲得せしものに數倍するは古今歷史の證明する處、この点日本國民は深く顧みて斷じて獨逸の二の舞を踏まざらん樣覺悟する處なかる可からず、その半面に於て日本の產業發達は近時隆々たる發達を示し將來亦この方面に活躍し得べき余地多々あり存す、されば日本國民たるものは此際軍閥の再起を極力防止すると共に產業貿易を發達せしめ聯盟に依りて平和的國民たるの保證を得て產業場裡の征服者たるに至らんことを暮々も祈りて止まざるものなり。これを要するに歐米人よりして稍もすれば誤解を招くは日本國民として幾多議論の餘地あるべけれど今後產業的平和國民として從來の光榮ある戰の勝利に優るの實を擧ぐるを得ば斯る誤解を解き得るは勿論にして吾人はこの点に於て日本國民が充分國際聯盟の意義を了解しこれを輕視する處なく活用の道を常に研究して益々光榮ある國家の前途萬福を計るは世界的國民たる日本國民の義務と信ずる者なり。（完）

◇新報叙任辭令◇

高峰讓吉
濱松屋劇場合資會社々長ヲ命ズ
老後ノ事業トシテ發明ヲ斷念シ演劇、文藝等ノ改良ヲ念トスベシ

三菱合資會社紐育支店長　山室宗文
論客集會所世話人ニ任ズ
尤モ可成他ノ所員ヲシテ各其所信ヲ發表セシムルニ努力スルコト肝要ナリ

臺灣銀行紐育出張所支配人　江崎眞澄
精酒釀造株式會社總支配人ヲ命ズ
禁酒令勵行中ハ業務ヲ休止シ自製精酒ヲ獨酌スルモ妨ゲナシ

香西商店主　香西龍雄
紐育商品陳列館長ニ任ズ
但シ陳列方針ハ小賣店窓飾法ヲ適用スルヲ禁ズ

財務官　田昌
古倫比亞大學教授ニ任ジ財政學講座擔任ヲ命ズ
平生ノ蘊蓄ヲ傾倒シ大藏大臣タルコトヲ斷念スルヲ條件トス

海軍監督事務所　機關大佐　杉政人
胃病々菌研究所々長ニ補ス
鯨飲大食ヲ謹ミ宿痾根治ニ從事スベシ

山中商會支配人　牛窪第次郎
米國園藝院々長ニ任ズ
健康維持趣味涵養ノ爲メ無報酬ニテ執務ス可シ

日本人社々主　渡邊民藏
紐育駐在總領事ニ任ズ
但シ不定期公刊物ヲ、ジャパニースプロパガンダニ使用スルヲ許サズ

森村新井商會　伊藤良吉
長嶋建築會社技師長ニ任ズ
新築住宅ハ出來ル丈低廉ニ賣却シテ陰德ヲ施ス可シ

東洋印書紙製造株式會社取締役兼技師長　菊地東陽
鐵砲玉旅行團々長ヲ命ズ
精々無線無電信ヲ利用ス可シ

紐育宿屋組合理事長　岡宮義一
任國際專賣特許局長官
但シ自己發明ノ特許出願ヲ禁ズ

森村ブラザース總支配人　村井保固
救世軍大佐ニ任ズ
ブース大將事業取調委員長兼任

三井物產會社支店長代理　安本明治郎
紐育警視總監ヲ命ズ
特ニ風紀ノ取締ヲ嚴重ニス可シ

妻沼建築事務所主　妻沼巖彥
濱松屋會秘書長ヲ命ズ
歸朝ノ際劇道ヲ研究シ歸紐ノ上日本倶樂部ニ於テ報告旁試演會ヲ催ス可シ

總領事館書記生　石井武郎
安直パイプ製造所々長ニ任ズ
但シ宴會席上ニ於テ自製品ヲ咬フルコトヲ許サズ



[illegible]陶芳主のマヽさん」と推稱された山内重馬氏夫人

國際勞働會議と日本

英國政府代表無任所大臣　ジー、エヌ、バーンス稿

今回の國際勞働會議に於て最も異彩を放ちたるは日本をして世界產業列國の列に入らしむべく協調整ひしことにして特に余が本問題に對する日本政府と資本家代表の協調仲裁の任に當りしは余の衷心より愉快とする處にして惜むらくは勞働代表がこれに參加せず從つて三派一致の協調を見ざりしは余の遺憾とする處なりと雖然かもその結果に至りては勞働者は勿論其他の利權に渉りて最善のものたりしを信じて疑はざるなり。

世界の經濟的發達

巴里及華盛頓を通じて余の日本代表に對する關係は極めて親密なりしは特に愉快とするものにて日本人は余に執りて好個の親友となれり。日本は今や世界產業界の列に加はり或ひは加はらんとしつゝありて近き將來に於て日本勞働者の經濟的利權が必らずや他國の夫れと同等の位置に進むべきを信じて疑はざるなり。賢明なる國民性を有する日本人として今後日本が國際市場に活躍すべく國民の生活標準をして向上せしむるに至るは日本の義務なりと雖余は巴里及今回の華盛頓會議を通じて此際日本の產業的位置を向上せしむるは可なれど一擧にして歐米と同等の產業標準に入るべく强要するは啻に日本に對して不公平なるのみならず日本政府として斯の如き處置は言ふべくして行はれざることを認識したり。

今回の國際勞働會議は世界の經濟的發達に一局面を開きしものにして今後繼續すべき會議は幾多の殘された る問題を解決すべきが勞働界の不安たるや今や世界一般の趨勢なりと雖この間に絶へず新しき思想は生れその思想は常に虐げられし弱者の聲に耳を傾け居れり、然してその半面には斯る新思想の種に於て各階級の共同一致を計らず寧ろ階級戰を獎勵するものあり斯る思想に對し余は斷乎として反對の意を表せざるを得ず蓋しこの種の爭闘と衝突は常識を以て判斷し斯くすることに依りて各階級の共同一致を計るを最善の方法と信ずればなり。然して余は日本人諸君もこの寛大なる心と常識の力を以て凡ての難問題を解決し進歩發達の實を擧ぐるに至るべきを信じて疑はざるなり。



在紐婦人親會の牛耳を執りつゝ恭謙眞摯自ら下る一宮鈴太郎氏夫人

勞働組合の設置

經濟狀態の差異は常に教育の差異を生じ、教育の差異は概ね能率及力量の差異を示す。左れば万人をして均等の教育を授け均等の力量と能率を與へなばこれやがて近き將來に於て凡ての差異を打破して均等たらしむるに至るは當然にして十時間勞働は決して充分なる安息時間を與ふ能はずと雖然かもこれを舊時代に比較して優るは必然なるがこれに加ふるにケ月二日の休日は勞働者をしてより多く健康ならしめその結果として資本家も勞働者と共に幾多の恩惠を受くるに至るを疑はず。余は日本に於ける勞働組合は先づ職業的勞働組合組織となして團体交渉の權利を得るに至るを得策なりと信ず。これ蓋し兩者の腹藏なき意見の開陳が兩者の位置をして益々深く責任を感せしむるに至るの早道にして啻にこの利益あるのみならず勞働者の狀態改善に對する要求は資本家側をして益々新器械の据置必要を急ならしめ且つ生產增加の實を擧ぐるに至るべければなり。特に余が日本の資本家に對して一言せざるを得ざるは勞働者の待遇改善なるものは今や世界の趨勢にして日本今回の勞働時間減少なるものは確かに經濟的打擊たるに相違なけんもこれに依りて經濟的均等を妨害破壞されしに非らず寧ろ余はこれを機會とし兩者の團結が益々發達を來し勞働狀態の改善は更らに資本家側の設備改善に及び生產の增加を來すに至らんことを望んで止まず日本產業界の前途は洋々たるものなり。余は切に日本の政府、資本家及び勞働者がこの點に留意し產業的向上の域に突進せんことを祈るものなり。(完)

對米宣傳運動を高調せよ

薔薇洞迂人

▼對米宣傳運動に關する日本の計畫は端を加州に於ける學童問題發生の當時に開いて居る。澁澤男爵を團長とした大規模の實業觀光團渡米の如きも日米親善增進の目的を以てせる次第である。爾後或は啓發運動と稱し、或は親米政策と稱して隨時日米兩國間の意志の疏通を謀り理解を改善するに努力せざるにも非ざるも、極東の新興國たる日本の國民的發展と反比例を爲し衝突、誤解、嫉視の機會のみ殖ゑつゝあるのは吾人の深憂とする所である。就中昨春巴里に於ける平和會議を中心として支那の對米宣傳運動は熾烈を極め、幾百萬弗の米支貨は之が爲に費されたのである。一部の樂觀論者は支那一流の誠意なき遠交近攻策の如きは到底永續するの見込はないから敢て恐るゝに足らずと唱へて居るけれども米支兩國間に流れつゝある潮流は同じく太平洋を挾むで居るに拘はらず日米の間に徂徠する潮流に比して遙かに曖昧があるのは疑を容るべからざる事實の語る所である。

▼所謂强を挫き弱を援けむとする米國人氣質は確かに支那の對米宣傳運動に成功しつゝある一大理由であらねばならぬ。亦兩國が同じく共和政体であるなどといふ形式的の問題は無價値に均しき理由であるとしても團匪事件に基いた支那學生の大學して米國に留學したことは現在及び將來米支の國際的關係に甚大の影響を及ぼしつゝあるのである。即ち一面米國の親支態度は疎日政策の採用となつてゐるのである。故に吾人は此際日米國交の前途に對して愼重の考量を拂ひ、組織あり根底ある善意の對米宣傳運動を高調するの必要を感知せざるを得ぬ。其方法としては幾種類もあるに違ひないが往年實行した啓發運動の如き有識者に局限さるゝ、運動の如きは寧ろ費す所のみ多くして得る所が少ないであらう。勿論言論機關に關係ある米人と接觸し彼等をして正當に日本を理解せしむるも必要であらうが

▼通俗的の施設としては活動寫眞の紹介、假令ば中濱萬次郎氏の米國に漂着せる一代記の如き、ペルリ提督遠征錄の如きを骨子とせる歷史的撮影、日米兩國輸出入重要品の製造より市場、需要者に達する徑路の說明の如き經濟的映畫を紹介するの外兩國新聞雜誌記者交換、邦人學生の增派、商品陳列場を加へたる日本人經營の建築物完成、兩院議員の定期觀光團創立及び通俗英字新聞の發刊赤十字博覽會の開設等多々あるべきを信ずる吾人は朝野要路の士が各般の施設に對し獨逸の覆轍に鑑み愼重に考量を拂ひて機宜の措置を執らんことを熱望せざるを得ぬ。



螢雪の功を擧ぐべく英語研究に從事して居る生氣潑溂の堤汀氏夫人

恭賀新年

年頭名刺交換

＝申込順＝

森村新井商會
新井領一郎
新井米男
廣瀬猛雄
江川舗助
富森信治
佐藤金造
稻生稔
松井愛信
小林秋男

高田商會紐育支店
山内重馬
堤彦一
和田勝郎
根鴻能隆
鈴木泰次郎
森要一
石井龍造
山田勘七

原合名會社紐育支店
久米又藏
黛治良
池田三平
中野卓英
高野正
岡本友三
工藤博

日本綿花株式會社紐育出張所
小林又七郎
岡田直廉
横手戡
山本義秋
筒井茂也
上村和三郎
鎌田五三郎
東義雄

岩井商店
高田孝雄
田中好三
藤村松雄
田村薫
高橋愛次
川上源太郎
新田達一
長田古賢次

住友銀行紐育出張所
今村幸男
大嶋堅造
木村發
淺田靜太郎
關山幾三郎
梅村岱太郎

古河商事株式會社
篠崎清次郎

古川哲二
新海英一
辻井眞
木村康一郎
伊藤謌雄

伊藤忠合名會社
在日 功力寅次
中尾愼三
小石俊三郎
荒田銀之助
笹生米次郎
森田友三
森澤磊五郎

村井貿易株式會社
草信竹治
笠松千代治
山口秀太郎
仲海藏
西村博
增井修吉
古谷敬次郎

野崎商店紐育支店
大石正介
豐嶋正夫
橋本享
夏目豐吉
渡邊政三
海保秀香

茂木桃井組
大嶋供佐
菊池市兵衛
萩原達也
九富俊吾
大圃規矩
大谷政吉
須藤保之亮

岩上合名會社支店
大竹正太郎
岩上幸
岩上宗五郎
藤津彌四郎
松風松藏
寺西成美

株式會社川北電氣企業社
大杉延雄
堀村廣
前田勇
大橋安三郎
關屋省吾
川嶋龍太郎

横濱正金銀行
一宮鈴太郎
乙竹茂郎
工藤今治郎
平澤喜作
水野德治

紐育總領事館
富井周
西春彥
森岡正平
中野勇吉
石井武郎

酒井商會
酒井隼雄
八木善一
在日 中嶋仲藏
兒玉克四郎
大隅敏雄

大阪商船出張所
中村富强
井上正朋
杉阪富之助
勝沼敏行
齋藤繁

紐育芝川株式會社
安田辰次郎
錦織尙
兒玉仲三
岸本久雄
齋藤利三郎

天津武齋洋行出張所
仙石慶三

安部幸兵衛商店
丸山梅次郎
津上靜夫

野崎秀二
眞鍋武雄
清水重

鐵道院紐育事務所
山口金太郎
久米甚太
幸川茂助

三共株式會社支店
岡田千里
在日 松浦和平
鳥井孝一郎
高本隆三

味の素鈴木商店
渡部新太郎
吉村森三郎

東洋汽船株式會社
玉置貫一郎
紙屋傳一
菅沼寛次

大正貿易商會
上野十藏
土田玄
矢吹仁太郎

株式會社長瀬商店紐育支店
土井卯太郎
清水偘二
志垣丞雄
藤本鹿吉

安藤幾太郎

芝上合名會社
礒上善次郎

名古屋製陶所
吉田重雄
水野重太郎
鈴木銀藏

京都工商株式會社
森本利三郎
小田憲次
田中貞一
原田逹之助

關根商會
關根五男兒
古谷謙次
關根英夫
河野小彌太

大倉組紐育支店
皆川多三郎
南與作
堤和雄
芝田延男

明正社支店
山崎健之丞
平嶋優
平山武夫

江商株式會社
巨常吉
寺井庄太郎

松本憲二
薄田忠雄

太洋貿易株式會社
瀧藤治三郎
小野正一
近藤祿

横濱商店
岸爲次郎
時田信次郎
舟橋健助

矢野上甲合名會社
矢野長三
加賀美重夫
牧隼人

野澤ブラザース
加藤通文
吉沼定次郎

中外貿易株式會社
市川榮次郎
木戸粂次

齋藤商會
齋藤熊治
辰野靜雄

日本倶樂部
太田嘉六
中村景次
山口政雄

[illegible]部
武田清三郎

[illegible]銀行出張所
兒玉[illegible]一
藤巻太一
高橋武夫

グローブ茶商會
鈴木[illegible]
渡邊孝治郎

城嶋商店
城嶋佐市
大重新之助

紐育日本人青年會
人見潤之助
面高進

ラルフ、エル、ブラー商會
仲七喜一郎

信友組
小舘辰次郎

小瀧貿易商會
園部嘉茂

池田商會
池田謙藏

加藤周三郎商店
熊野喜一郎

紐育横濱商店
名阪佐市

太西洋市
橋爪與作

費府
瀬川一

華府議院圖書館
富桝周太郎

和佐光三郎
山口三之助

紐育新報 (其二)

二個國語本位教育論

柳母學人

【一】

所謂戰後經營――リコンストラクシヨンの諸問題の中で、最も根本的なる改造問題は、人心の維新、刷新といふ事であるに相違ない。若しこの根本的なる心理的改造といふ事を閑却して、偏にインスチチユーシヨンの改造にのみ沒頭する時には、必ず土手際になつて、後悔臍を嚙むやうな結果を來たす事にならぬといふ保證は出來ぬ。例へば國際聯盟の如きも其適例である。蓋し世界戰後の新施設としての聯盟の如く意義ある施設は他に匹儔なしである。出來たら大した事である。どうか出かして見たい。然も、何だか出來相にない。出來ても骨拔きに過ぎないらしい。運用上さても滿足の結果は望み得ない樣である。何の爲であるか。人心が改つて居る樣で改つて居ないからである。なぜ人心が改らないか。之を改むべき教育の改造が出來て居ないからである。大凡總ての改造問題の中で一番先きに來なければならぬ筈の教育問題がいつも閑却される。後廻しにされる。之を後廻しにして制度の改造創設を急ぐのは論理上の本末錯倒である許りではない。實際上の不可能强行である。

【二】

一体國際聯盟の基礎を確實にし、其の將來を保證せんとするには、どうしても所謂インターナシヨナル・マインドといふものの開發を端的とせねばならぬ。教育上に於てはナシヨナル・マインドの養成に專修專念一心一向であつて、しかも政治的施設の上には國際聯盟を主眼とするといふことは、餘りに明白なる自家撞着である。然らばこの戰後經營の一大施設として、國際聯盟を提唱した處の政治家、之れを翼賛し、附加した處の先覺者は、之れと同時にインターナシヨナル・マインドを養成するやうな教育上の改造を計畫したであらうか。私は不幸にして之を西に求め東に求めて、未だ以て教育上の新聲を聞くを得ざる事を心外に思ふ。斯ては國際聯盟提唱の本家本元に於て、之をアメリカナイズする、之をナシヨナフイズする一面には其新精神を撲殺せんとする運動の勝利を得つゝあるのも、あながち不思議のことではない。

【三】

勿論戰爭中から戰後にかけての教育上の改革を行つた國は皆無ではなかつた。我故國に於ても豫ての懸案であつた學制の改革を行ひ、高等教育機關の擴張をも敢てした。結構な事である。が之にも增して結構な事はフイシヤア氏の挺身斷行した英國の教育改革である。然かし孰れの國の教育改革にも、其國の歷史よりも在來の制度より稽へて、注意すべき點は多々あるけれども、インターナシヨナル、マインドの養成といふ標準から見れば、これと稱すべき創意新案は一つもありはしない。米國に於ては寧ろ其標準から言へば却つて教育が時勢に逆行したと言つてよい樣な事許りである。何となれば戰爭以來の米國の教育上に於ける施設中最も顯著なるものは一に各中學程度以上の學校に於ける兵式操練の斷行と並行したミリタリ、サイエンス即ち國体科の創設と、教育上、ことに小學教育に於ける國語主義の力說であつたからである。所謂兵式操練と國体科の米國民心理に及ぼす影響は、餘りに明白で說明の必要はない國民的國家的、米國至上主義的である。小學程度に於ける國語主義も亦同樣の結果を請求することは、國語教育と國民心理の關係とを沈潛攻究した者には、さして會得するに困難な事柄ではあるまい。

【四】

本文の起草者は確く信ずる。眞に國民心理を養成するものは種々なる影響もあるけれども、就中最も有力なるものは國語、國語教育であると。故に一の國語を修得し、さうして其國語より外に修得しない場合には其人の頭はどうしても、其國民的國家的範疇を超越することが六ケしい。さうする事は絕對に不可能ではないが、さういふ例は千中不一といはうか、絕無僅有といはうか、極々少くない。處がこの國語教育は家庭から始まつて小學校に於て殆んど完成せらるゝので、人間の頭も體も最もプラスティックな時に、この國語の訓練の爲に私共は國家至上的に養成されて了ふのである。故に若し私共が眞に國家至上主義の弊を認めてインターナシヨナル・マインドを養成する事を必要とするならば中學程度になつて二ケ國語本位の教育を行つたのでは駄目である。どうしても小學校時代から之を斷行する心要がある

一体米國人は他國人民よりかインターナシヨナル、マインド、インターナシヨナル・ヴイジヨン、シンパセイのあるのは彼等の多くが移民であり移民の子弟であつて、家庭に於て二重國籍を有し父母に於て双別國家を有し幼少より二國語本位の雰圍氣の中に育つたからである。移民心理が國際心理と一味乳水の觀あるはこの理由に基く。されば移民の家庭は國際心理の涵養に最も恰適せる道場である。然かも家庭の教化は學校程に組織的統一的であり得ない。從つて組織的に統一的に國際心理を養成しやうとするならば、どうしても之を教育の力に待つ必要がある。さうして其教育は乃ち普通國民教育、義務教育と稱する小學教育の年齡に於て二ケ國語本位の教育を實行することである。

【五】

二ケ國語本位の教育といふことはこの國際心理の養成といふ方面を別にしても、相當なる根據はある。それはかうである。今日世界のどの國に於ても、時勢人心を指導する人は一ケ國語を自由にする人か、二ケ國語を自由にする人か、といふ問題を一考して見る。この考へを現今から一歩進めて將來に及ぼして居る。さうすると二ケ國語を修得する必要は火を睹るよりも瞭らかである。他の奴隷となる、後塵を拜するに滿足するといふのでない限りは二ケ國語の修得は嚴格な意味の必要條件である。然らば第二に國語を修得するは之を中學時代の年齡に達して始めるのがよいか、小學時代よりするがよいか。こゝになると專門的の教育家でなくも國語學習に適當なる年齡は小學々齡にあることを認めるとに異存はあるまい。こゝに小學教育二國語本位論が成立つのである。

【六】

かうした二國語本位の教育は種々な形に於て、小數なる貴族富豪の家庭と殆ど凡ての移民の家庭に於て行はれて居るのである。布哇の日本人教育、太平洋沿岸の日本人教育は廣い意味に於ける二國語本位の教育である。其教育のやり方に幾多改良すべき餘地のある事は無論である。しかし世間は斯いふ教育を變則的教育と稱して罵倒する事は知つて居ても、この二ケ國語本位の教育より養成せらるゝ心、頭、人間といふものを充分に考へて見ない樣である。ハイフエネイテッドとかフイフテイ・フイフテイとかいつて嘲弄する事は知つて居ても、文化進轉の新らしい契機の個中に胚胎する事に注意しない樣である。混血兒といつて貶して居ても世界の民族は皆混血兒である。さうして新らしい混血兒の出現と共に新らしい文化は出來る。私共は混血兒を忌嫌ふ理由がないと同じ樣に混血兒文化を忌嫌してはならない。否、其處に黎明の光が微かに動いて居るのである。この微かな光は後に新らしい世界を照被する光である。植物學者はいふ。火成岩に生ゆる植物と水成岩に殖ゆる植木とは違ふ。けれども水成岩と火成岩の接觸帶コンタクト、ゾーンにはどちらとも付かぬ變則な新植物が出來る。其植物が其根の作用によつて、火成岩と水成岩とを壞して同一性分のものとし、次第に自己の範圍を擴張し、火水一味の新土壤を作ると。私は移民生活を研究して思ふ。今でこそ本國人から輕蔑されて居るこの中間人種が、行く〳〵は新らしい世界の中心になるものではないかと。然かし移民生活に相即し顯はれて來た二國語本位の教育を、それ〴〵本國に實行することになれば兎角偏狹なる國家主義に傾かんとする本國の國民心理も、餘程國際的に改造せらるゝに相違ない。これが新時代の出發點である。新時代とは國際主義の時代といふ意味である。



社交界には餘り顏を出さぬが正論讜議直言直行の高野彌一郎氏夫人



少壯實業家道面豐信氏夫人は彈琴の名手ださうだお名前は玉子さん



逐年其手腕が圓熟して既に婦人社會の重鎮となつた高見ソナ子夫人

日本の婦人と社會的活動（上）

日本女子大學教授　田中孝子

【一】

私は殆ど十年の長き間米國の教育を受けて育つた人間であります。

御承知の如く米國の教育制度は全然男女混合であります。此男女混合教育の利弊に就て日本に於ては現在教育界の大問題になつて居ます。早稲田大學や慶應義塾で女子の爲めに其門戸を開くことが新時代に順應する所以であると主張しても文部當局者は男女のいまはしき關係と云ふやうなことを顧慮して容易に之を許さないとも聞いて居ます。けれども私共は米國で男女混合の教育を受けたことを非常に幸福であつたと思つて居ます。

今度の國際勞働會議には私は政府側の顧問として女としては只一人一行に加つて來ました。然し私は此男子の團体に這入つて男女の區別的感情などは少しもなく働いて來ました。普通の日本の婦人であるならば只一人で多勢の男子の中へ這入つて働くことは頗る困難とされてゐます。はづかしいと云ふ感情も起りませうし氣後れも致しませう。然し私にとつては少しもさう云ふことはありません。これは全く米國に於ける十年間と云ふもの男子と一處に學び男子と共に働いて來た御陰であると思はれます。若しも婦人と云ふ者が家庭の内部の仕事ばかりなすべき者で男子とは全然異つた方面の仕事を受持つ者と定まつてゐるならば女子は女子としての違つた教育の方法もありませう。しかしながら女子が男子と同じ様に家庭以外の社會的事業に手を出すの必要を少しでも認められる以上は女子は男子と全然別な教育を受けて滿足してゐる譯には參りません。

【二】

外國にゐる日本婦人の思想は其の國の社會的影響を受けますから余稈進歩的であります。然るに日本の社會に於ては未だ一般に婦人が家庭を出づることを好まない風習が行はれてゐます。勿論家庭を持つ婦人が其家庭を顧みないと云ふまでに極端になることは決して婦人の誇りではありません。けれども家庭にばかり引込んでゐて少しも外へ出ないと云ふことは現代の文明社會の事情が之を許さないと存じます。否社會的乃至政治的方面に婦人の新しき活動を要求することが寧ろ文明社會の一特徴ではないでせうか。

元來婦人と男子と云ふ者は其の性格も其の天職も全然同一であるとは申されません。幾多異つた点を有することは申すまでもありません。それがために日本の社會に於ては婦人は家庭内にて働き男子は外に出て働くと云ふように全然兩者の活動範圍を區別してしまつたのです。だから其の社會狀態が斯樣なことを許してゐる時代は問題はありません。しかしながら現代の如き複雜したる社會狀態は婦人に向つて更に新しき活動の方面を展開し且つ其の活動を要求して來たのです。『日本の婦人よ彼等は自覺せざるべからず』と云ふ聲は實に斯かる社會的要求を充さんがために起つた所の曉の鐘なのであります。



人に接して城廓を設けず事を處理するに敏活なのは田嶋繁二氏夫人

【三】

現代の社會が如何に切實に婦人の社會的活動を要求してゐるか、又婦人の有する特性が此社會的要求に應ずる爲め如何に有効であるかと云ふことに就ては理論的にでも亦實例を擧げても所有方面から之を証明することが出來ます。けれども茲では長い議論ははぶいて單に左の一事だけを申上げて見たいと思ひます。

私は今度華盛頓へ來た序でに國際勞働會議よりも一日早く開會された万國婦人勞働大會へ日本の代表として出席致しました。此萬國婦人勞働大會其者のことに就きましては當時の新聞に依つて傳へられて居りますから茲に詳細に申上げる必要はないと存じます。此會に出席した私は現世界の二大問題である所の勞働問題及び世界的平和の確立といふ問題に就て婦人の力が如何に必要であるかと云ふことを痛切に感じました。

萬國婦人勞働大會は婦人勞働問題の各方面に就て討議を重ねました。勞働時間の問題、婦人の夜業問題及び産前産後の問題更に危險及不衛生の作業問題等に就て論じましたが勞働條件の改善とか勞働者の生活的及社會的地位の向上と云ふことに就て婦人が男子に比して一層熱烈な同情を有することを私は認めました。例へば婦人の夜業禁止問題に就て見ましても男子は生産問題などに囚はれる結果往々最後の決斷をするに躊躇するの風がありました。けれども女子に至つては其の結果例へ多少は一國の生産額に影響があつても斯かる非人道的な勞働制度は一刻も早く禁止しなければならないと主張致しました。此点は國際勞働會議に於ける各國婦人顧問の主張も同一でした。斯樣に熱烈なる信仰的主張をなすとか或は博大なる愛に基く活動をなすとか又は正義人道の精神を鼓吹するとか云ふ方面に向つては女子は特別な長所を有してゐると思ひます。そして現代の社會的欠陥を救濟して公正なる社會的新秩序を打立てゝ行くには斯かる特性を發揮したる婦人の活動が最も重要な部分を占むるものであると信じます。

【四】

又婦人が國際間の公正及平和を如何にも熱烈に愛すると云ふことを證明するものに次のようなことがあります。

國際勞働會議の問題にもなつたやうに萬國婦人勞働大會に於ても獨墺の加入問題が討議されました。國際勞働會議に於ては種々の議論が鬪はされた結果結局獨墺の加入を許容することになりました。然るに婦人大會の方では獨墺の如き從來の敵國も又露西亞の如き國でも何等差別的待遇をなすべきでないと云ふ見地から非常な熱度を以つて彼等を歡迎する方法を採りました。うれは今度の大會へは獨、墺、露の三國の代表者が參加して居りませんでした。此事は各國の代表者が非常に遺憾のこととして居ましたが大會に於て主要問題の討議が終つた後で會長及副會長の選擧を行ひました。會長に米國婦人勞働組合長を推薦した後で副會長を四名推薦し更に此會議へ出席しなかつた所の獨墺露の爲めに副會長の椅子を特に殘して置くことに致しました。これには流石に伊太利や白耳義の代表者だけはその必要なしと主張致しましたが大勢を動かすこと能はずして右の如うに決定致し、誠意を以て彼等を迎ゐることになりました。是れは婦人の平和を愛すると云ふ熱烈なる眞情の表れたるものであると私は思ひます。（以下次號）



在留のビジネスウーマンとして巧みに女大學風を突破した香西夫人

◇新報叙任辭令◇

ドルトル　高見豐彦

紐育日米聯合教會牧師ヲ命ズ

但シ説教ハ英語ニ限ル

住友銀行出張所主任　今村幸男

日米山嶽會幹事ニ任ズ

鞍馬山天狗手形割引ヲ許サズ

日本の新聞雜誌に就て

▽大正八年は新聞界の革命時代
▽人心の激變と雜誌界の新傾向

▼最近の日本の操觚界は非常なる變化を見た。殊に一九一九年即ち大正八年に於ける變化は實に非常なもので人をし驚かしめる程のものがある。國民生活の不安、國民思想の激變、之に伴ふ新聲雜誌の論調の變化それから言論記者の社會的聲價の轉變、それ等は實に驚く計りのものがある。若しも大正八年の一年間は日本の言論界から眼を離して居た者がありとするならばその人にとつては實に此一年間は隔世の觀を催ふせしむるものありと思はれる。

▼激變をした點は同じであるが新聞と雜誌は稍々其の趣きを異にしてゐる。即ち其の變化の傾向を概觀すれば新聞の變化は重に新聞社内部の變革、人物の異動等である。無論思想的傾向の變化と云ふこともないではないが前者の急激なる變化に比すべき程のものはない。是れは現時の新聞の編輯方針が言論本位よりニュース本位となつた結果の副産物ではあるまいか。昔の新聞は言論本位であつたが今の新聞の主要なる職掌は出來るだけ速くそして正確なるニュースを傳へることにある。言論は寧ろ從であり裝飾物の觀がある。從つて論調の變化と云ふことは社會がそれ程問題にしなくなつた傾向がある。之に反して雜誌は主として主義思想の宣傳を目的として居るのが多い。之等の雜誌にとつては其の自ら掲揚する所の主義思想が當時の社會人心と共通の點あるや否やが彼等の盛衰興替を決する標準となる。從つて急激なる社會思想の變化があれば此種の雜誌界にも急激なる變化を見るのは當然である。近頃は東の都市到る所の店頭に社會主義的傾向を帶びた種類の雜誌が無數に肩巾廣くならべられてある事實は直に以つて社會人心の傾向を[illegible]する材料となすに足ると思はれる。

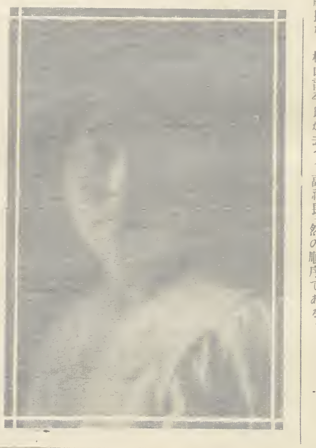
▼新聞の變革に就いて特筆すべきことは大阪朝日兩度の變革、大阪毎日東京日々の躍進、報知新聞の改革、大正日々新聞の發刊、讀賣新聞の組織變更等であらう。

▼大阪朝日新聞の第一面變革は大正七年の暮に行はれた。此事件は當時可成りに言論界を騷がせたものであるが事舊聞に屬するが故に茲に其の詳細を記述することはしない。其の變革の事實は二つの方面を有して居る。即ち從來大阪朝日東京朝日を通し拮抗した來た所の二大勢力の中西村天因派が池部三山派たる鳥居素川、松山忠次郎の一派を社外に驅逐したことが其の一。其の結果として鳥居素川氏、大山郁夫氏、長谷川萬次郎氏等の進歩主義的のデモクラティックの言論が大阪朝日の紙面から去つて西村天因氏、本多精一氏等の保守主義の言論がそれに代つて表れるやうになつたことが其の一。東京朝日に於ては松山忠次郎氏、宮部敬吉氏、大庭柯公氏、川尻東馬氏、細井肇氏等の中堅人物が去つて從來社會部長たりし安藤鐵腸が編輯長として新幹部を組織した。そして從來の社長たる村山龍平氏が去つて副社長なる上野理一氏が之に替つた。此事件は日本の新聞界開闢以來の大事件とされて居る。斯くも多數の而も中堅を組織して居た人物が社外に去つて果して朝日新聞の將來は如何と心配せしめた程である。

▼第二回の變革は第一回のに比すれば地震の搖り返し位なものである。從來の合名會社を株式會社に變更し村山龍平氏再び社長の椅子にもどり西村、本多等の勢力が一朝にして失墜し比較的少壯記者が社の重要部につくようになつたと云ふのが其の事實である。朝日の第一回の變革は何と云つても時代錯誤であつた。時代思潮の先驅者を社外に驅逐して保守主義反動主義の老人連が之にとつて代ると云ふことは自ら死地に踏み込むものと世間の人は云ふた。故に第二の變革が相續いで行はれたのは當然の順序である。



富美子さんに傾倒して賢母主義の模範を示しつゝある堤彦[illegible]氏夫人



戸外運動で庭球に、室内遊戯で歌留多に熱心な多藝多才の千種夫人



敬虔な信仰を以て洗錬した文章を書く山野夫人は會話も流暢なもの

▼朝日新聞の大正七年末より大正八年にかけての歷史は新聞騷動の頁である。此間に於て東洋第一の大新聞と云ふ朝日新聞の名聲を乘取ふと計劃して新に大活動を始めたのは人も知る如く大阪毎日新聞である彼れは自らの經營にかゝる東京日日新聞と步調を合せて目に立つ程の活躍を開始した。そして社會記事の刷新と外國電報の改善に依つて彼は朝日の地位を奪はふと勉めて居る。朝日新聞が新時代の目覺めた青年の革命的運動を報導するに手控への色を見せて居るに反し彼は勉めて此種の記事を以つて社會欄を賑はせ專ら青年の間に人氣を得ることを勉めて居る。又外國電報に於ては世界大戰の終結頃より其の鋒芒を現はし巴里の講和會議に至つて露骨に朝日と競爭を開始した。其の實績に就ては俄かに斷定し難きものあれども長文の量に於ては朝日のそれを越へて居る。國際勞働會議の電報に至つては朝日社の特派員三名を派遣したるに對して毎日は四名を派遣した。それに外人記者迄雇ひ入れて猛烈に活動し電文の量に於ては遙かに朝日のそれを拔いて居る。これに對して世間が如何なる批評を加へるかは其の人々の自由である。亦毎日が果して朝日の地位にとつて代ることが出來るか否かは自ら社會が之を定めて行くであらう。たゞ最近に於ける新聞紙の發行部數は大阪朝日東京朝日に比して大阪毎日東京日日のそれは段違ひと云ふていい程の多數であることは事實である。

▼大阪朝日東京朝日の變革の結果として大阪に大正日日新聞が發刊された。即ち大阪朝日を退社した鳥居素川氏は大正日日新聞社を創立した鳥居氏は凡ての方面に於て朝日毎日に劣らざるものを作らねばならぬと云ふて居る。大正日日は今や其の陣容が整つたので十一月廿五日より朝日毎日と同じ樣に十二頁の新聞を發行して居る朝日毎日が三十年の苦心經營の結果到達した今日の地位に大正日日が一朝にして達せんとすることは頗る困難の事業ではあるが從來大阪朝日の中堅として日本新聞界の偉傑として世間から其の力量を認識されてゐる所の鳥居氏今後の活動は見物であらうと思ふ。

▼松山氏は東京朝日を退社した同志と共に和田豐治氏等實業家の援助を借りて讀賣新聞を買收し合資會社組織の上に氏自ら社長として之を經營することになつた。東京朝日の論説記者として一般論説を取扱ひ八面玲瓏の手腕を示した所の大庭柯公氏が編輯長として紙面の改革を企てゝゐる。從來の讀賣の特長は益々之を發揮すると共に新に政治經濟の記事を豐富にして行きたいと云ふのが松山氏大庭氏の新方針である。そして十月一日以來此方針は同紙上に着々具体化されてゐる。

▼昨年は報知新聞社にも大改革が行はれた。然しそれは單に資金の大擴張を行ひそれを新に引受けた町田忠治氏が添田壽一氏に代つて社長となつたと云ふまでのことでとりたてゝ論ずべきことはない。蓋し報知は純然たる憲政會の機關紙を以つて任じて居るが其のねらう所は寧ろ東京市内の家庭及地方に其の標準を置いて居るので東京朝日東京日日などとは別の道を步んで居る觀がある。發行部數の點に於ては今や東京の新聞中東京日日と共に一頭地を拔いてゐるのである。

▼之を要するに大正八年は動搖の時代である。從來比較的沈滯固着の新聞界の空氣が急に動き出した年である。此間に於て少壯記者の間に老朽打破少壯拔擢の聲を揚げ出して來た。此叫びは社會一般の現狀打破の波動と相呼應して比較的老朽の跋扈して居る新聞界の現狀に一大不安を與へてゐる。殊に昨年は東京に於ける新聞活字工の同盟罷業のために四日間も全市の新聞が同盟休刊をした事件があつた。斯云ふことは非常なる安日給で働いてゐる所の日本の新聞記者に最も重大なる影響を與へた。彼等も遠からず增給運動を起さねばならないであらうと云ふやうな一種の暗示を感じてゐる。斯ふ云ふ不安の間に大正九年を迎へた日本の新聞は今年は果してどんな事件に遭遇するであらうか。大正八年の新聞界は大海嘯に見舞はれたような觀がある。大正九年の新聞界には外部から大海嘯が押寄せるか何うか解らぬけれども其の内部より一層深刻な動搖の起ることは蓋し避け難き形勢にあるものと云はなければならない。（未完）

恭賀新年

年頭名刺交換

―申込順―

三井物產株式會社
小林正直　田島繁二　阪井誠治　安本明治郎　堤汀　三好廣　久根下潔　勝守陸太郎　黒田雄平　平井六郎　山田三郎　吉岡一　加藤泰一　武川西三　中野正基　加名生良信　寒河清　小室清夫　今井精三　脇本倬一　宇佐美俊治　高木隆吉

長谷川昇太郎　柳澤健太郎　野村駿吉　朝蔭秋次郎　原田立之祐　河崎虎太郎　澤田一郎　辻周一　青木玉五郎　田中亮吉　平山季明　重松傳三郎　中田周一郎　府川哲雄　小林虎之助　石川克次　深川喜一　末國猛一郎　木下照太郎　川人芳男　星隈繁一　伊藤彌三吉　田代茂樹

村井恒　阪本越男　小林憲一　逹井政一
同生糸部
伊藤武男　吉田初次郎　山路房之助　井田侍郎　依田信一　佐藤顕榮
同羽二重部
松浦長次郎　松嶋文衛　伊藤金二　泉吉太郎　青山俊敎　小泉信德
茂木合名會社紐育支店
野中幸次郎　日比野六之助　中野省三　小泉種秋　中澤幸盛　小野田友吉　高草木修一

佐原秀文　小林豐長　瀧本武士　宮田鐵五郎　高木長京　田中秀夫　松本喜一　青山一郎　丸山德三郎　鈴木孝五郎　田村幸藏　平井孝六　寺田三郎　松下磯四郎
同下町分店
岩崎武治　石井孝一　吉原恭三　大秦司敏信　橋本禎助　小林壬　小柳泰三　井上豐次　竹内象藏　寺本太十郎

西澤清治　田原敏雄　水岡平一郎
三菱合資會社出張所
山室宗文　長沼四郎　春藤和　關川貞雄　遠藤隼見　小松繁　林田敏義　佐藤純一　熊谷一彌　本田松治　高島醇　伊藤晋一　風間武三郎　杉山敏　稲垣長五郎　谷村順藏　三木維四郎　花房斐夫　堀朋近　岡村平次郎

森村ブラザース
在日 地主延之助　中山武夫　福嶋三五　本多錠太郎　古田土雅堂　在日 佐藤清　山口萬次郎　千種兵太郎　高野彌一郎　深堀理三郎　塚本錬一　松木喜八郎　竹橋伊作　大矢寛次郎　吉本梅三　志賀孝太郎　田中良作　鞭馬健之助　木嶋長一郎　土谷勝一
久原商事株式會社紐育支店
福嶋金馬　菱田龜太郎

千原三[illegible]　辻村琢磨　藤村壽　寺田立雄　東野和吉　石川哲　福澤谷藏　西橋外男　河野壽一　藤田辰善　荻野憲一　渡邊錠七郎　山田志道　南小柿四郎　加藤秀二郎　小田安馬　小牧平藏
神戸鈴木商店紐育支店
北濱留松　石谷金二郎　泉隆三　土居内藏　戸田佐吉　尾中寅次郎

横矢重孝　建石次左衛門　宇賀一男　城戸陽　白石萬騎司　森下德馬　助野俊三
同絹物部
貞廣莞三郎　泉威八郎　小谷政太　鶴岡松之助　久保博義
山中商會紐育支店
牛窪第二郎　宮又一　山本清太郎　山中吉太郎　石見宇三郎　民部榮太郎　下間豐治　田中吉次郎　赤司[illegible]一
臺灣銀行紐育出張所
江崎眞澄

在歐 武藤貞[illegible]　三木寛治　北[illegible][illegible]三　工[illegible]敎平　細羽金太郎　石毛竹治郎　伊地知季義　宮田章治　名倉[illegible]作　有働一男　大日和千代[illegible]　水田錬藏
日本郵船會社出張所
龜井一彥　三雲勝治郎　田村保[illegible]　河原武夫　生駒實　木村義雄　河嶋利勝　長谷川喜一郎　阪田康治　喜多村高敏　大塚勝治

紐育新報（其三）

三等藝術國の米國

長沼重隆

【一】

先月中渡米して西部地方で數回の講演をやられた野口米次郎氏は、英文學の中心地は倫敦から紐育に移りついで市俄古に移動した揚句、遠らずは日本を彼岸に控へる太平洋岸へ西漸してゆくだらうと言つてゐられるが、この思ひ切つた斷定に對して私は何うも首肯し得ないのである。といふのはそれが歷史的に正鵠であるとも思へなければ、理想的としても無意味であるからだ。

我々は清敎徒の渡來前後から外の世界から渡つて來た雜多の人種を含んだ米國人が、この荒茫たる大陸に人間の力の偉大を思はせる驚異の物質文明を築き上げた事蹟に對して感歎を惜しむ者ではない。併し所謂米國の國是と稱する崇高なる建國の精神やジェファソニアン・デモクラシイや例の『民衆の爲めの政府』云々の言葉に依つて記憶されるリンコルンが民衆中心の人道主義の如きは、前世紀の死去と共に忘却の淵に沈んだのではあるまいか。從つて我々は米國人の文明のうちに、精神的方面を代表する何等特色ある藝術や、獨創的な思想を今日發見し得ないのは寧ろ當然のことゝ言はねばならぬ。エマアソンを稱へる人がある。私はこれに對して別に異論は申立てぬが、エマアソンは現代の我々に向つてメエタリンクが彼の哲學に見出したやうな共鳴を求める資格はない。彼れは外面流動のライフを看過してはゐなかつたか。白血球の少ない哲學だといつたら餘りに酷に過ぎるかしら。

【二】

『新民主々義』の著者ワイルは『時世の調子が我々の趣味に合はなかつたり、我々が何か自分らの有つてゐないものを所望する場合、我々が最も本能的に問題の焦点とするのは過去の黄金時代を渴望することだ』といつてゐるが、これはリアクションの心理といふよりは、水中の月を捕へんとする猿に似た人間の淺墓な本然的な傾向であるといつたらより妥當であらう。

見果てぬ夢に生きるとか、既往の神秘的な花紋美しい傳說のうちに無限の詩趣を見出すといふ言葉があり事實がある。伊太利の文藝復興を有する西半球に、ラファエル前派の詩人藝術家が輩出したりセーヌ河の流域やアルサス・ローレーンの地方に哺育された浪漫的でしかも質朴な倫理的訓練と祖先崇拜の觀念の浸透してゐる羅甸民族の間に傳統主義の勃興したのも偶然ではない。

所がこの米國で、解剖して見れば案外內容の朦朧たるアメリカニズムが唯一の旗幟である此米國で、特殊な優れた鄉土藝術のひとつも持たず從つて傳統も何もない癖に因襲打破で御座るの新藝術の創造で御座るのと、舊世界の覺醒者の驥尾に附して騷いでゐる連中のあるのは笑止千萬である。自家撞着も玆に到れば滑稽を通り越して居る。無い袖はふれぬ道理、移民文學に毛の生へたやうな米國文學に東漸も西漸もあつたものではない。彼らの文明は畢竟成上り者の文明である。傳統の衣を脫ぐにも脫ぐべき何物もないではないか。根抵も確信もない改新の銅皷の雜音こそ物々しいが、心あるものにはサアカスの道化役者の宙返りを見てゐるよりももつと〳〵悲慘な感かする



武市の閑居に讓司と維廉の二兒を敎育しつゝある足達竹馬氏未亡人

【三】

繰返して言ふが米國の文藝、美術史には英國のエリザ朝の盛時もなく佛國のバアビゾン派の精華もなく獨逸のゲーテ、シルレル時代、諾威に於けるイブセン、ビュルンソン時代のそれに匹敵するものは更にないのである。飢へたる時に、去年の收穫の美しい果實の甘味なるものを偲ぶよすがとなる何ものも保有しないのである。我々はこの寂寥たる米國の文藝史上に、孤獨な奇才エドガア・アラン・ポッと『多く反抗して少く服從せよ』といつた『草の葉』の詩人ウオルト・ホイットマンの二巨匠を見出すことに依つて滿足せねばならない。美術界に於てホイッスラアとセント・ゴーデンを擧げることも忘れたと思はれては困る。

現代の米國藝術、文藝界で最も注目すべきものと稱へられてゐる詩壇に於ても、一通りの瞥見だけで一人のボウも一人のホイットマンも發見しないといつて失望する人があれば

それは失望する人の慾である。[illegible]劇界の脊競べだといつたら僻目かどうか。理解のない國民のうちから偉いものが稀に出て來るのが理外の理だ。ホイットマン、カアペンタアと並べて世界の三大民主々義詩人と呼ばれたホーレス・トラウベルは最近天下一品の貧乏人として死んで行つた。勞働者の聖者とよばれる彼の第一著『チャント、コムミユウナル』は古本屋の棚に塵に埋もれてゐる。

それが劇壇と來たらこれ又秋風落寞たるものだ。米國內では老功を讚へられてゐるアウガスト・トウマスの如きはサルヅー、ピネロ等が靴の紐も結べる男ではない。社會劇の第一人者と呼ばれてゐるエウジイン・ウォタアなどは十年前の『いと易き道』以來何等の進境も示してゐないではないか。何事にまれ世界一を自慢したがる米國が文藝美術の方面に限つてそのポーストを擅にし得ないといふに到つては私もこゝらで多少の俠氣を出して一代の驕兒米國に對して滿腔の同情を拂はざるを得まい

【四】

『ライアルト』=『ストランド』それから『リヴオリ』があの電氣看板を灼々としてブロードウエーに耀やかしてゐる限り、米國はその藝術に於て第三等國たる光榮を擔つてる譯だ。弗は結局藝術の好い道連れとはなり得ないと見へる。米國劇壇の寵兒はイプセンでもなく、ハウプトマンでもなくベナヴインテでもなく或はまたチエホフでもなく、要するに排日で天下に名を揚げた加州が本場の活動寫眞に外ならぬ。

私は十年此方、米國劇壇の中心地になつてる紐育に對しては嘗に多大な憧憬を抱いてゐたものであつたがこの春此處へ遣つて來て、諸々の劇場の出し物を覗いて見て少からず失望したのである。何も私だつてこの米國にはラインハルトがゐないからゴールドン・クレーグがゐないからと無理な注文はせはしない。そこには輸入のジヨセフ・アーバンがゐるエドモンド・ジョウンスもゐるし賣り出しのロロ・ピータアもゐないではない。役者の鏘々たるものに乏しいといつた所で、そこにはオウテス・スキナアもジヨウン・バリモア、[illegible]のナジモワ夫人もゐる。それだのに毎シーズン脚本、役割、上演の三拍子整つた優秀なものといつたら二つと出ないといふのは何うした譯か。

私は是等の理由をすべて此の觀衆の低級に歸する。商賣上手な興行主は單にお客樣の趣味を迎合するだけなのだ。憎む位な罪でもない。往年觀衆敎育と名篇の財政的サポートといふ主義を標榜して設立された米國演劇協會も、この頃は初めの意氣込みが拔けたらしい。そして隨分と詰らぬメロドラマや文藝的に無價値無內容な劇を會員に推薦するために、多大の金をブルテン印刷費に浪費してゐる。斯うした先覺者連を幹部として成つてゐる同協會が唯一の革進機關である米國劇壇の先途といふものは可成り心細いものといはねばならぬ。

【五】

此間『紐育コール』の記者がこぼしてゐた。アルチバセフの『戰爭』やポーラ・デック夫人の『人身供用の神』=どちらも脚本=がセコンドハンドの本屋に大安賣の札がぶらさがつてゐたといふのであるが、こんなことは米國人にとつてはお茶の子である。結局米國は藝術家の樂園ではない。脚本は彼等にとつて藝術品ではなく、唯一のコンモテイデであるのだ。

日本人はモップの國民だ。併し米國人も日本人には劣らぬモップの國民である。モップとは盲目でた調子者の衆合の名である。米國人よ、君らはお調子者の名が氣に喰はぬと駄々をこねてはならない。君の國のモップは黑人をリンチするばかりか獨逸の歌劇の上演に反對して大騷動を惹起した。君らは敵國の藝術を私刑することを手初じめに、やがて何をしやうと目論んでゐるのか、アメリカニズムはキャツシレジスターの味方ではあるが精神文明の結晶である藝術は敵であると宣言するか。〔十二月三日〕

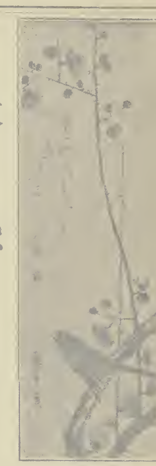
◇新報叙任辭令◇

紐育駐在總領事　熊崎恭
國立殖毛院々長ニ任ズ
追テ莫斯科駐劄全權大使ニ任ズルコトアルベシ

鐵道院事務所主任　山口金太郎
紐育釣魚株式會社專務取締役ヲ命ズ
精々漁具改良調査ノ實ヲ擧グルヲ要ス

雜誌東光主幹　大堀篤
紐育廣告商會頭取ニ任ズ
但從前通リ公共事業ニ盡瘁スベシ

横濱正金銀行取締役兼紐育支店支配人　一宮鈴太郎
日本杖球協會々長ニ任ズ
正金重役日會々長如故



凍つた窓

――エムワイ――

□
事務室の凍つた窓の溶くる陽に鞭唸鳴らして鳩舞はす人
□
受話機とれば女の聲の耳に優さし機械の音とハーモナイズして
□
『獨逸戰意あり養兵に忙はし』と歐電に見ゆヒートの足らぬ工塲は寒し
□
小犬抱くファーの上着の人若し英語敎ゆと笑む唇は………
□
つけ〳〵と威張るがおかし何も見ねぬ凍つた窓に似たる頭よ

日曜の午後

――紫洋――

□
長江に眠るが様な船幾つカモフラージに夕陽は榮ゆる
□
一つ一つ落葉重ねてピンを刺す其手握れば冷たき瞳
□
尼さんの優しき笑みに迎へられ齒を食縮り酒屋行き過ぐ
□
一杯十五仙が七十五仙法を犯かしても飲み度いはたかし
□
紅き頰のほくろ可愛ゆし舐めて見たしでも其人は人妻なれば

浴みする女

――梧朗――

□
琺瑯の湯槽にひたす肉ゆたか五尺の髮の渦卷く邊り
□
湯氣に蒸され倦怠れ心地の春の宵血を吸ふ女慕はしと想ふ
□
經机に亂れ心地の身をくづし魔神たらんと念ふ春雨の夜
□
法華經はいとも尊し御佛は罪の甘さを知り給ひしや
□
三味線は懐かし戀し勸進帳うなぢに淡く御愁搖らぐ
□
軸を轉じ撥取る女面はやせし時雨の細く赤き夕に
□
胸に漂ふぬば玉の髮蛇のごと恐怖く吾れを呪ひて止まず
□
おく霜に紅染めて吾が僚友は名もなく逝きぬマユールの原に
□
塹壕の鼠夢みて目覺めし夜ヒートある家うれしと思ひぬ
□
若く美くして戀して死にし淪落の女の靈に幸あれと祈る

袂別

――一羊――

□
晴れてまた曇る彌生の月かげも世のはかなさを我に敎へて
□
ぬれてよりかはくひまさいなき袖にまたふりかゝる花吹雪かな
□
ともに見る花の春さいなきと知る今日の門出に春雨ぞ降る
□
忘らるゝ日ぞはやかれと祈るなりまたまみゆべき君にあらねば
□
さして行く三途の川の雪水に繪筆あらひて君を描かん

赤き日の頃

――きよ子――

□
赤き腹そつと見せゆく乙鳥の脊にもこたゆる今日の棘雨

□
夢の世を夢より夢にながめつゝ黑髮たゝむ紅の女
□
たはむれが眞になりし時に似て雲の晴れ間を月出づるなり
□
忘ればや世の何こともぶつつりと襄荷を食ふて忘らるゝなら
□
戀うれしうれしき戀もつもりぬれば戀せぬ時ぞうれしかりけり

御題に因みて

――舌切り雀――

□
惠みある世をも嬉しく早咲きのうめも田家をほこる今日かな
□
初雪のちらと懸れる田家の梅のつもみ美くし旭のてれる
□
賤が家の軒塲の梅もはや咲きて麥の若芽に霜の光れる
□
かしこくも田家の梅に題すれば早や吹く東風の香りこそすれ

眞珠とり
―及び其他の詩―

佐々木指月

眞珠とり
今日も眞珠は取りあねず
鳴戶の岩に寢そべりて
海艸ならす、はろばろと。
岩が根あらふ雌雄の波
うしほは落つる、夕まけて。
ああ、海艸の音ばかりぞ
鳴戶の濱に眞珠とり。

虫採り

鈴虫は、つひにすだかず草丘に。
圓く、かさなる丘なみの
はてに、かたむく白烟り。
かけくだりまたのぼる草丘の
綠は、とほし、なびく烟。
虫袋、今は、あだなり手にありて。

山の戶

手を擧げて何をよぶや
山の戶に立てる子よ、
かげろうにゆらぐ裾
膝にみじかし
素足にふめるみちの土。
聲たてゝ誰をよぶや
岡の戶に立てる子よ
髮はそよげり
あを空に、山又山は
肩のうしろに波うてり。

空に入る道

たゞ一と筋の道なれど
かくも心にしるされて
忘れかねたるかなしさよ。
冬はたわまもなき雨の
春の一と日に晴れあがり
空はあさぎに染りゐき。
道ははるかに野を越ねて
空のかなたにたはみゐき。
道にたまりし雨の水
水にうつりし春の空
次より次と道のうへに
落ちてつゞきし空の色
あさぎは遠く野を越ねて
はてなく我をさそひゐき。

炎ゆる火

あの人

女の髮は女優髷、
日本から來たばかりのものごし、
悲しみは笑窪に闇い。
夢に畫いた此の國
來て見れば四屋に似たる。
外はおど〳〵し人の群。
淋しさを身にしめて籠り居れば、
日本が戀し。
とろ〳〵と炎ゆる火。

うつし繪

藤岡不明

この寫し繪
色あせて
むかし遠く
暖かきそが園に
咲きし日

華

火の如きペタルに
色濃く吻ひしみつ
二人せしこゝろの影
うすく
今
我が手に

詩二つ

□
轢死者は
若かき女と聞き
寢床を
出づるをやめて
物を思へり

□
淚が
胸一杯になり
ふと
仰げば
月も
うらぶれて
光りあへず

小品　# 解放

佐々木指月

『こうして了へば、お互ひに道徳の高い人間に見へる』と、ボオリンが耳のそばで囁く。ボオリンの手の先はまだ冷ねてゐた。

ボオリンの膝は思つた程、安樂ではなかつた。茂ちやんはずり落ちないやうに腕をボオリンの襟にからんでゐた。

『道徳の高い』と、茂ちやんはうつすら目をあいて『たとへば裸體でゐてもお互ひに道徳は高いちやないの?そんな事を云ふ處を見るとお前はまだハアトのオペレーションがすんでゐないねへ』と云ひながら、またすやすやと今にも寐入りそうな息をしてゐる。

『ハアトのオペレーション、子供よお前はどこからそんな事を聞いて來たの』とボオリンは、茂ちやんのつむりの毛を、撫せながら『可愛さうにお前はつかれたねね、でもお前は悪い子だよ、一と月にたつた一度か二度、おつこちたやうに人のうちへ來て、この寒いのに私にこんな思ひをさせるのだもの、お待ちよもつとストオブに木を入れるから』

ボオリンは立つて、ストオブに木をくべた、前からあつた焚ねさしはまた一しきり小な赤い舌を動かして新しく來た木の皮をなめてゐる。

ボオリンの大きな目の長い睫毛に胸にかけた眞珠が、外は鎧戸を締め切つた窓のレースのなかに映る。

茂ちやんはボオリンが椅子に歸るのを待つて、またその膝に身を落した。その側いおとがひの下に額を押し當てた。茂ちやんの黒い目は、だんだん明るくなつてくる室のなかで、はつきりと明いてゐた。

『ボオリンよ』と茂ちやんが思ひ出したやうに、『昔しはみんな人間が神様の前で懺悔したねね』『小供よ、今でもまだしてゐるよ』とボオリンが言葉をする、茂ちやんか『だか今夜は私はお前に懺悔をするよ』ボオリンは『そう、いゝ子だねね懺悔をおし』た前のハートを皆な隠さず』と茂ちやんは『いゝね、私はそんな懺悔はしないよ、私はね、お前と逢つてからは本當に自分と云ふ牢獄を出て自然な心持になつたのよ、垣根を越して廣いところへ出たやうな心持ちになつたよ』

ボオリンは茂ちやんの顔を眤と見つめながら『可愛さうに私はこの子を墮落さしたよ』と、茂ちやんの唇にキッスして、『そんな垣根なんかどこにも世界中にありはしないよ誰れでもどこへでも行きたいところへ行くがいいんだよ。でもよ、かうして私の膝に抱かれるやうになつたよこの子は』

『ボオリンよ』と茂ちやんがなづかしさうに『でも、つらいつらいハートのオペレーションを私は私の手でしたよ、お前の膝に抱かれるあの黒猫もやつぱり私の一部分よ』

ボオリンは側のソファに寢てゐた黒猫を茂ちやんと同じやうに膝に乘せて『ハアトのオペレーションだつて、だれがそんな言葉をお前に敎ねたね?本當にお前は悪い子だよ』。



小品　# 雨降る宵

藤岡昇

彼は憫然と戻つて來た。

頃日の彼は哀れなほど面窶れがして心の苦悶があの顔に遺憾なく曝露されてゐる。

神經の昂奮しきつた昨今は睡眠がたりないのか眼が血走つてる様に物凄い程充血してゐる。

家の中は森閑として『お歸りなさいまし』と優しい聲で迎へて呉れる人は勿論なかつた。

窓は央ばシエードが下されて室内は薄暗く何んとなく陰鬱の氣分が急に寂みしい彼の神經を刺した。テイブルの上には食殘したパンの切れとコーヒーの飲みかけが今朝出掛けに置いたまゝ冷めたくなつてゐる。

窓際に首を吊つた布は陽に焼けて青黒く、俄に曇つた空模様では部屋の内は一層暗く、隅々強い稲妻の起る度毎にウォールに掛つてゐる肖像畫は今宵にかぎつて感傷的の顔をしてゐる様に感ぜられた。

去年の秋から依頼れてゐる油繪はベッドの下に塵埃の中に捨てられてある。

デスクの上には新刊雜誌その他の書籍がだらしなく重なつてゐて繪具の殘み潰したのや、煙草の吸殻がフロアーに散らばつて部屋は甚だしく亂雜になつてゐる。故國から來た手紙は皺苦茶の死骸となつて屑籠の中に投げ込れてある。

唯だ時計は死んだこのシーンの中で獨り活きてゐる様にセコンドを刻んでゐる。

此の光景を無言で眺めてゐた彼は靜かに暖爐の前の椅子に腰を下した。

室外には軌を走る電車の響……偶々消魂しい自働車の音は憂鬱な彼の心を亂す一つなのであつた。

雨降る宵の遣る瀬ない深い思案に沈んだ彼の眼には何時しか涙が漲つてゐた。

ある印度人の話

坩堝

ある雪の降る靜かな夜でした。私の知つてゐる印度の學者は瞑想的な額を撫でながら、かう語りました。

「いまの世の中ほど悪いことが、善い名に依つて遂行された時はありません。その総べての欲望が一個人あるひは小數の者の、もくろみに起因してゐても、その表面だけはデモクラシイとか、人道主義とか、生活の自由とか、美しい浪漫的な言葉が使用されてゐます。これはモッブの勢力が蔑視することのできないのを證明するとともに、小數の有力者が何うすればモッブの心理を統御して、自分達の腹を肥すことができるかを考究した結果、編みだした一つの奸策であります。モッブの潛勢力が強い國では、誰か一人がデモクラシイを高唱し、自由を叫ぶと、モッブは直ぐに血を沸かします。彼等は洞察力がありませんから、その内容はどうでも、ただ美しい文字を綴りさへすれば好いのです。だから彼等の大統領にでもなつて、持てるやうなのは雄辯家か文章家などの類です。彼が小民族の獨立を叫ぶのは、敵國治下にある小民族の解放で、それが直ちにデモクラシイの白粉で糊塗されてゐる資本的帝國主義の王様に隷屬を意味することです。そして初めから隷屬してゐる弱小民族はます〳〵その壓迫を強められて彼等の國の豐饒であつた土は痩せ、一度は緑の薫つてゐた山は禿げ、華なやかに榮へた都は荒廢しても住民が骨と皮だけになつても、資本主義の王様は飽かず血を吸ります。私の國の印度なども二億余りの住民は無學文盲です。資本主義の王様は人民の學問が非常に御嫌いでゐらつしやいます。もしカイゼル様がこの度の戰爭の責任者で人道の法廷で審理されるのなら、ジョージ五世様も印度三億の民を饑餓に瀕せしめた罪は、ヤッパリ同じ法廷で審判せねばなりません。支那人もいまのやうに頑迷であつたら直きに資本主義様の犧牲になります。日本も危いところでした。ですが資本主義様を新らしい偶像にして拜むやうになつたら、それこそ大變です。でも日本人の方はみんな聰明でゐらつしやいますから、そんな心配はないかも知れませんが、危險なのは無智です。モッブは直ぐに悪い奴の陷穽にかゝります。悪い奴が悪い事をしないやうな社會組織とか經濟組織とかを構成するのは、いまからの若い方の責任です。それには昔印度のバンジジャッブといふのがありました。それは今の地方ソヴィエのやうなものですが、また後で話しませう。長くなりますから……」



伊太利人の青年畫家ゴビー氏の描寫した近藤佐重郎氏夫人の和服姿

長唄『猿舞』

文政三年杵屋六四郎作

本調子『猿が參りて此方の御知行まさる猿日出度き能仕る。踊るが手元及びなき、水の月取る猿澤の、池のさざ浪ゆう〳〵たり。指手引手の末廣や『月にたとへし止觀の窓此方の御庭を見あぐれば、片われ月は宵の程『可愛〳〵こさよへ、だまして置いて、松の葉越の月見れば、しばし曇りて又冴ゆる。あすは出やうずもの舟が出やうずもの。思たげもなくおよ〳〵君よの、『船の中には何とおよるぞ『苫を敷[?]のかぢ枕『晩の泊りは御油赤阪に『吉田通ればナア二階から招く、しかも鹿の子の振袖が、奴島田に丈長掛けて、さきのが品やる振辻めさ、手際見事に投草履、ありやんりやりや、こりやんりややりや、粹な目元に轉りとせ、仇物め、留めて留まらぬ戀の道、馬場先のきやれ色めく飾りの伊達道具『昔模様の派手奴、是かまわぬの始めなり『まりの庭にも猿の神、廐の猿の馬漉神、猿と獅子とは文珠の侍宿、時しも開く冬牡丹、花の富貴の色見ねて、榮ゆる御代とぞ祝しける。

小説　罪人あるなし

石垣榮太郎

「自分達の智慧では推量ることのできない事柄でも、大きな考慮をもつた人々の眼には、その總べてに存在の意義を認めることができ、基督のやうな高い、大きいそして深い愛の心で、總べての存在に接することができるものだ。自分は今、この忌はしい出來事について、腹をたてたり嫌惡の心で考へたりするのは、要するに自分がまだ人としての洗練が足りないからだ、もう少しあの不幸な友の死に同情をもつて、その亡骸をかたづけねばすまない西田も不憫だ……」あまり他人の世話をするのを好まい私も、だれも來るものがないので、嫌々ながら出て來たものゝヤツパリかう思ふよりほかに仕樣がなかつた。滊車は枯木と枯木との間を一直線に貫いて、勢ひよく走つてゐた。私は霞んでゐる窓硝子を透かして外を眺めた。まだ四時にもならないのに外は夕暮れのやうな灰色がたて罩めてゐた。寒むさうに四五人の伊太利人の鐵道工夫が、シャブロを手にしたまゝ滊車の過ぎ去るのを待つてゐたのが私の眼を掠めて過ぎた。私はうつとりとなつて、光を失つたやうな夕陽が微かに枯木の梢を昏い紫に染めて低い岳の彼方に靜かに落ちてゆくのを私は飽かず看めてゐた。コローの描いたやうなデリケートな感じが昏い紫の梢に漂つてゐて、感傷的な私の感情のうちに快よい刺戟を投げ與へてくれた。私はなほ飽かず看めた。と、私の腰をおろしてゐる傍に人の動く氣合がしたので、振返つて見た。けれども誰も來てゐない。むかうの方に行商人らしい男が新聞を見てゐるのと二三人の女が小聲で話してゐるのは最初から氣づいてゐたので何の不思議はないが……『はあて不思議だなあ』と思ひながらも、あまり氣にも留めずまた外を看はじめた。と、二三分もたつたかと思ふとまた人の氣合がしたので、再び振返つて見たが誰れもゐない。氣のせいかしら……と思つて、むかうを見ると誰だか歩るゐて來るので、よく見ると、それがいま私が亡骸をうけ取りにゆく途中にある西田なので、私はその時「ギョット」した。瘦衰へた蒼白い顏が、氣味惡るく微笑すると思ふ間もなく彼は私に近づいてゐた。そして「柳瀬君どうもすまなかつた……お影で僕も日本へ歸れるから安心してくれたまへ」といひながら私の手を握つた。私は彼の「冷い手」を感じこハッと思つた時は西田の影はなくなつてゐた。「私は今だにその「冷い手」の感じが拔けないで困つてゐる私の見た西田の幻影が單なる幻影であるのか、それとも幽瞑の境をへだてた人々の魂が事實に於てマテリアライズすることがあるのか、それは私達の智識の範圍ではない。」私は氣味惡くなつたので、靜かに他の事を考へやうと勉めてみたが、私の頭に潮のやうに押し寄せてくるものは總べてが西田の生前を圍繞してゐた事柄であつた。

「生きてゐても偉い畵師にもなれなかつたであらうけれども、いつも口癖のやうに言つてゐた日本に着いてから死なしてやらなんだは殘惜しい」と私が西田といつしよに住つて居た男に話したら、

「然し日本へ歸つて一人の兄に會つて見たつて會はないのも狂人だから同じだヤッパリ誰も知らない所であして死んだ方が結局よかつたのかも知れんよ」と言つたのが私の記憶によみがへつてくると、それが端緒になつて、いくら手繰つても盡きない記憶がずん／＼生きて居た時分の西田を中心として活動しはじめた。

西田が醉つた元氣で話したところに據ると、彼がロサンゼルス方面に放浪して居た時分は紅顏の美少年で女からよく惚れられたといふのであるが、廿年も前のことだから、彼の記憶もうすらいで居て、判明りとはしないが彼の心を刺戟した二三の事だけが鮮やかな影を留めて居た。話上手な彼はそれをリアルステックに隨分面白く話した。彼が話しにかゝると『おい止せよ、また六十六丁目の女の所に三弗持つて行つてやらなきやすまないから』とオーが言つたほど猥褻なところまで入り込んで了ふのが常であつた。淫猥な女醫者とその妹の公立學校教師と二人暮しの家にスクールボーイに行つてから、獸のやうな欲望に暴れ狂ふて居た三十前後の姉と妹とに關係したこと。それから姉妹がた互の秘密を知りあつてから嫉妬の角を突き合つて大喧嘩をした揚句、妹が別れて住むやうになつた。で、どつちに行かうかと迷つて見たが、ヤッパリその道にかけては玄人な姉の方が面白く女醫者の方で働くことになつた。その女が他にも二三人の男と關係して居るのが判つた時分には烈しい病毒を女から受けて居て、もう取り返へしのつかない赤い魔の淵に足を入れて居た。で、これでは駄目だ、こんな女にくつついて居ては浮ぶ瀨がないと、心に定めて、その家を逃げ出してから畵師になる迄には隨分永い話であつた。

西田が紐育を立つてから、市俄古から音信がある筈だのに、それが無いので心配してゐると、それから二三日たつてから西田の死が日本人會の手を經て私達の小さなサークルに傳つたその時ワイ、ドクターから四十何弗かのビルが來たので、オーがそれを支拂ひに行つたら、ドクターはそれを請取つてから、香奠にといつてその儘オーの手に渡し。ドクターがオーに話した所によると梅毒はもう第三期に入つてゐて一ケ月に一度はかならず六百〇六號を注射してゐたのであつた。そしてこの恐しい藥と病毒とのエフェクトが彼の腦髓に喰ひ入つたので、西田が狂人になつたらしいとつけ加へた。無論氣狂になつた原因はただそれだけではないらしい。女に對する失望や、畵の方も彼が非常に崇拜してゐた畵家からも、前途を悲觀してゐるやうな口振りを聞かされてゐたので、それやこれやが氣狂ひになつた原因なのであらう。

滊車の速力が緩るくなつて、ペンシルヴァニア州の鐵道のジャンクションになつてゐる、小さな市街に私を吐きだして西の方に去つた時は日がトップリ暮れてゐた。私はすぐにタキシイで西田の亡骸が横つてゐる監獄病院に馳せつけて見ると、掛りの巡査が先にたつて薄暗い廊下を何んべんも、廻つて最後に地下室に行つて見ると、五つの屍體が轉がつてゐる中に一つの莚に蔽はれてゐるのが西田であつた。巡査は物質をでも取扱ふやうに足で、その莚を取りのけて、『これが、あなたの友達です』と言つた。今此處に來る時滊車の中で見た西田の瘦せた蒼白な顏の幻影と、そこに轉つてゐる屍體のとがあまりに同じなので驚かされた。彼がナショナルアカデミイにゐた時分によく言つてゐた『クリムソンレーキを塗つてから皮膚の色を描くんだ』が私の頭を掠めて通つた。血の氣の無い罪人の死體は、監獄が『死人の家』であることを、より強く私に思はしめた。

『こゝに轉つてゐる狂人と罪人との屍體が死人であるやうに、この巨大な建物の中に呻吟してゐる多くの人人の魂も死人だ、罪人といふものが果してこの世の中に存在するであらうか。これ等の人々が眞實に罪人であるならば、監獄の外にゐる自分達は罪人でないのだらうか『罪ある者が罪ある者を石にて擊つ』法律が果して正當であらうか。彼等は罪人では無く社會組織の缺陷から來る時代錯誤の犧牲であるのだ基督はその缺陷を埋めんとして十字架にかゝり盜人は盲目にその缺陷に墜落して十字架にかゝつたのだ……』色々の考へが私の頭にこんがらがつてゐた。地下室には嫌惡すべき臭氣が充ちてゐた。冷い血が私の足から脊筋から頭の方にのぼりはじめた。私は身ぶるいした。莚を西田の屍體にかけると直ぐに、馳けだすやうにして地下室を出た。

歸りに私は巡査になぜ西田がかうした處に來たのかを尋ねて見た。その巡査の言ふところに依ると、紐育から此處のステーションまで來る途中に、滊車の中でフローアを汚したので、他の客が非常に嫌やがつて、車掌は彼をそこの停車場に下ろして了つたといふのである。その時彼の手には十弗の紙幣が握られてゐた。途方に暮れてゐたらしい西田は、そこにあつたタキシイに乘つたのであつた。その後はどうなつたか誰れも知るものはなかつた。

そのあくる朝、或る人通りの少ない街のサイドウォークに、シャツ一枚にされて倒れてゐたのを通りかゝつた巡査が發見して、警察に連れて來て見ると、非常に熱があつたので警察の馬車で早速監獄の病院に連れて往つて醫者に診せるともう駄目だと云ふのであつた。で、水をくれと云ふから與へるとがぶ／＼グラスに四はいも續けて飮んだ。住所も姓名も判らないので、その町に料理店を經營してゐる日本人を呼んで尋ねさしても一向要領を得ない、たゞ「シウドウカイ」と微かに二三度言つたなりで死んでしまつた。

それで、その日本人は紐育の日本人會に手紙で事件を報告すると共に「修道會」といふのがあるかどうかを問合せて來た。で、同會のケー君がその事を修道會に言つて來たので、私はこゝに來たのであつた。

私は、その巡査に、西田が世話になつたことをよくお禮を言つて、西田が紐育を出發する時には五十弗の金を、市俄古の島津牧師に宛てた賴み狀と共にコートのポケットに縫ひつけてやつたこと、その他に十弗をシャトルまでのテケットを買つて、ペンシルヴァニアの停車場から乘車せしめたことなどを詳しく話して、屍體の處置を宜敷く賴んで、私は監獄病院を出た。

私は張りつめてゐた氣が弛るむとホッとした。そして、今朝紐育を出る時に修道會の人々が非常にシャトルのアイ牧師について憤慨してゐたことを私は思ひ出してゐた。

「僞善者……利己主義……乞食」あらゆる言葉が去つた後のその牧師の姿の上に浴せられてゐた。

彼等の憤慨するのも無理はなかつた。修道會に宿をとつてゐて、皆んなが世話してやつたお蔭で、僅か一ケ月餘りに方々の會社、商店から集め得た金が二萬弗あまりもあつてシアトルに歸る時に西田を連れて往つて下さいと賴まれたが、言葉を左右に托してそれを斷はつたのだ。そのために西田もこんな悲慘な死に方をしたのである。

だけれども、その牧師が若し私であつたとしたらどうだらう。ヤッパリ斷はつたに違ひない。自意識の滿足に働いてゐない男を荷物にして歸る苦痛は果してたへ得られるであらうか。

『そんなら牧師の看板を取れ』と云ふ人もあるかも知れんが、牧師も人間であり、その聖職とやらがヤッパリ飯を食ふための方便であるとすれば、僞善も必要であらうし、利己主義も決して攻擊はできない。牧師も基督の弟子だといふ考へを前提としてのみ、責め得らるべきだ。牧師も商賣だから、その總べての行爲にも一々道理がないではない』私はこんなことを考へながら、その街の薄暗いところを歩るいてゐた。寒い風が私の耳朶を切るやうに吹いてゐた。

紐育新報

(其四)

労働組合法と治安法の關係 (三)

▽組合法の内容と言論界の論調
▽治安法存置と労働組合の價値

(七)

第二に問題たるべき点は、治安警察法第十七條と新労働組合との關係に就てであります。是れは頗る重要な問題であります。

國際労働會議の開催中、労働側代表桝本卯平氏は(一)政府に一の覺書を提出し、政府の新に制定せんとする労働組合法の内容如何(二)政府は治安警察法を撤廢する意志ありや。との質問を發しました。政府の之に對する回答は、當時既に世人の熟知せる如く、(一)政府は労働組合法案を次期議會に提案する準備中なれ共(二)治安警察法は労働運動にのみ關係を有するものにあらざるが故に、之を撤廢するの意志を有せず、と云ふのでありもした。茲に於て、治安警察法存置の下に於ける労働組合は、果してどれだけの効力を發揮し得るやの問題が起ります。

(八)

治安法中労働運動と最も深き關係を有する條項は其第十七條である。本條に依れば傭主側並に被傭者側が共同的働作に出づる場合、具体的に云へば、工場閉鎖若くはストライキを為す場合に、暴行、脅迫、煽動、誘惑を為したものは何ヶ月かの禁錮刑を課すと云ふのであります。本條は資本家側にも労働者側にも双方に公平に適用することになつて居るが其罪を構成する動機となるべきことは労働者側に最も多く、資本家側に極めて尠なきが故に、事實上に於ては殆んど労働者を目的とする所の規定の如くに解釋されて居ます。

(九)

それで労働者がストライキを實行する場合に、本條が如何なる働きを為すかと云へば、暴行や脅迫の行為を罰することは勿論、同志の勸誘及び其主旨を徹底せしめ、同志の結束を鞏固にするための演説等までが誘惑煽動の罪名の下に罰の原因を構成します。凡そ多數の人々が共同の動作を為す場合に、個人的勸誘や志氣を皷舞する為の演説等の手段を用ひることを許されずして、如何にして其目的を達することが出來ませうか、斯かる法律の存在は『ストライキは絶對に罪惡なり』との前提を承認するにあらざれば、之を是認することは出來ません。『ストライキは好ましからずと雖も、労働者にとつては唯一の武器なれば或る場合には亦止むを得ざる行為なり』との思想を既に了解し是認せる日本社會の輿論は治安警察法を極惡無類の法律として痛烈なる攻撃を加へて居ます。日本の労働組合の發達せざる理由は、一に治安警察法第十七條あるが故であると申して居ます。そして、是れは一般社會の論客が斯く云ふのみでは無く、政府當局者までが其惡法たることを認識して居ます。即ち昨年の秋床次内相が『政府は治安警察法第十七條の適用を手控へすべし』と宣言したことは其裡面解釋をすれば『本條は惡法なり』と云ふことゝ同意味でなければなりません。現に此法律に觸れて罪なきに其身は獄裡に悲しみ、妻子をして餓に瀕せしむる労働者の數は實に枚擧に遑無き程であります。

(十)

斯く現内閣は治安警察法第十七條の惡法たることを認め、之が適用を手控へすべしと宣言したが、政府の都合に依つては、ちよい〳〵之を利用して居ることは日本の新聞に見る通りです。況んや昨年十月東京砲兵工廠に行はれたストライキの際の如き陸軍憲兵隊にては警視廳の活動を手緩るしとなし、自ら活動を開始して、職工側幹部を檢擧した結果三十餘名の代表的人物が獄裡に投せられ、彼等の妻子は可憐にも多數職工の扶助に依つて其生活を繼續したと云ふ如き悲惨なる紀録を止むるに至つたとの話である。

(十一)

労働組合は必ずしもストライキを目的とするものではない、他に多くの積極的使命を有して居る。けれ共労働者が團体として、資本家に對抗する場合の最後の手段は、矢張りストライキであることは、少なくとも現在經濟組織の下に於ては、之を是認しなければなりません。『ストライキを為し能はざる労働組合は、恰も氣の抜けたビールの様なもので、無之きに優ると雖も、其本分の効用を為さず』と云ふ誰かの言葉は、偏に其肯綮に當れるものと云はなければなりません。

目下日本の労働者は治安警察法撤廢の運動に全力を擧げて居る。中には『労働組合法は必要が無い。只此法律を撤廢せよ、さすれば労働組合は自然に發達する』と叫ぶ労働者も少くありません。近着の本社東京特電に依れば、十三の労働組合の組織が出來たと云ふ、彼等は先づ該法律の撤廢運動を為すであらう。

普通選擧の速施、治安警察法の撤廢此二つが現下日本に於ける民衆運動の二大旗幟である。さて之等の運動が將來どんな具合に發展するであらうか。(完)

國際聯盟と日本及支那 (下)

▽ジョーナル オブ コムマース所論

▲支那と協定せりと稱する日本の要求に依れば滿蒙一帶に於ける鐵道敷設に要する對支貸出計畫は當初支那の提議に基けるは抑日本政府が列國借款團の利益の爲めに該條約を無効とするに反對する表面の理由なり。乍併國際的銀行團が支那再建の爲めにする活動は日支の間に存在する特殊利益、若くは特權の爲めに阻害せられざること肝要なり。而かも列國借款團の宣明せる目的の一は該借款團の成立が財政手段に依りて支那に於ける新優越權又は特典を獲得せんとする外國の誘惑を除去するに在り。烱眼なる日本人は該借款團が支那の經濟的及び財政的改革を期すべく計畫せるを認識し同時に今や廢棄せられる外交組織に依りて獲得せる各種の利權範圍が或は殺減せられ或は排却せらるべきを感知せるに相違なし

▲斯の如き批判=疑もなく有力なる一部日本人の意見=の權威ある表示は國際聯盟の權能を通じて説明せらるゝに至るべし。若し如上の機關なかりせば、文明國の自覺ある感情の表示權を認むる古き貪欲政策は依然專恣を擅にすべし。支那は單に外的侵畧の防禦を必要とするのみならず内的腐敗を一掃せざるべからず。支那に好意を有する國は其悲惨なる現在の國狀に對し恥辱並に責任が支那當局官憲の肩上に在るを看取せり。那人が亞細亞に於ける進歩的國民たるを得ざりしは畢竟爲政者の無智無能及び腐敗に原因し居り、尨大の領土あり、順和の氣候あり、幾億の國民ある支那自身は充分に先頭に立つべき資格を有す

▲支那は東洋全体に對し食糧を供給せざるべからざる地位に在りながら自國自身の供給をも滿足するの生産を爲し得ず。仮令外國救援が支那の爲めに有力なるにせよ支那當路者が支那人自身をして蹶起せしめ得るにあらざれば其効果は不充分なるべきのみ。列國銀行借款團の要求する点は、自由なる全國投資以外、財政上清廉にして能力ある政府の樹立、及び正直にして材幹ある會計檢査院官制の制定を必要とす。窮乏に惱みつゝある支那の存在する以上東洋に於ける平和の確保は容易に望み得べからず。而して亞細亞大陸の騷亂は聽て世界の動搖を意味すべし。故に今や問題は狹隘なる國民的利益野心並に嫉妬の通路を經過して妨害せられたる人道の進歩を再開すべく吾人は如上の議論中孰れの問題を撰擇すべきかの機會に到達したるものなり。

隈侯日英同盟繼續と力説す

東京近信は大隈侯が本年を以て終了すべき、日英同盟の繼續に關して英米を中心とする國際聯盟は、神聖同盟以上の偉大なる効果を生づ可く若し兩國にして相互的商量に基きて進退するとせば聯盟は頗る有力のものならん。兩國は嘗て敵視し合へし事情もあり旁其結果は輕々速斷し去る事を得ざるも、現時に於ては吾人は國際聯盟の絶對的確立を見る能はざる可し。

露國の將來に到つては、約二億の人口を有する露西亞なれば、仮令波蘭、英蘭等の領土を失ひたりとは云へ、一度有力なる指導者にして出現せん乎其勢力や侮る可からず、露國現在の頓挫を以て、日英同盟の無用を説を唱ふる理由存せず、且つ國際聯盟は各國に軍備撤廢を遂行せしめ得ざるが故に列強は其國防の完備に苦闘しつゝあり、云々と極力日英同盟の繼續を主張したりと。

ヘラルド紙の原首相演説評

拾二月廿六日紐育ヘラルド紙は頃日原首相の發表せる覺書に對して批評して『日本は他文明諸國と共に進歩發達を爲しつゝあり、決して彼等の後塵を拜し又は之と逆行するものにあらず』と原首相の聲明せるを至當とし、物質的の側に於て日本は歴史上事實に未だ現在程健強なりしとあらず。而して日本政府の背後には維新以來國是を支配したる保守的勢力存在して之が指導を爲すが故に是等聰明なる指導的政策の存在する限り日本は國際政策外交の上に重大なる過誤を爲さざるべしと論じ、現在日本を風靡しつゝある選擧權擴張運動の如きは頗る強烈なる國民の政治權要求にして之が爲め不安的氣分橫溢するが如くなれ共、之等は純然たる内治問題にして原内閣が本問題に對して充分同情的政策に出づべきを豫想したるが、軍閥の永續的活動を以て更に恐るべきとなし、米國人は確信を以て日本人が之等諸問題を解決し首相が言明せるが如く泰西文明列強と倶に前進し『後塵を拜せず、逆轉せざる』を熱望すと論じたり。

比律賓の恐日

【マニラ廿八日發】比律賓群島立法部側に於ては日本人の有望なる農業地を買收するに對し恐慌を惹起しつゝあり日本人は既にマニラヘンプの産地なるダヴワヲ地方の支配權を有し最近更にマニラ市附近の砂糖耕作地をも買收したる爲め下院に於て土地に關する二個の法案を提出し土地の賣買に際し比律賓人が同價格を支拂ふ場合は優先權を保留する新法律を通過せしめんと運動中なり

原首相の聲明

【東京廿六日發】原首相は昨日市俄古トリビユーン紙特派員を引見して日米國際間の問題が誇大に報道せられつゝあるを指摘し、日本は西比利亞を占領するの意志なきと危險なるボルシエヴヰキの侵略を抑制するが爲めには全力を盡すべしと云ひ、山東省の還附は累次聲明するが如しと斷言し、墨西哥の土地を買收するの野心もなく萬一米國にして國際聯盟に加入せざる場合は日本の去就も未定なりと説明したり。列國共同の對支借款問題に關する質問に對して原首相は『日本は喜んで列國借款團に加入すべきも日本の滿蒙に於ける特殊利權は之を擁護せざるを得ず』と答へ日本は飽迄米國と提携するの誠意を有すと附言せり。

謹賀新年

紐育新報社々員

水谷渉三　吉田正之　内田實　木川正男　田中明治郎　白新田五作　神子嶋梧朗　木村三雄　上瀬誠二　花田準一

Henry P. Scolnik　Fredrick Rodriguez

社友(順序不顧)

石垣榮太郎　伊藤謁雄　家坂正平　在大阪 原田棟一郎　藤井隆宣　在東京 林富平　在巴里 岡田毅　脇本東隅　在東京 甲斐健一　在大阪 鎌田敬四郎　笠原乙夫　在東京 松田大作　横矢重孝　在中米 田巻宏　長沼重隆　在東京 中村萬吉　在東京 中野正剛　野崎眞　在大阪 丸山幹治　不破保雄　在神戸 小林雅一　境野惠佐　鈴木健輔　佐々木指月　在東京 千本木正治　宇治義一

若かやげ

こうごう

見渡す所、在留同胞の多くは皆是れ中年を疾くに越へ壯年に入りて長く、間誤々々する內昔の客ちに數へた人生年限に程遠からざらんとする連中のみなるか、夫れでも正月が來れば假りにも芽出度がる顏の奥には『又一つ年を取るのかな!』の悔の浮ぶも理はり、況んや異境の天地名自由にして存外身の踢背を覺へ、安慰なき齷齪裡に意氣の銷磨を來たさんとする恨多きをやとかう眞面目腐つた感想の出づるも、ついそれ眉る圓のしみつ垂れ來り、折角改まし年に舉くべき芳醇の有るなく、忙引叶虹一番し得ざるにこれ由ると知しすや。

某忌々しがりて考らく、こんな年は取らざるに若かずと、何に年の方で承知せぬと、御心にや及ぶ、取らざるは當り前に取らざるなり取らば逆に取るなり、說々は飲んで解くにあらず、既に素面なり、幾久しき素面なり、豈に理屈めかざるを得んや物質界に無線電信電話の方が不思議し無くなり、程度にて、精神界で催心術心眼透觀等の理が神秘で無くなり來り、心的治病さへ流行り出せし故に、大抵の心肉に關する事柄は心理作用で行はる等なるからに、逆に年を取る法の如きはその最も無造作のものたらざる可からず。

カイザーが奔竄後一年にして頭髮カイザー式髯の全く白化し、形容枯稿また前日の無類大謀反者の面影を留めざるが如き、老の日月と相俟たざるの好例と見るべく、同じく皇室者に就て云へば、故露皇后が一朝慨然として危殆生活の生を傷くるを悟り、暗殺可否を藐視するに迫ぶや、眉開き頰紅を添へ、年と共に若やき返へり數年にして面容一變、其長皇女の姉姫ならざるかを疑はしむるに至る、大戰の餘殃だに無かりせば、アン、ラツセルと共に不老女流のチヤムピオンたるべかりしを惜しむべし、覿面の報ひはカイザー被れも后亦眄すべし。

手早く例を某に取らん、某齡已に四指頭をはみ出して無論一家を成さず、今猶ほ米土に居足らざるものゝ如く、切上げの惡るき事夥しきも、氣若く精力豐かに白石の言ならねど五尺短身總是膽、自觀他觀共に青年の域內に在り、殊に未熟なること然り、唯だ憾むらくは燈下に持出せぬ種類の顏を有し、朝暮嘆之れ故に老いるありては我乍ら恥かしこ、これが思切つて毛唐の厭がる剃髮を施こしたるを遣り續け來れるが、これなため、革命後毛根頓みに活力を呈し此分では舊山容を復するなしとせず、加ふるに逆に年を取らんとす、愈以て若やぐ心地滿つる計り、言を俟す疎毛を撫し長太息するの人よ秘傳は瓶內の液にあらず、先の先越し剃付くるにあり、此度忝くも會より讚會など出來ることは請合、物は代價を要す、此に要する代價は勇氣なるのみ。

長命法の要を詮じ詰むれば養生攝生の二あるのみ、持出しの逆加齡法も其譯を問へばまた二あるのみ、曰く其氣になれ、曰く苦に病むな、是れなり。

催眠術上諸多の顯象を一貫せるものを暗示となす、暗示の種類を分ちて他働的自働的となす、逆加齡に所要の第一は此の自働的暗示に基くに存す。

正月來れり、我れ年を取らず、是れ自働的暗示なり、然らば何が故に樂しきぞ、年を重ぬるが故に樂しからず、逆に年を取るが故に樂しと思做す、是れ其氣になるの謂なり。

其氣になるといふも妄りに假想を逞ふするにあらず、其はその氣になれる所以の條件を充せばなり、條件とは苦に病むなを指す。

苦に病めばこそ悲感の生ずれ、從て頭腦の不明透を來し物事の不裁斷を招き、更らに苦に病み戻り、顏に小皺の寄るに至る。

其時其折精一杯の意力身力を以て煩縷を處斷し去らば、心內蟠るものなく、日々の生活趣味を帶び人生の意義を學び來らざらんとするも得ず

一心の作用は直ちに体軀の作用を卒ゆ、心若やぎ体軀若やかざらんとするも能はず、夫れ大年增の若やぐは愛想の一つゝ眞に受け、つい頭に手の及ぶに始まり、繕らうて更に他の挨拶を迎へ、復び繕らうて稍々不自然の掩はれ、不都合な言寄手あらんずるに歸す、老人の癖に若き女を近付け元氣よげなるは、其精力に失ふて尚ほ其氣に加ふるものあるを以てなり、故に吾人は手近の法として時に子供と戯れ遊ぶに若かず、一回能く一年を若ふし得べし、更に進んではハイスクールにでも通ひ、慮そに少年の氣になり少年等と共に暫らく學び見るべし、能く十年を若ふなし得べし。

試みに思へ。騙だが何時迄も若く活氣橫溢し、世故を經其就ける所みな練達し、思想亦老實ならんには、何時かは何か仕出かすべし、また何ぞ北米の天に老ふるを憂へん。

新年芽出度し、當り前に取て芽出度しとあるに、逆に取らば一層芽出度からずや。

南米航路補助

最近日本特信

我國より南米ブラジル及アルゼンチンに至る南米航路は一昨年拾一月郵商船が其筋の勸誘により航路を開始したるものなるが當時は歐洲方面よりの物資需給全く杜絕し居たるを以て郵船の航路開始は最も機宜を得たるものとして毎船載貨滿載の狀態に在り殊に南米移民の如きは昨年度非常の增加を見るに至りたるが偶々休戰と共に昨年拾一月頃より英米其他の各國船は競ふて南米航路の復活に腐心し現今は全く英佛米等の爲めに其勢力を減殺され加ふるに日本內地に於ける勞働賃銀騰貴の爲め南米移民俄に激減し出貨も亦歐米の低率なる運賃に制限され本年七、八月頃よりは隔月一回宇ふじ丸配船し居る狀態にあり其結果商船會社の如きは一航海四十万圓の損失を招きたる例あり若し此儘に放任する時は戰時中折角獲得したる邦船の新航路の前途も甚だ憂ふべき事なりとし遞信省にても調査中なるが結局該航路は將來有望なりとし近き將來に於て補助航路として定期船繼續の運びに至るべしと云ふ。

製粉市價暴騰

最近某所市內入電に依れば上海粉は橫濱沖着六圓三十錢、濠洲粉は同じく五圓三十錢と前者は銀高の爲め後者は運賃高、公定相塲引上げに依る原料高等のため一ヶ月前に各約一圓方暴騰せるが市內も是等外粉高に刺戟せられ在荷薄、米高、原料高と相俟つて人氣一轉し近來漸次步調を辿り來りしが二十五日に至り前日より約十五錢方暴騰し辨天近物六圓、二、三月物六圓二十錢となれりと。

燐寸註文絕無

十一月廿六日當地某所入電に依よれば支那に於ける排貨熱は山東を中心として南支地方一圓に亘り今次の福州事件より一般の熱度を高め本邦燐寸に對する新規註文は全然杜絕し既約品の入荷せるものに對しては日夜見張をなし荷揚絕對に不可能となれるより積立未濟品に向つては是が積送中止方を頻々打電し來れりと。



[illegible]の與次郎が御猿[illegible]がブロンクスに於ける長耳大頭の愛嬌者

新年落語「流行」

上方亭贅六

ヱー本年は猿の年とか申して當國に於きまして此一寸ソンナ事は判然致しませんが、次の年で考へ出した譯で御座り升。日本では御夫人方は御猿は逸ばす年だといふて併し夫れは十七世紀の話で當今では御夫人方には馬の年で有らふが虎の年で有らふが象の年で有らふがヲツトセイの年であらふが何の年でも縁喜なぞは彼れ是れ御[illegible]ませんが本年はキヤツキヤツも年だからと申して女の氣が反く強くなりまして旦那様方が余り夜遊びを成されず引つかゝれます。正月ナゾも旦那方には御油斷が成ませんから其ために年賀の歸りが深夜に[illegible]る者なら盛んにかゝれます

時に歐洲の方でも四年余りは飛行機や潜航艇やら色々な新しい道具で大戰争が御座いましたが本年は此大猿さら申して過去となり誠に日出度い年で紐育の方から何か新年號に話をと云ふ御注文で御座いますから「流行」と申します噺でチヨツト御機嫌を伺ひ升

先生「ヤー六さん何時歸つて來なさつた」六「去る一日歸りました」で先「ソーン日本へは時々歸る事だね來る度々日上から猿[illegible]なぞは振つて居るね[illegible]の次第なんて[illegible]日本の景氣はドウです[illegible]何とか新聞では[illegible]事が有つたら、[illegible]かノ\日本へは歸へ[illegible]りました金は皆使ひ[illegible]一分も殘らず第一年が惡[illegible]先「未の年が惡ひなぞと云ふものじやない西洋でも此[illegible]使物に成る[illegible]しい者じやないか六「ドウモ先生[illegible]優しい奴に引ツ[illegible]損で[illegible]クでげす[illegible]すへからお礼を[illegible]年でも[illegible]落[illegible]先生大[illegible]

たのじや大勢の人に見せられないと言ふので着物の袖丈けを短くする位[illegible]は面白くないと言ふので驚きやしたネー……電車の帯皮へ擦引の鮭の様にブラ下るんで成金の息子共になりますと一寸帯皮が手に入りませんからアノ恐ますが貴君の帯皮を五両で截き度いなんてイヤ大變でげす自分の時計が見せたい爲に電車の帯皮が金になるつて言ふんで少し手の長い男なんざ暗い内から兩手で帯皮を占領する處か老人や女の子なぞは時計は巻附けたが自分の手が届きません淺草花屋敷の公園から手長猿を買つて來まして醫學博士がモンキーの血を注射するソウ致しますると何處へでも手が届きまして飛乗電車なんざー樂でげす先「ヲイ/\六さん好い加減に吹きなさんな流行も其處迄進んだつ大變でお前の留守にも紐育でチョイ/\變つた流行が有る女に納豆の藁苞の様な袴が流行し之をタブスカートてふ名を附けそれに肌を見せる衣服が流行する此の夏なぞはユヂヤーシーの女連なんざ涙を流して着た者た六「先生一寸待つておくんなせー流行の着物を着て泣く女なんざ居ませんよ先「マアわしが言ふ事をよくお聞きなさい泣くと言ふのは胸やら肌が開いて居るから川向ひに行くと蚊が澤山居て待つてましたと斗りに喰ふ喰はれもだけなら痛い丈けで済むが其の場所が眞赤にふくれ上つて羊羹を蜂が刺した様になる……それでも婦人は忍耐をするといふそれも流行の爲だ六「飛んでもない忍耐でげすネー先「韓信でも股をくゞる人間には忍耐が必要じや六さ[illegible]日本から連れて來た細君には流行を教へて唐人から笑はれない様[illegible]行かぬよ六「有難う御座いやす先生長座致しやした先「もう歸るのかマー話しなさい六「イヤこれから宅へ歸りやし[illegible]の流行を家内に教へ[illegible]やります

大正九年 運勢豫言

……本命九星……

[八白]	卅七歳	廿八歳	十九歳
[七赤]	四十五	三十六	二十七
[六白]	四十四	三十五	二十六
[五黄]	四十三	三十四	二十五
[四緑]	四十二	三十三	二十四
[三碧]	四十一	三十二	二十三
[二黒]	四十	三十一	二十二
[一白]	三十九	三十	二十一
[九紫]	三十八	二十九	二十

◉一白水星の人

此年生れの人は金運もあり病氣も平穏なると云ふ運勢を備へてゐるが苦勞の多い年だから万事を愼しみ少しも油斷してはなりません目下の者について心配事生じ旅行して損あり訴訟事は破れ住所に不安の象あり自身を戒めて居れば禍を轉じて福となるの青年ともなる。

◉二黒土星の人

本年此の年の人は鬼門に座する上に暗劒殺にもかゝると云ふ極めて悪い年廻りである物の相談事は故障ありて遂げられず爭ひ事生じ易く又金錢上の損失住所に迷ふ等の事あり殊に四十九歳の人は自らを戒めて萬事愼に離れ何事も天道に任せて渡世に勵めば六月札より運勢を回復する。

◉三碧木星の人

悪い年ではないが幸福な年とも云へない軽業師の綱渡しにも試むべき年である本人其者には他人から見た程の危険もないが少しも油斷が出來ない首尾克く渡り終つて拍手喝采を受くる如く名譽を得る事や意外の出世を得る事あり良縁を得る事もある、火難を愼み移轉を見合せるがよし。

◉四緑木星の人

運勢は去年より好いのであるが幸運の時期とは申せない雨は降るまいなぞと高を括つて家を出て途中で雨に逢つて狼狽する様な事があるから鼻先思案で始める事は大失敗を招ぐと心得るがよい共同事業は見合せ相場は賣るに利なく買ふに利あり總て急がば廻れと云ふ主義を採るが大吉

◉五黄土星の人

裏鬼門の悪い籤を脊負ふ年である將さに窮乏の極に達したと云ふ所で助ける神あり悪い内にも面白味のある年である同居人を増し目下の者に助けられ又小供の出世を見る事もあらん何事も人より一足前にするに利益より後るゝ程禍ひ多からん住所職業に迷ひを生じ易し。

◉六白金星の人

大体から見て運勢に申分ない大に活動して勇躍を試むるがいゝ不正の事にあらざる限り天と人との助けを得て愉快なる境遇を作り出すべし商賣始め求職開拓事業又談判事等に當て行末程面白からん然し轉居又は職業に迷ひ意外なる金錢上の浪費等あるべし儉約を守り高慢の心を抑壓せよ

◉七赤金星の人

運勢は大吉であるが運に任せて輕々しく進退してはならない身分不相應の事を愼まねば運の一番悪い年にひつくり返るから注意するがよい同じ重量でも六白の人と違ひ陰星であるから疑深く度胸が無くて度々出世の機會を失つて來て居るが今年は男らしく奮然斷行して御覽なさい。

◉八白土星の人

八方塞りの年であるから從來の業務を大切に守つて新事業などを目論まぬ限る誠實に物事を處理せば却つて好運の年ともなる生命病難無事にして友人の助けを得る事あり金錢上の利益は余り宜しからず三十七歳の人は男女共に病氣を注意して養生を專一とせねばならぬ。

◉九紫火星の人

引續いて悪かつた天候も愈々晴れて沖合遙かに旭日の昇るを見るが如く吉運到來の年である金錢の出入多き年であるが忙しい割合に利益はないが心は愉快だ他人の爲に損をする事があるから十分警戒すべし早きが利益で遲さは損失あり一日中でも午前に利ありて午後に益なし。

徴兵延期注意

十一月二十六日付當地総領事館よりの通達に依れば徴兵延期出願を要する者と要せざる者とは左の通りなる由なるが、延期出願者は速かに紐育日本人會を經て夫々其手續を了せざれば罰則に依りて處分せらるべし

一大正八年拾一月三十日及同日以前に滿二十二歳に達する者は徴集延期を要せず

前項に相當する者は明治二十年十二月一日及同日以前に生れたる者

一大正九年度徴集延期を要する者は明治三十年十二月二日より同三十二年十二月一日迄に生れたる者

婁氏紀念集會

婁氏紀念協會は會頭ウヰリアム、ボイス、トムソン氏並に婁氏婦人紀念協會々頭ジョン、ヘンリイ、ハムモンド氏の名に依り、來る一月五日午後八時十五分を期し故大統領ルウズベルト氏一週忌紀念會をカーネギホールに於て開催する筈にて既に數千の會員に對し招待状を發したるが當夜は非常の盛會なるべく豫想せられつゝあり

歳末の紐育教會

東五十七丁目なる紐育日本人教會にては去る廿六日夜クリスマス祝賀會を催したるが、日米人の會員會友の來會者約四百名と註せられさしもに宏き會堂も立錐の余地なき程の盛況を示したり。定刻八時二瓶牧師司會の下に開會し重田幹事の挨拶、高見ドクトルの英語祝詞、清水牧師の降誕祭感想、高見令息の祝詞、祈禱を以て第一式を終りて第二式に移りたり、會堂の一部を紫の幔幕にて仕切り化粧部屋に充て、舞臺は正面に設けられ、大神柱にクリスマス、リース、月桂環を配したる手際等會員苦心の程も想はれたり。廣瀬氏の獨唱、竹內、加藤兩氏の合唱、安田氏の手品何れも出來榮鮮かなりしが、高見孃、草信令息のピアノ、桑山、田中兩令孃等の唱歌、小兒達の演奏には満場破るゝばかりの大喝采を博し、インター、ミッションの間に茶菓を饗應したる後當夜の呼物ドラマチック倶樂部の出し物『ハンガー』の幕を開け、片山、若月、長谷川、水沼氏等一同大車輪の舞臺振りを見せ午後十一時散會したり

木酒精の中毒

最近禁酒施行法の實施に伴ひ紐育[illegible]に醸造擬ウヰスキーの[illegible]者あり現に基督降誕祭前後に[illegible]自動車に[illegible]木酒精を混交せる[illegible]の多數の死者盲目者等を頻出したるは米紙所報の如くなるが禁酒中のウエット派は此際自制自戒して猛烈なる木酒精中毒に罹らざる様注意を要すべし

第十四回統計

▽一月二日より開始

聯邦政府商務省統計局にては一月二日より第十四國勢統計運動を開始すべく紐育市方面はアーサー、デヤー氏監督の下に外人在留數の統計編成の爲め戸別訪問をなす筈なるが各新聞社、團体、教會等は隨時該運動に對し助勢せられ度き旨當局者より依囑あり統計の爲めにする諸種の報告、即ち、年額收入、財産高等に關しては法律上商務省との間に於ける『コンフヰデンシアル、マター』として取扱はるべき性質故在留同胞も應答を躊躇し事實を隱蔽せざる樣すべし

□除夜會と新年宴會

日本倶樂部に於ける除夜會は例年の如く大晦日夜擧行會費は金壹弗なり。尙同倶樂部の新年宴會は元旦午[illegible]時より開會（服裝隨意、會費金[illegible]弗五十仙）

□青年會の新年宴會

去る二十八日開催せる紐育日本人青年會役員協議會に於て決定せる所に依れば同會新年宴會は一月十一日午後八時を以て開會すべく同時に定期總會、前幹事面高氏の送別會をも擧行する由

□忘年會新年會一束

忘年會並に新年會は前週より左の如く開催せる由

忘年會

海軍監督事務所員	東洋館
久原商事株式會社	同
三井物産會社有志	同
正金銀行支店	日本倶樂部
野澤組支店	若松
紐育新報社	都亭
茂木合名會社	同

新年宴會

淺野東洋汽船	東洋館
鐵道院事務所員	同
茂木合名會社	同
太洋貿易商會	同

其他千歳、お多福、河添、春喜屋、大黒屋等にては元旦に顧客を招待して盛大なる新年宴會を催す由

●日運倶樂部の會員募集　日本運動倶樂部メンバーシップ委員は十二月廿九日付を以て會員募集に關する通牒を發したるが今季の成積良好なりしに徴し一層熱心なる運動を開始する計畫なりと云ふ

●婦人會一月會合　頃日創立せられたる婦人會にては來る一月十一日午後二時より日本倶樂部に於て會合の上會則草案の討議を行ひ發會式順序等を附議すべしと

●日運倶樂部除夜舞踏會　日本運動倶樂部にては本夜午後九時より同會館に於て除夜舞踏會を催す由にて會費は二弗五十仙なりと

●八木與三郎氏歸朝　滯紐中なりし大阪の豪商八木與三郎氏は去る二十四日當地出發桑港經由歸朝

●藤田柳之助氏歸朝　原合名會社紐育支店支配人の同氏は母堂重病の報に接したるため去る二十六日出發コレヤ丸便にて歸朝

●加藤兵太郎氏消息　十月下旬渡歐せる同氏は十一月二十七日伯林にてりたるが『想像程内面の混亂はありませんが食料石炭の缺乏甚敷諸物價は戰前の百パセントに上り市民は大困難を極めて居ります。當地に參りまして最も目立つたのは一般市民の血色の惡い事です。日本人に對しては好感を抱いて居りますから何等不愉快な點はありません』云々

●西富祐吉氏近況　前日米週報社々主たりし同氏は目下加州ホリスターにあり中央貿易商會に勤務しつゝある由近況に接したり

●林國男氏　外務省員廿一日華府より來紐一週間滯在の豫定

●古河商事株式會社々員旅行　古河商事紐育支店在勤邦人店員一同は大晦日より一日に亘りレーキウッド地方に旅行

一月一日御眞影拜賀式ヲ行フ

時間　一月一日午前十一時ヨリ午後二時迄

場所　九十三丁目西壹番總領事官舍

在紐育　日本總領事館

●道面豊信氏夫妻出發歸朝　味の素鈴木商店支配人の同氏は夫人同伴急用を帶び去る三十日出發一時歸朝したるが歸任期は來春三四月頃ならんと云ふ

●岸良一氏渡英期　農商務省技師の同氏は歐洲の牧畜業視察の爲め來る一月三日出帆の便船にて渡英の筈

●丸森道次郎氏着紐　野澤組店員の同氏は歐洲より歸朝の途次去る二十日紐育着

●伊藤七司氏歸桑　日米特派員として國際勞働會議に出席せる同氏は加奈太地方を經由去る廿二日歸桑せる旨通信に接したり

●眞下五郎氏渡英　滯紐中なりし東京市會議員の同氏は昨日出帆渡英

●菊地東陽氏着紐期　歸朝中なりし同氏は本月十一日横濱出帆の日本丸便にて歸米元旦前後歸紐の筈なり